

官報號外

明治二十五年六月八日

水曜日 内閣官報局

○第三回 衆議院議事速記錄第一二十一號  
帝國議會

明治二十五年六月七日(火曜日)午後一時十六分開議

議事日程 第二十一號

明治二十五年六月七日

# 第一 愛知岐阜富山福岡四縣下土木費補助トシテ明

治二十四年度豫算外支出ノ件(政府提出) (特別委員長報告)

第三  
明治二十五年豫算追加案(賛議院回付)  
私設鐵道買收法案(政府提出)

郵便聯合國郵便切手類保護法案(政府提出貴

2  
1

第六

第七

府縣制第三

第九  地組條列改正案  
三名提出)

此種似似

○議長(星亨君) 諸君、是ヨリ報道ヲ致シマス  
〔林野書記官長期讀〕

君伊藤大八君 ヨリ

出セラレタリ

明治二十五年度歳入歳出豫算追加案ヲ貴院ヨリ回付セラレタリ  
柏田盛文君ヨリ薬品營業並薬品取扱規則追加法律案ヲ提出セラレタリ

區裁判所檢事局檢事補設置ニ關スル法律案審査特別委員二本間耕曹君佐

木善右衛門君伊藤諭吉君石井定彦君小柳卯三郎君 小笠原貞信君松島篤作君

小包郵便法案審査特別委員長ニ小野隆助君、同理事ニ上田農夫君當選セラ

、左ノ質問書ハ朗讀ヲ爲サルモ参考ノタメ掲載ス

日本鐵道會社ニ關スル質問

日本鐵道會社ハ國庫ノ補給利子ヲ仰ギ政府ノ監督ニ屬シテ其事業ヲ經營スルモノナリ故ニ政府ハ日本鐵道會社ノ事業上詳細ニ監査ヲ遂げ監リニ利子

ヲ補給スルノ失ナキヲ期セザル可カラズ然ルニ日本鐵道會社ノ經營スル事業ニ就キ其實際ヲ調査スレバ甚ダ疑フベキモノアリ是レ此質問ヲ提起シテ政府ノ明答ヲ望ム所以ナリ

衆議院議事速記錄第一十一號

明治二十五年六月七日

## 議長，報告

日本鐵道會社ニ關スル質問

四六九

ニ二分三厘強トナレリ是レ鐵道普通ノ原則ニ背馳スルノ太甚シキモノト云フベシ抑モ第三區線タル實ニ東北地方ノ幹線ニシテ山間平地ノ要處ヲ達絡シ南ハ第一區第二區線ニ接シテ東京ニ連通シ北ニ仙臺ヲ控ヘテ更ニ鹽釜ノ海岸ニ枕シ中間ニハ福島白川等ノ市街アリ其他ノ沿道各驛モ敢テ塞村僻鄉ト云フヘカラス而シテ其線路ノ方向ハ海岸ニ沿ハサルヲ以テ別ニ水運ノ競争ヲ受クルモノ無ク奥羽地方ト關東トノ交通ハ一二本線ニ賴ルモノナレハ假令仙臺以北ノ線路開通セサルモ相應ノ收益アルヘキハ地勢及事情ニ於テ殆ント疑ヒナキモノニシテ第二區線ニ比シ格外ノ差異アルベキ謂レナシ然ルニ日本鐵道會社ノ報告ニヨレバ其間多大ノ相違アリ

今試ミニ前ニ表ヲ對比スレハ左ノ如シ

	第一區	第二區	第三區
十八年度下半期	○、九四六	○、二二一	○、一八二
十九年度上半期	○、八〇七	○、二〇一	○、一九〇
二十年度下半期	一、九七三	○、三七三	○、五〇九
二十一年度上半期	一、七八六	○、八三	○、一二八六一
二十二年度上半期	一、七八四	○、四八一一三	○、三六〇一四
二十三年度上半期	一、七八〇	一、五六五	○、三二六二二
二十四年度上半期	一、六一〇	一、五六〇	○、一九七〇二
二十四年度下半期	一、五八〇	一、五六〇	○、一二〇二六
同 年 度 下 半 期	一、七四三	一、四七四	一、四八〇
同 年 度 上 半 期	一、七二〇	一、五六〇	一、四八〇
同 年 度 下 半 期	一、七八〇	一、五六〇	一、四八〇
同 年 度 上 半 期	一、六二〇	一、五六〇	一、四八〇
同 年 度 下 半 期	一、六一〇	一、五六〇	一、四八〇
同 年 度 上 半 期	一、五六〇	一、五六〇	一、四八〇
此表ニ由テ見レハ第一區線第二區線ト第三區線トノ間収益上非常ノ懸隔アリテ頗ル其權衡ヲ失スルハ明白ナリトス之ヲ線路ノ性質ニ考ヘ土地ノ事情ヲ察シ此ノ如ク不權衡ノ存スルハ實ニ解スベカラザル事ナリトス普通ノ理ニ由テ之ヲ推セバ第三區線ノ第二區線ニ於ケル割合ハ恰モ第一區線ノ第一區線ニ於ケルカ如キ割合ナラザルベカラザルハ論ヲ俟タズ然ルニ第二區線ハ第一區線ノ六分九厘四毛八ノ比例ナルニモ拘ハラズ第三區線ハ第二區線ノ二分二厘八毛四ノ比例ニシテ實ニ三倍以上ノ差ヲ顯ハシタルハ果シテ何等ノ事故アルニ由ルカ是レ解スベカラザルノ二ナリ			

第三區線ノ第一區第二區線ニ比シテ長哩程ヲ有シ其線路ノ性質地方ノ事情等略ホ第二區線ト其類ヲ同シクセルニモ拘ハラズ總收入ハ無比ノ少額ニシテ而カモ貨物鐵道ノ性質アルモノニシテ貨物ノ運搬甚タ少ナキノミナラス却テ益減少セル所以如何

第四

第一區	第二區	第三區
二十年度下半期 四七二・四四九〇一四	二十一年度上半期 三四三・六一五・一五五	二十六、二九六・四九〇
二十三年度下半期 三五三・七五一・二八八	二六八、五二六・一一三	一五六、二九九・四九〇
二十四年度上半期 四〇〇・二一〇・〇三〇	三八〇・一八〇・〇五〇	三〇〇・九八四・八三三
同 年 度 下 半 期 三七三・一六五・三二四	三三三・八七三・二五〇	一六七、一一五・九七三
同 年 度 上 半 期 三九九・〇一六・七二九	三〇三・三五四・四七六	一五八、二七一・三九九
二十三年度下半期 三六三・二一・四五七	三一九、四二二・七七六	一七三、二九九・四九〇
二十四年度上半期 四〇〇・二一〇・〇三〇	三三一・二四九・七一八	一九五、八九九・一三三
同 年 度 下 半 期 三九九・〇一六・七二九	三〇三・三五四・四七六	一五八、二七一・三九九
同 年 度 上 半 期 三六三・二一・四五七	三一九、四二二・七七六	一七三、二九九・四九〇
凡ツ鐵道事業ニ於テ最モ長哩程ヲ有スル線路ハ營業經費ノ多額ヲ要スルト共ニ總收入モ亦從テ多額ナルヘキハ普通ノ事實ニシテ特殊ノ變狀アルニ非サルヨリハ決シテ動カスベカラサル定理ナリ顧フニ第三區線ハ地形及連絡線路ニ於テ第一區第二區線ニ稍々劣ル所アリト雖モ未タ以テ特殊ノ變狀ト云フヘカラス其長哩程ヲ有スル割合ヨリ推考スレハ經費ノ少ナカフサルト同時ニ之ニ相應セル總收入無カラサル可ラス然ルニ第三區線ノ收入僅少ニシテ第一區線ノ半ニ過ギサルコト前表ノ如クナルハ解スル能ハザル所ナリ且ツ第三區線ノ如キハ土地ノ事情ヨリ之ヲ計ルモ水運ノ競爭無キ點ヨリ之ヲ察スルモ貨物鐵道タルベキ性質アルハ明白ニシテ第三區線ノ如キハ貨物收入ト旅客收入ト同一ナルカ或ハ前者ノ却テ後者ヨリ多額ナルベシトハ何人モ想像スル所ニシテ鐵道開通後ハ益貨物ノ增加ヲ見ルコト當然ナルニ之ニ反シテ次第ニ減少シ二十一年度下半期ヨリ二十三年度上半期ニ至ル四期間ニ於テハ普通貨物ハ殆ンド皆無ニシテ僅カニ少許ノ臨時貨物ノミヲ運搬スルニ過ギザルハ頗ル奇怪ノ至リナリ今其列車走行哩程及旅客貨物ノ收入ヲ見ルニ實ニ左ノ如クニシテ二十一年度下半期ニ於テハ走行一四、一四〇哩ノ貨物列車ニ對シ貨物收入ハ二九、二〇、七、二四、二ナルニ二十一年度上半期ニ於テハ走行一〇、四二、八哩ノ貨物列車ニ對シ貨物收入ハ四〇、七、六、五、九、六〇ナリ二十一年度下半期ニ		

第三區線ノ收入ニ對スル純益ハ非常ニ少額ニシテ全國各鐵道線路ニ其例無キ程ノ割合ナル所以如何

第三區線ノ收入ハ假リニ前表所掲ノ如ク僅少ナリトスルモ其收入ニ對スル純益ノ割合頗ル少額ニ失スルハ尤モ疑フベシトス今各鐵道線路ノ工費收入ニ對スル純益ノ割合ヲ見ルニ實ニ左ノ如シ

線 路	一日哩收入	純益割合	一哩工費
日本鐵道會社第三區線	九圓六十六錢四厘	二分三厘	二万三千九百〇七圓
甲 阪 西 武 鐵 道 線	六分四厘	六分四厘	二万一千六百五十三圓
兩 水 月 鐵 道 線	六分七厘	六分七厘	二万八千八百四十六圓
六圓九十四錢六厘	七分八厘	七分八厘	三万五千二百十七圓
六圓五十五錢四厘	二分	五分	四万九千四百七十七圓
十五圓十一錢八厘			五万五千二百六十六圓

ト同一ナルニ營業經費ハ却テ愈多額トナリ増加スヘキ原因ナクシテ増加  
ス豈無類ノ變例ニ非シテ何ゾヤ  
會社ノ報告ニ依テ右理由ヲ探求スレハ經費ノ常ニ多額ナルハ第三區線ノ  
線路保存費ニ於テ大ニ多費ヲ要スルカ如シ

於テハ走行僅カ二四、一三<sup>一</sup>五ノ貨物列車ニ對シ貨物列車ニ對シ貨物收入ハ五四九六三円四九一ナリニ一年度上半期ニ於テモ走行僅カ二三、九二六五ノ貨物列車ニ對シ貨物收入ハ四三、〇四三円一〇三ナリ又二十二年度下半期ニ於テハ走行三、五一〇五ノ貨物列車ニ對シ貨物收入ハ五七八四五円五六五ナリニ二十三年度上半期ニ於テハ走行四、九五二哩ノ貨物列車ニ對シ貨物收入ハ三四六五〇、一一〇ナリニ二十三年度下半期ニ於テハ走行一六三五二哩ノ貨物列車ニ對シ貨物收入ハ六〇、九五八円一九五ナリ而シテ二十四年度上半期ニ於テハ走行一七、一〇二五ノ貨物列車ヨリ收入スル所ハ五八六七九八〇ナリ斯ノ如キ奇怪ノ報告ハ何人カ之ヲ以テ實際營業ノ結果ナリト認ムルモノアランヤ或ハ徒ラニ多數ノ空車ヲ走行セシ結果ナリトスルカはレ解スペカラザルノ四ナリ

由是觀之第三區線ノ線路保存費ハ第一區及第二區線ニ比シ甚タ多額ナルノミナラス漸次其増加ヲ來セリ然レトモ元來線路保存費ナルモノハ其性質ヨリ考フレハ鐵道落成後線路ノ整頓スルニ從ヒ次第ニ減少スヘキモノナルニ却テ反對ノ結果アルハ解スヘカラサルノ五ナリ

日本鐵道會社線路一哩線路保存費

第三區線ノ收入ハ開業ノ翌年即チ二十一年度上半期ヨリ今日ニ至ルマテ不思議ニモ常ニ殆ント同一ノ收入アルニ營業經費ノ漸次増額セルノミナラス第一區第二區ヨリ遙カニ少額ノ收入ナルニ却テ多額ノ經費ヲ要スル所以如何

第一區 第二區 第三區

二十一年度下半期	一四、四四四・九八二	九四、六一・八三三	五五、七二二・〇一一
二十一年度上半期	八七、八二一・二三七	七八、〇三七・〇六三	九四、〇八一・六七六
同 年度下半期	七六、一五〇・九三四	六七、九〇九・六三四	一四、七六八・六二四
二十一年度上半期	一〇六六・八六・五七四	九五、二五一・〇六〇	一二四、四四四・六八九
同 年度下半期	一八六四二・八二一	一一五九八・五三〇	一三九、六四〇・六一九
二十三年度上半期	一二、〇五〇・八一八	九四、三二一・五五八	一三七四六・一五七
同 年度下半期	一一四、三六九・九八九	一四、二六九・九九八	一五一、二三四・二一三
二十四年度上半期	一四九、二八二・三〇二	一四九、二八二・三〇二	一五〇、二一四・五〇二
鐵道事業ノ通則トシテ旅客貨物少ナク列車ノ運轉減少スルカ又ハ同一ナルトキハ營業經費モ亦從テ少額ナルヘキモノニシテ其多少ハ實ニ運搬ノ多寡ト相比例スルモノナリ然ルニ前表ハ之ニ反シ旅客貨物ノ收入ハ殆シ			内

第六	水戶鐵道線	四三五·三三〇
	甲武鐵道線	二九·一八二
	關西鐵道線	二一·一六二
	九州鐵道線	二五八·一六五
	鐵道線	一四二·一五
	鐵道線	二〇二·二八一
	鐵道線	二一八·二〇九
	鐵道線	三五三·〇六三
	鐵道線	一七五·一〇八
	鐵道線	二三七·三〇三
	鐵道線	一一九·七三一
	鐵道線	二〇二·二八七

第三區線ノ線路保存費ハ會社ノ報告ト實際ノ支拂額ト金額ヲ異ニセル所以如何  
聞ク所ニヨレハ第三區線ノ保存費ニ對シ實際ノ支拂金額ハ左ノ如シ

二十一年  
二十二年

金貳萬參千九百四十七圓四十二錢六厘  
金四萬八千六百五十二圓五千七錢七厘

二十三年

金六萬七千五百三十二圓二十錢九厘

而シテ右ノ金額ハ第三區ノ線路保存費トシテハ實ニ相當ノ金額ナルコト  
ハ何人モ疑ハサルヘシ尙ホ二十三年度ニ於テ許多ノ増加アル所以ハ水害  
ノ爲メ金四萬五千貳百十三圓七十八錢七厘ヲ支出シタルガ爲ミニシテ之  
ヲ扣除スレハ金二万二千三百十八圓四十二錢二厘ナリトス今試ミニ實際  
支拂金額ヲ前表ノ報告金額ト對比スレハ其差額ハ實ニ左表ノ如シ是レ解  
スヘカラサルノ六ナリ

## 報告額

## 實際支拂額

## 差額

二十一年  
二十二年  
二十三年

一〇八、七八・六九二  
一三九、一九〇・四五六  
一六九、三七五・四九一

二三、九四七・四二六  
四八、六五二・五七七  
六七、五三二・二〇九

八四、八四〇・二六四  
九〇、五三七・八八〇  
一〇一、八四三・二八二

日本鐵道會社第三區線ハ明治二十年十二月ニ開業シタレハ今日ハ全線已ニ  
整頓セリ而シテ其工業費ハ明治二十四年三月三十一日ノ調査ニヨレハ  
金二百五十九萬六千七百九十九圓三十九錢四厘  
ナリ而シテ明治二十四年九月三十日ノ調査ニヨレハ  
金二百六十四萬八千九百十六圓六錢六厘  
ナリ然ルニ政府ハ參百五拾萬圓ニ對スル補給利子ヲ與フル所以如何  
右議院法第四十八條ニ依リ致提出候也

明治二十五年六月七日

第七  
日本鐵道會社第三區線ハ明治二十年十二月ニ開業シタレハ今日ハ全線已ニ  
整頓セリ而シテ其工業費ハ明治二十四年三月三十一日ノ調査ニヨレハ  
金二百五十九萬六千七百九十九圓三十九錢四厘  
ナリ而シテ明治二十四年九月三十日ノ調査ニヨレハ  
金二百六十四萬八千九百十六圓六錢六厘  
ナリ然ルニ政府ハ參百五拾萬圓ニ對スル補給利子ヲ與フル所以如何  
右議院法第四十八條ニ依リ致提出候也

## 提出者

伊藤大輔  
中野武營  
植木志澄  
外四十七人

○議長(星亨君) 是ヨリ會議ニ取掛リマス  
○田中正造君(三十一番) 日子モ追、差迫シテハゴザイマスガ、昨日御約束  
ヲ致シテ置キマシタ質問書ノコトニ就キマシテ……  
○議長(星亨君) 演説シマスカ  
○田中正造君(三十一番) ヘイ、少々  
○議長(星亨君) 宜シウゴザイマス

(田中正造君演壇ニ登ル)  
○議長(星亨君) 是ヨリ會議ニ取掛リマス  
○田中正造君(三十一番) 日子モ追、差迫シテハゴザイマスガ、昨日御約束  
ヲ致シテ置キマシタ質問書ノコトニ就キマシテ……  
○議長(星亨君) 宜シウゴザイマス

シ答辯ヲナサムルトキハ其理由ヲ明示スベシト、讀ンデ字ノ如ク正ニアルノ  
デアル、此議院法ト云フモノハ——議院ト云フモノヲ重ンジナイデ宜シ  
イ、政府ガ之ヲ重ンジナイデ宜シトイト云フナラ、是ハ何ニモナイ話デアル、  
サリナガラ日本帝國議院法第四十九條ニハ斯ノ如キ明文アルニモ拘ラズ、此  
四十九條ヲシテ更ニ其履行ヲシテナリ、此四十九條ノ手續ヲナサナイデ、  
政府ハ正ニ此手續ヲナサナイ、此四十九條ノ法律ニ背ケテ居ルモノデアル、  
四十九條ヲ無視シタモノデアル、或ロニシタモノデアル、法律ノ罪人デアル  
ト云フコトハ明ニ分ッテ居ルノデアル、尤モ其答辯ナサイデモ、從來ノ議  
員カラ質問ヲ起サレルト云フコトニ就イテ、此質問ニハ品ミゴザリマスケレ  
ドモ、疑ノ點——疑惑ノ點ヲ以テ質問ヲ起サレタコトニ就イテ、若シ其答辯  
ガ怠タルトモ其行ガ直チニ改マツタト云フコトガアレバ、是ハ一ツ恕スベキ  
コトガアルノデアル、例ヘバ答辯上ニ於テハ答辯ヲナサズ、答辯ヲシナイト  
云フ理由モ明示シナケレバ、法律ノ罪人デアル、ケレドモ其行ヒ上ニ於テ非  
行不正ナコトヲ改メレバ、德義上ニ於テハ更ニ恕スベキコトモアルノデアル、  
然ルニ此行ヒ上ニ於テセ之ヲ改メナイト云フコトガアルノデアル、法律ニ於  
テモ答辯モナサズ、此質問ニ對シテモ答辯ヲシナイトハ、法律上ニ於テ責ガア  
ル、又其行ヲ改メナイト云フヤウナコトハ、是ハ德義上ニ於テモ宜シクナイ  
ノデアル、近頃此炭礦鐵道ノ質問書が出来ル、質問ガ諸方ヨリ出レバ、近頃聞  
ケバ北海道ノ炭礦鐵道ニ就イテ検査ガ始マツタト云フヤウナコトハ、即チ答  
辯上ノ方ハ怠シテ居ツテモ、其實際ニ於テ幾分ノ此事ハ宜クナイト思フ所ノ  
事務ヲ、取調べルト云フコトニ著手シタト云フヤウナ場合ニ行ク品ガナケレ  
バナラヌノデアリマス、然ルニ勤モスルト之ヲモ抛リ去ツテ置ク答辯ヲモナ  
サナイ場合ニ至ツテハ、決シテ今日ノ政務ト——行政上即チ國家ノ安寧ヲ保  
ツコトガ出來ルモノデナインデアリマス、又保ツコトガ出來ル、出來ナイデ  
ハナイ、我ニハ法律ニ依リテ之ヲ質サナケレバナラヌノデアリマス、ソレデ  
幹君ヨリ提出ニナリマシタ所ノ北海道植民ニ對スル施政ノ方針、北海道官有  
物拂下、北海道勸業委託金處分、札幌製糖會社及札幌製麻會社北海道土地貸  
下炭礦鐵道線路變更ノ件、是ガ一ヶ五月一日ヲ以テ鹽田鬼造君新井啓一郎  
君箕浦勝人君ヨリ提出ニナフテ居ル、鐵道始末ニ關スル件、同月二十三日加  
藤淳造君ノ提出北海道炭礦鐵道會社ニ關スル件、同月同日質問摺者ヨリ  
田中正造君ヨリ足尾銅山鑛毒加害ノ件、炭礦鐵道會社命令違犯ノ件、神戸造  
船所拂下ノ件、釜石鑛山阿仁及幌内礦山小坂銀山ノ件(笑聲起ル)四通十七件  
アリマス、政府ハ之ニ答辯ヲナサナイ、今日マデ答辯ヲナサナイ、又答辯ヲ  
ナサスケレハ、此四十九條ニアルガ如ク、——明文ニアルガ如ク、何日ノ日  
ニ答辯ヲナスト云フコトヲ議場ニ誓ハヌケレバナラナイ、豫メ其報道シマス  
ル、其報道ヲシテ答辯ヲスル日ニハ議員ハ缺席ノナイヤウニ、政府ノ答辯ノ  
アル時ハ出席シテ其答辯ノ如何ヲ待ツノデアリマス、其期日ヲモ定メズ又答辯ヲ  
辯モ出來ズ答辯ノ出來ナイ理由ヲ示サヌシテ今日マデアルノデアル、サウシ  
テ議員ノ疑團ト云フモノヲ解クコトヲ努メナイデ、益氷解セシメナイデ、今  
日マデ置クノデアル、是ハ斷ジテ私ハ唯今ノ所ノ四十九條ニ背ケテ居ル所ノ  
本年ノ本會ノ出來事デアルデ、モウ一ツノ御話ヲシナケレバナリマセヌノ  
府ニ轉送シ、國務大臣ハ直チニ答辯ヲナシ、又ハ答辯スベキ期日ヲ定ム、若

十九條ノ手續ヲナサズシテ、議會ノ解散ニ至ルマデ其手續ヲナサナイ、ナゼノナイヤウニシテ、ソレカラドンナ上奏文デモ造ツテ議會ヲ解散スルハ當リ前ノ手續デアル、當リ前デアル、當リ前デ無イニ拘ラズ、四十九條ト云フモノハ、即チ昨年モ存シテ居ツタノデアリマス、(簡單ト云フ者アリ)就中昨年提出シタ所ノ中野武營君内藤利八君ノ質問ト云フモノハ、御承知モゴザリマス通り、山口縣ノ地押調査ノ事件デアル、是ハ一昨年カラ未タ要領ヲ得ナインデアル、山口縣ノ如キハ特ニ諸君モ御承知ノ如ク、十九年ノ地押調査ニ依ツテ若干ノ地所ヲ發見シテ、其地價ヲ増シテ居ルニモ拘ラズ、今以テ之ニ新稅ヲ課サナイデアルノデアル、此山口縣ハ獨リ非常ノ幸福ヲ得テ、他ノ府縣ハ之カタメニ重キ稅ヲ課サレテ居ルノデアル、斯ノ如キコトガ何故昨年立派ニ答辯ヲ與ヘナイデ、又昨年ノ此事ノ答辯ハ姑ク措イテ先刻申上ゲル通り、實際之ヲ實行シテ行カナイノデアル、其實行ナサナイミナラズ、山口縣ハ實ニ日本ノ憲法モナシ法律モナキ有様デアル、十九年ノ地租ヲ改正シテ是丈ノ地面ガ增加シテ、是丈ノ地價ト云フモノガ上ツテ居ルノニ、之ニ新稅ヲ課サナイ、其實行ヲシナイ、法律ヲ以テ之ニ課サナイデモ構ハナイデ置クナラバ、法律アツテ此法律ヲ行フコトガ出來ナイノカ、如何ナル事情ガアツテ此法律ヲ行フコトガ出來ナイノカ、獨リ法律ヲ行ハヌノミナラズ、却テ政府ハ此裏手ニ迴ツテカラニ、此人民ノ氣ニ入ルヤウナコトヲ殆ドナスガ如ク、議會ニ向ツテ山口縣外四縣ノ人民ヲシテ、殆ド之ヲ辯護スルガ如キ有様デアルノデアル、獨リ此法律ヲ實行セザルノミナラズ、動モスレバ裏手ニ迴ツテ反動力ヲ起サセルヤウナ仕事ヲスルノデアル、近ク例ヲ舉ケレバ此間茲デ立派ニ議決シタモノヲ、上院ノ裏手ニ迴ツテ妙ナコトヲ上院ニ出來イシタノデアル、モウ一ツ例ヲ舉クレバ、愛知岐阜震災事件ト雖モ是又本當ノ手續ヲ以テ爲シタナラバ、議會三百人ノ議員誰か之ニ一人反對ヲ致ストハ我、ハ信ジナイ、三百人ノ議員ハ舉グテ愛知岐阜兩縣人民ノ爲メニ涙ヲ揮ツテ一百二十五万圓ハ愚カ、數百万圓ヲモ擲ツコトハ存シテ居マスガ、政府ハ裏手ニ迴ツテ利口振り、憲法ノ解釋ハ云々ト勝手次第ニ――是ハ昨日議決ニナリマシタカラ、姑ク此事ハ論ジマセヌガ、何故表面的ノ運動ヲ爲サナイノデアルカ、何故表面的ノ運動ヲナサナイノカ、殊ニ山口縣ヲ特別ニ保護スルガ如ク、默許スルガ如ク、私德ヲ賣ルガ如キ事ヲ爲シテ、他ノ府縣ノ人民ニソレ丈重キ租稅ヲ課シ來リタルト云フコトハ、一向ニ感ゼナイノカ、ドウ云フノカ、更ニ分ラヌコトデアル、是等ノ點ニ向ツテ中野武營君其他ノ諸君ヨリ質問ヲシテ居ル、斯ウ云フ要點ニ向ツテハ早ク答辯ヲ與ヘル方ガ宜カラウト思フ、明ニ答辯ヲ與ヘ、且ツ斯ノ如キ不都合ノナイヤウニシテ、――俗ニ云フ依怙最負ノナイヤウニシテ、苟モ政府ハ政府ノヤウニ取扱ハル、方ガ宜カラウト思フノデアル、且ツ四十九條ト云フモノガ議院法ニアル以上ハ、答辯スルノガ御厭デモ何デモ是ハシナケレバナラヌ、其手續ヲ盡サナケレバナラヌノデアルデ、中野武營君其他諸君カラ御出シニナツタノハ、一昨年ヨリ既ニ九通十六件アリマス、皆答辯ノナイ分デアル、ソレヲ見マスルニ格別答辯ニ骨ノ折レサウモナイモノデアル、最モ山口縣杯ハ答辯ヲスレバ直チニ明瞭ニ、正直ニ

答辯ヲスレバ直チニ實行ヲシナケレバナラナイカラ、定メテ答辯ヲスルノハ一年デモ遲イ方ガ割合ガ宜イカモ知ラヌガ、サウ云フモノデハナイ、斯様ナ議論ヲシマスト矢張山口縣其他ノ諸君ハ昨日ノ震災事件ノヤウニ反対ノ意見ヲ起スデアラウガ、サウ云フモノデハナイノデアル、是ハ政府ガ公明正大ニヤツテ參レバ、三百八ノ議員ハ皆公明ニ此事件ニ對シテモ正直ニハ、又一人ノス通リ、山口縣ノ地押調査ノ事件デアル、當リ前デ無イニ拘ラズ、四十九條ト云フモノハ、即チ昨年モ存シテ居ツタノデアリマス、(簡單ト云フ者アリ)就中昨年提出シタ所ノ中野武營君内藤利八君ノ質問ト云フモノハ、御承知モゴザリマス通り、山口縣ノ地押調査ノ事件デアル、是ハ一昨年カラ未タ要領ヲ得ナインデアル、山口縣ノ如キハ特ニ諸君モ御承知ノ如ク、十九年ノ地押調査ニ依ツテ若干ノ地所ヲ發見シテ、其地價ヲ増シテ居ルニモ拘ラズ、今以テ之ニ新稅ヲ課サナイデアルノデアル、此山口縣ハ獨リ非常ノ幸福ヲ得テ、他ノ府縣ハ之カタメニ重キ稅ヲ課サレテ居ルノデアル、斯ノ如キコトガ何故昨年立派ニ答辯ヲ與ヘナイデ、又昨年ノ此事ノ答辯ハ姑ク措イテ先刻申上ゲル通り、實際之ヲ實行シテ行カナイノデアル、其實行ナサナイミナラズ、山口縣ハ實ニ日本ノ憲法モナシ法律モナキ有様デアル、十九年ノ地租ヲ改正シテ是丈ノ地面ガ增加シテ、是丈ノ地價ト云フモノガ上ツテ居ルノニ、之ニ新稅ヲ課サナイ、其實行ヲシナイ、法律ヲ以テ之ニ課サナイデモ構ハナイデ置クナラバ、法律アツテ此法律ヲ行フコトガ出來ナイノカ、如何ナル事情ガアツテ此法律ヲ行フコトガ出來ナイノカ、獨リ法律ヲ行ハヌノミナラズ、却テ政府ハ此裏手ニ迴ツテカラニ、此人民ノ氣ニ入ルヤウナコトヲ殆ドナスガ如ク、議會ニ向ツテ山口縣外四縣ノ人民ヲシテ、殆ド之ヲ辯護スルガ如キ有様デアルノデアル、獨リ此法律ヲ實行セザルノミナラズ、動モスレバ裏手ニ迴ツテ反動力ヲ起サセルヤウナ仕事ヲスルノデアル、近ク例ヲ舉ケレバ此間茲デ立派ニ議決シタモノヲ、上院ノ裏手ニ迴ツテ妙ナコトヲ上院ニ出來イシタノデアル、モウ一ツ例ヲ舉クレバ、愛知岐阜震災事件ト雖モ是又本當ノ手續ヲ以テ爲シタナラバ、議會三百人ノ議員誰か之ニ一人反對ヲ致ストハ我、ハ信ジナイ、三百人ノ議員ハ舉グテ愛知岐阜兩縣人民ノ爲メニ涙ヲ揮ツテ一百二十五万圓ハ愚カ、數百万圓ヲモ擲ツコトハ存シテ居マスガ、政府ハ裏手ニ迴ツテ利口振り、憲法ノ解釋ハ云々ト勝手次第ニ――是ハ昨日議決ニナリマシタカラ、姑ク此事ハ論ジマセヌガ、何故表面的ノ運動ヲ爲サナイノデアルカ、何故表面的ノ運動ヲナサナイノカ、殊ニ山口縣ヲ特別ニ保護スルガ如ク、默許スルガ如ク、私德ヲ賣ルガ如キ事ヲ爲シテ、他ノ府縣ノ人民ニソレ丈重キ租稅ヲ課シ來リタルト云フコトハ、一向ニ感ゼナイノカ、ドウ云フノカ、更ニ分ラヌコトデアル、是等ノ點ニ向ツテ中野武營君其他ノ諸君ヨリ質問ヲシテ居ル、斯ウ云フ要點ニ向ツテハ早ク答辯ヲ與ヘル方ガ宜カラウト思フ、明ニ答辯ヲ與ヘ、且ツ斯ノ如キ不都合ノナイヤウニシテ、――俗ニ云フ依怙最負ノナイヤウニシテ、苟モ政府ハ政府ノヤウニ取扱ハル、方ガ宜カラウト思フノデアル、且ツ四十九條ト云フモノガ議院法ニアル以上ハ、答辯スルノガ御厭デモ何デモ是ハシナケレバナラヌ、其手續ヲ盡サナケレバナラヌノデアルデ、中野武營君其他諸君カラ御出シニナツタノハ、一昨年ヨリ既ニ九通十六件アリマス、皆答辯ノナイ分デアル、ソレヲ見マスルニ格別答辯ニ骨ノ折レサウモナイモノデアル、最モ山口縣杯ハ答辯ヲスレバ直チニ明瞭ニ、正直ニ

### ○議長(星亨君) 是ヨリ本日ノ議事日程ノ第一ニ移リマス

### 第一 愛知岐阜富山福岡四縣下土木費補助トシテ明治二十四年度豫算外支出ノ件(政府提出)(特別委員長報告)

○河島醸君(百六十八番) 諸君、本員ハ茲ニ明治二十四年度豫算外支出岐阜愛知富山福岡四縣土木補助費ノ事後承諾ニ就イテ意見ニ於キマシタ審査特別委員ノ調查上ノ結果ヲ、諸君ニ報告致シマス  
抑岐阜愛知兩縣下ニ於キマシタ所ノ震災ト云ヒ、又富山福岡兩縣下ニ於ケル所ノ水害ト云ヒ、實ニ稀世ノ灾害デゴザリマシテ、爲メニ數万ノ民命ヲ傷ヒ、爲メニ數千万圓ノ民財ヲ失ツタ次第デゴザリマス、故ニ政府ハ此四縣下ニ對シマシテ勅令二百五號ヲ以チマシテ、國庫金ヲ支出致シ、而シテ岐阜愛知兩縣ノ震災ヲ救ヒマシタ、又富山福岡兩縣下ニ於キマシテハ其水害ヲ救フタメニ、第二豫備金ヨリ若干ノ金ヲ支出シテ、孰レモ此間焦眉ノ急ヲ救フノ處分ヲ爲シマシタデゴザリマス、固ヨリ此ノ如キ非常ナル天災ニ際シマシテハ、十分ニ政府ハ義務上德義上ヨリシテ、宜シク國費ヲ以テ其慘状ヲ救ヒ、其慘毒ヲ救濟スルト云フコトハ、國家ニ取シテ當然デアル、幸ニ我帝國憲法ニ於キマシテハ國費支出ノ條項ヲ明示シテゴザリマシテ、又ソレニ附屬スル所ノ會計法ハ、其支出ノ項目ヲ規定シテゴザリマス、ソレ故ニ政府ハ憲法ノ命ズル所、會計法ノ規定スル所ニ依ツテ國庫ノ金圓ヲ支出シ、此ノ如キ場合ノデアル、且ツ四十九條ト云フモノガ議院法ニアル以上ハ、答辯スルノガ御厭デモ何デモ是ハシナケレバナラヌ、其手續ヲ盡サナケレバナラヌノデアルデ、中野武營君其他諸君カラ御出シニナツタノハ、一昨年ヨリ既ニ九通十六件アリマス、皆答辯ノナイ分デアル、ソレヲ見マスルニ格別答辯ニ骨ノ折レサウモナイモノデアル、最モ山口縣杯ハ答辯ヲスレバ直チニ明瞭ニ、正直ニ

以テ、其憲法ノ條項ヲ適用シ得ルコトヲ致シマセヌ場合ニ於キマシテ、若シ一朝憲法ノ適用ヲ誤ツタナラバ、將來ニ如何ノ不都合ヲ來タスカモ知レヌ、此應用ヲ誤ツタ弊ト云フモノハ、即チ帝國將來ニ向ツテ不文ノ憲法ヲ作ルト云フ結果ヲ生ジマスデゴザリマス、故ニ此憲法ノ應用ト云フ者ハ尤モ宜シキヲ得ル様ニ、精細注意ヲ加ヘナケレバナリマセヌ、即チ其適用宜シキヲ得ルヤ否ヤト云フ結果ハ、國家ノ安危ト盛衰トヲ豫定スルコトガ出來ル、故ニ憲法ノ適用ト云フコトハ最モ我ミガ鄭重ニ、最モ我ミガ謹嚴ニ、之ヲ取調べナケレバナラヌコトデゴザリマス、苟モ事ヲ一時ノ急務ニ迫リ之ヲ輕率ニ致シマシテ、斯場合ニ於テ、其宜シキヲ得マセヌトキハ、憲法ノ精神ヲ傷フノミナラズ、將來ニ大ナル患害ヲ遺シマス、故ニ憲法ノ適用ニ關スル疑問ハ、事ノ緩急如何ニ拘ハクズ須ラク謹重ヲ加ヘルノガ我ミノ職分ニアラウト思ヒマス、既ニ此憲法ノ適用ノ問題ニ於キマシテハ、昨日モ殆ド同様ノ問題ガ起リマシタガ、一報告ヲ致ス問題ト去リナガラ、昨日ノ問題ト日本員ガ茲ニ提出シタレマシタ、即チ二十四年度豫算外支出岐阜愛知富山福井、聊カ其應用ニ於テ事實ヲ異ニシテ居リマスカラ、暫ク諸君ノ清聽ヲ請ヒ、政府委員ニ希望スルノハ、昨日ノ如ク自ラ逆上セズニ、意見ガアルナラバ議院ニ意ノ貫徹スルヤウナ答辯アランコトヲ希望致シマス、先キニ本問題ヲ此特別委員會ニ付託セラレマシタ、即チ二十四年度豫算外支出岐阜愛知富山福井四縣土木補助費ノ事後承諾ノ件ト云フモノハ、事固ヨリ重大大ノ問題デゴザシタ、而シテ政府ガ憲法六十四條二項ヲ解釋致シマスルノハトウデアルカト、而シテ見ルト、即チ憲法六十九條ニ規定セル豫備費ノ外尙本國庫ニ餘剩金アルトキハ、財源ノ許ス限り六十四條ノ二項ニ依ツテ、國費ヲ支辨スル權利ヲ有シテ居ル、故ニ政府ハ唯其明文ニ從ツテ事後承諾ヲ議會ニ求メハ權利ヲ有シタ、而シテ政府ガ憲法六十四條二項ヲ解釋致シマス、我ミ委員會ノ見解ハ即チ政府ト大ニ其見解ヲ異ニシテ、即チ憲法六十四條二項ハ其明文ノ如ク特ニ豫算外ニ生じタル支出アルトキハ、是ガ支出ヲ爲スコトヲ得セシムル途ヲ開キタルモノデアリマシテ、即チ憲法六十九條ハ六十四條ノ二項ニ關聯シ、其財源ヲ示シタルモノト考ヘテ居リマス、而シテ又憲法ノ附屬法トモ謂フベキ會計法第七條ニ「豫算中ニ設クヘキ豫備費ハ左ノ一項ニ分ツ第一豫備金第一豫備金即チ第一豫備金ハ避クヘカラサル豫算ノ不足ヲ補フモノ第二豫備金ハ豫算外ニ生シタルモノト考ヘテ居リマス、而シテ又憲法ノ附屬法トモ謂フベキ會計法第七條ニ「豫算中ニ設クヘキ豫備費ハ左ノ一項ニ分ツ第一豫備金第一豫備金即チ第一豫備金ハ避クヘカラサルモノ」トシテゴザイマス、是ニ由ツテ考ヘテ見マスルト、即チ第一豫備金ハ憲法六十四條ノ二項ニ云フ豫算ノ超過ニ充テ第二項ハ豫算外ノ支出ニ充ツルコトハ憲法ト會計法ト對照スレバ、誠ニ瞭然ノコト、考ヘマス、是ニ於テカ此本委員會ハ憲法第六十四條ノ二項ハ豫備費ノ外政府ニ支出權ヲ與ヘタモノデハナイ、六十四條ノ二項ハ政府ハ外ノ費用ヲ以テ之ヲ支出スルコトノ權利ヲ有セザルモノト、我ミハ解釋シテ居ル、故ニ政府ハ六十四條ノ二項ニ依リ本件ノ承諾ヲ求メマシタノハ、即チ不合法ノ處置、即チ憲法ノ適用ヲ誤ツタルモノト我ミハ決定ヲ致シマシテ、即チ委員會ガ全会一致ヲシテ斯ノ如キ議決ヲ爲シマシタ次第ゴザイマス、固ヨリ憲法ノ疑問憲法上應用ノ問題ハ、歐米各國ニ於キマシテモ段々學說上許多ノ見解ヲ下シ、又此憲法歷史上ニ於ティロンナ參照トナルペキコトガ澤山ゴザルサウデゴザイ

マスガ、我國ニ於テハ憲法政治以來未ダ數年ヲ經マセヌコトデゴザイマス、故ニ斯ノ如キ適用モゴザラズ、今日始メテ斯ノ如キ問題ガ起ツタノデ、之ヲ議決スルト否トニ於キマシテ將來我帝國憲法史上ニ「ノ慣例ヲ作ルノ、所謂不文憲法ヲ作ルノデゴザイマス、而シテ又斯ノ如キモノニ於キマシテ隨分他ニ參照ヲ求ムベキモノガアルカト問フテ見マスルト、何モ斯ノ如キ參照ヲ求ムベキモノハゴザイマセヌ、唯僅ニ伊藤伯ノ憲法義解ガアル、此憲法義解ハ我政治社會ニ敬重セラル、モノデアリマス、固ヨリ本員モ敬重スベキモノト考ヘテ居リマス、如何トナレバ彼ノ伊藤伯ハ卽チ我天皇陛下ガ憲法ヲ欽定セラル、ニ當シテ、勅ヲ奉ジテ海外ニ派出セラレ、卽チ憲法上ノ調査ニ専ラ從事セラレテ居ルコトハ、是ハ諸君ノ御承知ニナルコトデゴザイマスカラ、此憲法義解ハ伯一己ノ意見ト致シマシテモ、社會ニ對シ大ニ同伯ハ責ニ任ズル所ガアラウト思ヒマス、シテ見レバ同伯ノ憲法義解ハ我ニ政治社會ニ隨分信用ヲ措クベキモノト本員ハ確信シテ居ル、幸ニ同伯ノ憲法義解ヲ見レバ我委員ガ議定シタノト、殆ド同一ノ精神ニ出テ居リマス、シテ見レバ此問題タルヤ政府ノ答辯ノ如ク、之ヲ三百代言的ノ辯護ノ用ニ供スル如キ見解ヲ爲シタ場合ニハ、如何様ニモ解釋ハ出來ルカ知レマセヌガ、卽チ憲法ハ普通ノ法律ノ如ク詳細ヲ示シタモノデナク、大體ヲ示シマシタモノデアリマスカラ、先キニ申シタ通德義ト法律ニ依テ、其正解ヲ下スノガ憲法適用ノ必要ト考ヘテ居リマス、而シテ先ニ申シタヤウニ此土木補助費支出ト云フモノハ、即チ政府ガ事後承諾ヲ求メマスルニ憲法六十四條ノ二項ニ依ツテ求メタノハ、即チ不合法ノ所爲ト認メテ決定ヲシタノデゴザイマス、ソレノミナラズ此國費ノ支出上卽チ富山福岡兩縣下ノ水害土木費ハ、是ハ尋常普通ノ手續ヲシテ居リマス、即チ町村會又ハ縣會ノ議決ヲ經テ、精確ナル設計豫算ヲ立て正當ナル順序ヲ經テ、政府ニ兩縣水害土木補助費ヲ請求シタモノデゴザイマス、故ニ國費ノ支出上此兩縣ノ支出ノ手續順序其當ヲ得タルモノトシテ、隨ツテ此補助費ノ性質ハ餘程明カニナツテ居リマシテ、所謂補助費ノ實ガアルノデゴザイマス、之ニ反シマシテ岐阜愛知ノ如キハ其名土木補助費ト云フテモ、其實震災救濟費ト性質分チ難クシテ幾分カ恩惠ノ性質ガアル、ソレカラ富山福岡水害ノ補助費ハ設計其宜シキヲ得テ、實ニ精確ナルモノト委員會ハ認メマシタ、故ニ兩縣下ノ補助費ノ請求ニ就キマシテハ、若シ政府ガ合法ノ請求ヲ求メマシタ場合ニハ、我ニハ此富山福岡兩縣ノ水害土木費ノコトニ就イテハ、決シテ是ニ承諾ヲ與ヘルニ躊躇セヌ積リデアリマス、然ルニ如何セン此兩縣ノ水害土木費ハ先程モ申ス通、憲法ノ適用ヲ誤クテ居リマスカラ、之ニ政府ノ要求ノ如ク承諾ヲ與ヘルコトヲ出來ヌノハ、本員等ノ遺憾トスル所ゴザイマス、而シテ此岐阜愛知兩縣ノ震災土木費支出ニ附イテハ、縱令政府ハ議會ニ對シテ合法ノ要求ヲ致シマシテモ、本委員會ハ斯ノ如キ此疎漏ナル、斯ノ如キ不正確ナル要求ニ對シテハ之ニ承諾ヲ與ヘルコトハ出來ヌト云フコトヲ決シマシタ、其理由ト申スモノハ此兩縣下ニ於ケル所ノ震災ト云フモノハ、曩ニ申シマシタヤウニ數万ノ生靈ヲ傷ヒ、數千万ノ民財ヲ失フタ場合デアッテ、我ニ同胞兄弟ノタメニ痛嘆スベク最モ悲ムベキコトデゴザイマスガ、之ニ對スル相當ノ處置ヲスルノハ政府ノ義務上必要ノコトデゴザイマス、併ナガラ昨日モ兩縣ニ於ケル震災費ノコトニ就イテ國務大臣モ喋々辯ぜラレマシテ、隨ツテ岐阜縣選出議員大野君ハ當時ノ急ト云フモノ、今日トハ

大ニ感情ヲ異ニスル所ガアル、尙ホ當時ノ急ヲ照慮シテ議決シナケレバナラ  
又ト云フコトノ御演説デゴザイマシタガ、シテ見レバ是ハ憲法問題デアル、慣  
例ヲ將來ニ作ル問題デアル、併ナガラ此事ハ焦眉ノ急デアリ、アノ場合ハ  
相當ノ手續ヲ經ルコトガ出來ヌカラ、此災害ヲ默視スルコトハ出來ヌカラ、  
此處分ヲ致シタ云フノデアルカラ、不十分ナガラモ之ニ承諾ヲ與ヘヤウト  
云フ請求ノ如クニ考ヘラレマス、併ナガラ先ニ申ス通憲法上ノ問題ハ事ノ輕  
宜シク之ヲ審査シテ能ク其審査ヲシテ、憲法ハ憲法上ノ相當ノ解釋ヲシテ下  
スノガ、本院ノ職分ニアラウト思ヒマス、而シテ政府ガ岐阜愛知兩縣ニ對シ  
重大小ニ拘シテ判斷ヲ下スペキモノデハナク、此憲法上ノ運用宜シキヲ得ル  
ト得ザルトハ、將來憲法上ニ於テ一不文ノ憲法ヲ作ル煩ヒガアリマスカラ、  
ガ、此兩縣ノ土木補助費ト云フモノハ自カラ性質ヲ異ニシテ居リマス、其性  
質ヲ異ニシテ居ル理由ハ決シテ外デハゴザイマセヌ、即チ補助費ト云フモノ  
ハ何カラ起ルモノト申セバ、其補助スペキモノガナケレバナラナイ、實際ノ  
設計豫算トカ目論見書トカ云フモノガナケレバナラナイ、斯ノ如キ損害ガア  
テ是丈ノ費用ヲ要スルガ故ニ、之ニ對シテ斯ノ如キ補助ヲシナケレバナラヌ  
ト云フ、確然タル設計ガナケレバナラナイ、然ルニサウ云フモノハナクシ  
テ、震災救濟費ト同シク唯概算目論見ニ依シテ此巨額ノ金ヲ下付シタノデゴ  
ザイマス、固ヨリ土木補助費ニ於テハソレノ被害ノ土地ニ就キ設計ヲ十分  
ニ立テ、是ハ地方稅若クハ町村費ヲ以テ支辨スペキモノ、上ニ、幾何若干  
圓ヲ補助スペキモノデアルトカ、若クハ此民力ニ耐ヘザルコトデアルカラ、  
政府カラドレ丈ノ補助ヲスベキモノデアルトカ云フ詳細ノ設計ヲシテ此設計  
ハ第一各町村ニ於テ基礎ヲ立テマシテ、各郡ニ於テ能ク之ヲ調査シ、從シテ  
一縣ニ於テ總テノ再調査ヲシテ、ソレノ技師技手ヲ派遣シテ、實地精確ノ  
設計豫算ヲ立テ、從シテ政府ニ補助費ヲ要求スルノガ普通ノ順序デゴザイマ  
ス、彼ノ福岡富山ノ如キハ斯ノ如キ手續ヲ以テ要求シタモノデゴザイマスガ、  
此岐阜愛知ノ兩縣ハ決シテサウデゴザイマセヌ、曩ニ震災救助費トシテ勅令  
二百五號ヲ以テ支出シタル金二百二十五萬圓ノ支出モ、其後勅令二百四十七  
號ヲ以テ土木補助費トシテ支出シタモノモ、殆ト同様ノ取扱ヲシテ居リマ  
ス、同様ノ手續ニナツテ居リマス、固ヨリ二百五號即チ震災救濟ノコトニ附  
イテハ、詳細ナル目論見ヲ立ツテ要求スルト云フコトハ事ノ急ニ應シテ出  
來ナイコトデハゴザイマスガ、此土木補助費ノ方ハ固ヨリ精確ナル設計豫算  
ヲ立ツテ要求スルノハ、極ク必要ナコトデゴザイマス、然ルニ其手續ニ依ラ  
ズシテ彼粗略ナル概算目論見ニ對シテ、ドレ丈ノ金ヲ出シタカト云ヘバ、其  
概算目論見ニ對シマシテ國庫ヨリ支出シタノハ三百二十四万五千八百餘圓ト  
云フ多額デゴザイマス、而シテ斯ノ如キ巨額ノ金員ヲ兩縣ニ下付致シタ、其  
後ノ結果ハ如何ト問テ見レバ、彼ノ概算目論見ト施行目論見トハ大ニ變更ヲ  
致シテ大變ノ異動ガゴザイマス、故ニ各村各郡ニ於ケル所ノ金員ノ分配ト、  
其手續ノ相當ナラザル若クハ其設計ノ不完全ナルガ故カ、其至急ヲ要スル工  
事ニシテ工事未ダ半ニ至ラズ、又其工事ニ著手セザル所ガアル、是レソノ設  
計豫算ノ精確ナラザルガ故ニ、其支出ノ金額ヲ配付スルニ當シテ、其處置當  
ヲ失シタ結果デアルト思ヒマス、殊ニ此設計目論見ト施行目論見ト、工事上  
ニ於キマシテ多額ノ差違ヲ生ジマシタガ故ニ、誠ニ其實地ニ就イテ工事ノ著

手スルニ付イテ、大ニ困難ヲ釀シ居ルト云フ事實ガアルト云フコトヲ聞イテ  
居リマス、先ニモ申ス通救濟費ト土木費トハ自カラ其緩急性質ヲ異ニシタル  
モノデアリマスカラ、當局者ハ素ヨリ區別ノアル所ヲ審ニ承知シテ居リマセ  
ウシ、又補助費ハ斯ノ如キ手續ヲ要スペキモノ、又震災費ハ斯ノ如キ手續ニ  
依ツテ下付スルト云フコトハ、當局者ノ職務トシテシナケレバナラヌモノデ  
ゴザイマス、然ルニ何ノ理由アツテ右ノ如キ手續モ經ズ、政府ハ斯ノ如キ粗  
漏ナル所ノ設計豫算ニ對シテ國庫金ヲ支出シタノデアルカ、實ニ當局者ニ於  
テ其責ヲ全フシタルモノト云フコトガ出來マセウカ、固ヨリ兩縣知事ハ内閣  
ノ監督ノ下ニアルカラ、内閣諸公ハ自カラ其責ニ任ジ、其當否ニ附イテハ自  
ラ處スル所ガアラウト考ヘテ居リマス  
元來此震災土木費支出承諾ノ事項ト申シマスモノハ、之ヲ他ノ政略的ノ彼ノ  
解散問題トカ云フモノニ比較スレバ、幾何カ性質ガ異ナツテ居ル譯デゴザイ  
マシテ、決シテ政府ガ故意的ニ持出シタモノデナイ、即チ政略的ニ持出シタ  
モノデハナイ、已ムヲ得ザル天變ニ附イテ出シタモノデハアルガ、唯之ヲ處  
スル方法如何ヲ我ニ討究スベキモノデゴザイマス、故ニ固ヨリ政府ヲ攻擊ス  
ルタメニ斯ノ如キ論斷ヲ爲スノデハアリマセヌ、將來憲法ヲ維持シ我財政  
ヲ維持スルタメニ審査ヲ要スルモノデアリマス、或ハ諸君ガ政略上已ムヲ得  
ザルモノデアルカラ、之ヲ糺サズ唯一時ノモノトシテ、承諾スベキモノトス  
ル諸君ガアルカモ知リマセヌガ、我歲計上即チ歲計ト云フモノハ、サッパリ  
是デ敗レテ仕舞ツテ國庫ノ餘裕ハ必ズ之ガタメニ盡キルト思ヒマス、サスレ  
バ憲法ノ精神ニ基ツキ十分ニ此支出ニ就イテ不都合ヲ糺シ、會計法ニ照シテ  
十分ニ濫出ヲ防グコトガ本院ノ責務デアラウト考ヘマス、故ニ本委員會ニ於  
キマシテハ先キニ述ベマシタ如ク、憲法上ニ於テモ斯ノ如キ不明瞭ノ要求ヲ  
爲シ、又事實ノ問題ニ於テモ斯ノ如キ不都合ガアル、即チ富山福岡ハ其當ヲ  
得ルモ夫ノ愛知岐阜兩縣ニ支出シタ――其性質ヲ申セバ、土木及救濟費ノ性  
質ヲ混淆シテ、極ク粗略ナル設計ニ依ツテ斯ノ如キ金額ヲ支出スル理由ニ於  
キマシテ、我ニハ決シテ之ヲ承諾スベカラズト決定致シタル所以デゴザイ  
マス、固ヨリ此本件ト云フモノハ政府ガ第一議會ニ提出シタガ緊急問題デア  
ル、續イテ之ガ解散ノ問題トナツタモノデゴザイマス、而シテ其問題ノ結果  
ハドウデアツカト申シマスト、唯今申述ベタ譯合デ、實ニ其性質ノ當ヲ  
失シタル、所謂極ク粗漏ナル概算目論見デ、施行目論見ノ變動ヲ來シタ不都  
合ナルモノデゴザイマス、ソレ故ニ昨日モ鈴木重遠君ヨリ報告ニナツタ所ノ  
震災救助費ニ就イテハ、政府モ十分ニ調査サレテ、中央政府ヨリ實地ニ  
委員會ニ於テ調査上必要トシマス所ノ問題、即チ副島伯ガ議長早亭君ニ要求ヲ致シタル  
由ト云フモノハ、既ニ鈴木君ガ詳細ニ述べラレタ如クデ、本員モ議長ヨリ斯ノ  
如キ通牒ヲ得タノデゴザイマス、ソレト申シマスモノハ此兩縣下ノ震災救助  
費及土木補助費ニ就イテハ、政府モ十分ニ調査サレテ、中央政府ヨリ實地ニ  
委員會ニ於テ調査上必要トシマス所ノ問題、即チ齋藤君ノ質疑書ノ第七項  
第八項ハ内務大臣ガ詳細ナル答辯ヲ與フルコトガ出来ンカツタ、固ヨリ精確  
ナル設計デ施行目論見ニ相違ガナケレバ、其當時直チニ答ヘルコトガ出来マ  
スガ、事實二週間餘モ掛ツテ政府ハ之ニ對シテ詳細ナル答辯ガ出來ナカツタ

ノハ、何ニガ故デアルカト云フニ、ソレハ政府ニ於テハスノ如キ粗漏ナル處分ヲ爲シタヽメ、此答辯ヲスルコトガ出來ヌカツタト云フコトハ、事實ニ於テ明カト思ヒマス、諸君モ斯ノ如ク判断ヲナサル、ト思ヒマス、而シテ第七項第八項ノ質問ニ對シテハ昨日モ述ベタ如ク、副島大臣ハ此ノ如キ粗漏ノ不都合ナル事ヲ議會ニ向ッテ答辯スルハ不都合デアルト云フ所ヨリ、中央政府ヨリ特ニ委員ヲ派遣シテ實地調査ヲ致シテ、議會ニ答辯ヲナサシメヤウ、議會ノ質問ニ答ヘヤウ、ソレ迄ノ間ハ先づ委員ノ報道ヲ止メテ置イテ貨ヒタイント云フ要求デアツタノデアリマス、其要求ノミニ依ッテ報告ヲ怠ッタデハアリマセヌガ、其報告ガ三週間ノ後ニ漸ク報告ヲ致スト云フコトニナツタノハ、何ニ起因スルカト云フト、此停會ヤ何カノタメニ遲延シタノデハナイ、我ニ委員ガ根源ヲ問ヒマス所ノ即チ齋藤代議士ガ議場ニ於テ質問ヲ致サレタコトデアツテ、我ニハ先月十四日ヲ以テ初メテ一回ノ委員會ヲ開イタ所ガ、憲法上ノ問題ニ於テ政府委員ニ答辯ヲ願ッタガ、先程述べマシタ如ク、其事實上ニ就イテハ其時ノ政府委員古市君ハ齋藤君ノ質問ガアツテ、マク答フルコトガ出來ヌカラ、此答モ出來ヌト云フコトヲ言ハレタ、斯ノ如キ政府ノ答辯ニアツテ、政府ガ答辯ガ出來ヌケレバ、直様此事ヲ議會ニ報告ヲスルト云フコトヲ申シマシタガ、其時ニ併ナガラ言ヲ換ヘテ言ヘバ、總テ出来ヌト云フコトデハナイ、其幾分ハ出來ルガ、先日齋藤代議士ヨリノ質問ハ調査中デアルカラ、到底急ニハ出來ヌ、先づ一週間カ其餘ヲ經タナラバ、御答ヲスルガ、マダ齋藤君ノ質問ニ對シテ答ヘナイ以上ハ、委員會ノ質問ニ對シテ十分ナル答辯ヲナスコトハ出來ヌト云フコトヲ述ベラレマシタ、故ニ我ニハ數日間待チニ待チマシタガ、政府ハ十分ナル答辯ヲ與ヘズ、其答辯ノ爲シ能ハザル理由ト云フモノハ、第二期議會ニ於テ緊急問題デアルカラ、之ヲ議會ガ不問ニ置キ緩漫ニ付スルト云フコトデ、解散ノ上奏案ニモ載セラレタト云フコトデアルガ、政府ハ斯ノ如ク議會ニ向ッテ緊急ノ問題デアル重要ナル問題デアルト云フガ故ニ答辯ヲ請求致シマシタケレドモ、委員ノ要求ニ應シテ直チニ精確ナル報告ヲナスコトヲ怠ッタノデアリマス、ソレ故ニ我ニハ斯ノ如ク本會ニ向ッテ議院ニ報告スルコトハ致サレタ次第デゴザイマス、シテ見マスト副島大臣ガ議長ニ要求ノ如ク政府自ラ此不完全ト不都合ナル箇條ガアルト云フコトヲ認メテアルノト思ヒマス、昨日河野農商務大臣ハ曖昧ナル答辯ヲ致サレマシタガ、ソレハ何デアツカト云フト、河野大臣自ラ逆上致サレタカラ、斯ノ如ク曖昧ナル答辯明ヲシタコト、思ヒマス、故ニ政府ガ此理由ヲ能ク勘考サレタラ、今日ハ昨日ノ様ナ不都合ナ答辯ハ致サヌト信ジテ居リマス、又副島内務大臣ノ齋藤代議士質問書ノ七項八項ニ就イテ、漸ク兩三日ヲ經テ白根次官ガ之ニ答ヘタガ、即チソレハドウ云フコトデ斯クノ如ク僅ノ二項ニ對シテ、數日ノ答辯時間ヲ費ヤシタカト問フテ見ルト、要スルニ是ハ副島伯ノ意見ト定メテ、此當局者中ニ於テ意見ノ合ハゼル所ガアツタデアラウト言ハザルヲ得マセヌ、先キニ副島伯ハ特ニ委員ヲ派遺シテ、此詳細ヲ取調べ報告ヲスル……、然ルニ白根次官ハソレニハ何モ關係ノナイモノハ如ク、之ニ喋々答辯ヲ致サレタ、其答辯ト云フモノハ答辯ニアラズシテ、却シテ本員等ノ疑問ヲ増シタノデアツテ所謂代言的辯護法ヲ爲シタノデアル、其辯護法ト云フモノハ本員等ニ於テ尙ホ疑アベキ所ガ往々アラノデゴザイマス、シテ見ルト此岐阜愛知ノ震災事件ニ就イテ此土木補助費

ノコトニ於テハ、政府ノ處置ガ粗漏ニ失シタト云フコトハ、内閣中デ即チ本員等ト同様ナ意見ヲ持テ居ルモノデアラウト考ヘテ居リマス、シテ見マスルト此事ノ不承諾ニ就キマシテハ、固ヨリ兩縣下及ビ富山福岡水害ニ罹シタ所ノ人民ニ對シテハ何モ損害ヲ掛ケキコトデナク、即チ此勅令ヲ以テ仕拂致シタモノデゴザイマスカラ、其罹害ノ其人民ハ之ヲ承諾シナイト云ツテモ、決シテ損害ヲ蒙ラナインデアリマス、或ハサウ云フ御心配ノアル諸君ガアルカラモ知レマセヌガ、愛知其他三縣ノ諸君ハ御安心アツテ然ルベキコトデ、一タルビ勅令ヲ發シタ以上ハ再ヒ官府ニ收納セシムルト云フコトハ出來ナイノデアル、ソコデ我ニガ之ニ不承諾ヲ與ヘタ結果ハドウデアルカト云ヘバ、政府即チ其當局者ハ責任ノアル所ニ依ツテ自ラ處スル所ガアルト云フコトニ決スルノデアリマス、固ヨリ此問題タルヤ黨派問題デゴザイマセズ、我ニ議員ノ特權ト、其獨立權ヲ重ンヅルガ故ニ、斯ノ如ク本委員會ニ於テ議決ヲ致シタ次第デゴザイマスカラ、滿場ノ諸君モ定メシ御賛成ノコト、考ヘテ居リマス、マダ續イテ述ベマスガ、斯ノ如キ災害ト云フモノハ先キニ述ベマシタヤウニ、實ニ……災害デゴザイマシテ、君子ノ政コトニモ斯ノ如キ災害ノ併ビ到ルト云フコトハ實ニ珍ラシイコト、考ヘマス、諸君モ立憲政體ノ實ヲ舉ゲ、將來國費ノ……矯正セシタメニ、滿場ノ諸君リ、即チ立憲政體ノ實ヲ舉ゲ、將來國費ノ……矯正セシタメニ、滿場ノ諸君ノデ合法ノ要求ヲ爲シテモ是ハ承諾ヲ與ヘナイト云フヤウニ書イテアリマスガ、合法ノ要求ト云フノハ抑、委員ハドウ云フコトバ、意味セラレテ、是ニ不承諾ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

○柏田盛文君(百四十四番) 福岡富山二縣ノ土木費ハ縣會又ハ町村會ノ決議ニ依ツテ政府ニ要求シタモノデアルカラ、正確ナモノト認メル、ソレカラ岐阜愛知ハ縣會ニ議決ニ依ラナインデアルカラ、正確ノモノト認メル、ソレガ、合法ノ要求ト云フノハ抑、委員ハドウ云フコトバ、意味セラレテ、是ニ不承諾ヲ與ヘラレンアリマスカ

○河島醇君(百六十八番) 憲法六十四條二項ハ不合法ト見ルノデアルノ……

○柏田盛文君(百四十四番) 合法ト云フノハ……

○河島醇君(百六十八番) 憲法六十四條二項ニ依ツテノ要求ハ不合法ト見ルノデアリマス、ソレヲ委ク御調ベニナルナラバ、即チ御手許ニ迴シテアル所ノ……

○柏田盛文君(百四十四番) 政府ノ要求シタ所ハ不合法ノモノト思ヒ、之ニ承諾ヲ與ヘナイ、併ナガラ合法ノ要求ヲスレバ、富山福岡ニハ承諾ヲ與ヘルケレドモ、アトノ岐阜愛知ハ総令合法デアツテモ承諾ヲ與ヘナイト云フコトデアレバ、合法ノ要求ト云フモノハドウ云フモノデアルト云フコトバ、定メテ置カナケレバ不合法ト云フコトハ言ハレナイコトデアリマセウ、ソレデ合法ト云フコトハ委員ハドウ云フコトヲ指シタモノノデアルカ、ソレヲ……

○河島醇君(百六十八番) 成程分リマシタ、合法ノ講釋ヲ御聽キナサルノデスカ、ソレハ政府ノ要求ハ憲法六十四條ノ二項デ不合法トスルナラバ、委員デ合法ト云フモノハドウ云フモノヲ認メテ居ルカ、ト云フ問デアリマスカ

○柏田盛文君(百四十四番) サウデス

○河島醇君(百六十八番) 御聽キナサイ、其講釋ヲ御聽キナサルナラバ申シマセウガ、ソレハ此憲法七十條ニ就イテ御覽ナサルト幾分カ御分リガアラウル所ガアツタデアラウト言ハザルヲ得マセヌ、先キニ副島伯ハ特ニ委員ヲ派遣シテ、此詳細ヲ取調べ報告ヲスル……、然ルニ白根次官ハソレニハ何モ關係ノナイモノハ如ク、之ニ喋々答辯ヲ致サレタ、其答辯ト云フモノハ答辯ニアラズシテ、却シテ本員等ノ疑問ヲ増シタノデアツテ所謂代言的辯護法ヲ爲シタノデアル、其辯護法ト云フモノハ本員等ニ於テ尙ホ疑アベキ所ガ往々アラノデゴザイマス、シテ見ルト此岐阜愛知ノ震災事件ニ就イテ此土木補助費

政府ガ憲法七十條ニ依ツテ要求ヲシタナラバ、是ハ要求ニ應ズベキモノデアラウト考ヘテ居タ、ソレハドウ云フコトデアルカト云フト……

〔間違ヒト大誤解ト呼ブ者アリ〕

○河島醇君(百六十八番) ソレハドウ云フコトデアルカト云フト、七十條ト云フモノハ「公共ノ安全ヲ保持スル爲緊急ノ需用アル場合ニ於テ内外ノ情形ニ因リ政府ハ帝國議會ヲ召集スルコト能ハザルトキハ勅令ニ依リ財政上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得」斯ウ云フノデアリマス、此方ニ近カラウト思フノデアリマス。

〔誤解タキト呼ブ者アリ〕

○河島醇君(百六十八番) 併ナガラ本員ノ今答ヘタノハ、諸君ガ誤解ト見テモソレハ一箇ノ解釋デアル、即チ柏田君ガ講義ヲ請フカラ……

○柏田盛文君(百四十四番) 此シ……

○河島醇君(百六十八番) マダ御分リニナラメナラバ、宅へ來テ御聽キナサイ、一箇ノ解釋ヲ御聽キナサルナラバ、宅へ御出ナサイ

○井上角五郎君(七十六番) 本員ハ河島君ニ質問致シマス、二箇條バカリ三箇條バカリゴザイマスカラ、一度ニ申上ゲマスカラ一度ニ御答ヲ願ヒマス、河島君ハ長々御演説ニナカタ、一番初メニ於テ本日ノ問題ハ昨日ノ問題ト大ニ異ヒテ居ル、——斯ウ仰セラレツ、始メカラ仕舞マデ、要スルニ鈴木重遠君ノ昨日ノ演説ヲ繰返サレタニ過ギナイト思フ、達タ點ハドコカ、極ク分リヨク一口ニ……

○河島醇君(百六十八番) 不辯デスカラ、一問題ニ就イテ御答ヲスル、違ッタ點ハ是ヘ土木補助費デアル

(此時拍手スル者アリ)

○井上角五郎君(七十六番) 河島君ハ此問題ハ昨年ノ解散ノ理由トモナツタ問題デアルカラト云フコトヲ言ハレマシタガ、此問題ノ金ヲ支出シタノハ解散ノ前デゴザイマシタカ、ドツチデゴザイマシタカ

○河島醇君(百六十八番) 此震災事件ト云フモノハ解散ノ理由ニナツテ居ルノデ、是ハ附帶シテ居ル問題デアリマス

○井上角五郎君(七十六番) 本員ハ斯ノ如キ委員長——寶ニ物ノ分ラヌ者ニ向クテ質問ハ致シマセス

○石原半右衛門君(二百十七番) 質問ガゴザイマス

○河島醇君(百六十八番) モウ大抵質問ハ宜ウゴザイマセウ

○議長(等音君) 百三十七番  
(加藤政之助君演壇ニ登ル)

○加藤政之助君(百三十七番) 諸君、此問題ハ昨日諸君ガ御議シニナリマシタ所ノ問題ト、餘程半以上關係ヲ持テ居リマス所ノ問題デゴザリマス、先

ゲ昨日以來ノ諸君ノ御議シニナル所ヲ見マスルト云フト、此本問題ニ關係ガナイ所ノ言葉ヲ以テ、此本問題ヲ左右スル様ナル發言ガ大分アリマシタト考

ヘマス、ソレハ何デアルカト申シマスルト云フト、此憲法問題ヲ討議致シマスルノニ、之ヲ承諾致シマセナンダナラバ、或ハ人情ニ特ルトカ、災餘ノ人

民ニ向クテ酷薄デアルトカ云フガ如キ言葉ヲ用ヰテ、此議事ニ答辯致シタ人ミ

ガゴザリマシタト思ヒマス、而シテ此場ニ御出ニナル所ノ三百ノ議員諸氏

ハ、岐阜愛知ノ此災害即チ震災ト云フコトニ向クテ、之ヲ憐ムノ情ガアルカ

ナイカト云フコトヲ申シマシタナラバ、此滿場皆同情同感デ、アノ如キ災害ニ罹ツタ人々ハ救ハネバナナイト云フコトハ、皆感ジテ居リマスデゴザリマセウ、一人モ之ニ向クテ不同意ソ唱ヘル所ノ人ミハナイデアラウト私ハ考

ヘテ居リマス、而シテ此我ヒガ此問題ヲ承諾スルトセザルトハ、固ヨリ此岐

阜愛知ノ災餘人民ニ救ツタ時、此政府ガ金ヲ支出シタ點ニ於テ關係ノアルノ

デハナインデアル、其此問題ヲ好シ憲法上デ不合法デアル、我ヒハ不承諾デ

アルト申シマシタ所ガ、其不承諾デアルト申シマシタ所ノ言葉ノタメニ、岐

阜愛知ニ出シマシタ所ノ金ヲ賄戻スト云フコトガアルノデハナイ、又此勅令ヲ以テ處置シタ事柄ヲ既往ニ向クテ追廢スルコトノ出來ヌモノデアルト云フ

コトハ、誠ニ明ナル道理デゴザリマセウ、若シ勅令若クハ命令デ處分シタ

柄ヲ後ニ承諾ヲシナイガタメニ、之ヲ追廢スルモノトナリマシタナラバ、勅

令若クハ命令デ人ヲ禁錮ニ處スル、若クハ酷ク言ッテ首ヲ斬ルト云フ様ナコ

トガアツタ時分ニハ、之ヲ承諾シナイト云フタメニ其首ヲ斬ル者ガ接ゲル

カ、其入獄シタ者ヲ取返スコトが出來ルカ、決シテ出來ヘキ筈ノモノデナイ

ノデアル、ソレト同様ナコトデアリマシテ、此問題ヲ好シ憲法上デ我ヒガ

不承諾ト決シマシタカラトテ決シテ岐阜愛知ニ支出シタ金額ニ關係ハナシ、

此救助ヲ受ケタ所ノ事柄ニ於テ何ノ差支ガナイト云フコトハ、之ガ明ナル譯

デゴザイマセウ、然ラバ此問題ハ唯憲法上デ我ヒガ承諾ヲ與ヘルカ與ヘナイ

カト云フコトガ、即チ此議場ノ爭點デアル、唯我ヒノ争フ所ハ憲法ノ適用デ

アル、若シ此憲法ノ適用ト云フコトヲ誤リマシタナラバ、如何デゴザリマセ

ウカ、憲法ハ國家ノ基礎デゴザリマセウ、憲法ハ法律ノ源デゴザリマセウ、

此法律ノ源タル國家ノ基礎タル憲法ト云フモノ、解釋ヲ誤テサウシテ之ヲ

打崩シタナラバ、如何成リ行クデゴザリマセウ、國家ノ基礎ハ崩ル、デゴ

ザリマセウ、國民ノ權利ハ之ガタメニ消滅致シマスデゴザリマセウ、其害ト

云フモノハ實ニ今日ノ岐阜愛知ノ問題デハナクシテ、國家永年前途ノ永久ニ

及ビマス所ノモノデアラウト思ハネバナラヌ、然ラバ我ヒハ此問題ヲ解説

スルニ當ツテハ、岐阜ノ人ニ不人情デアルトカ、或ハ岐阜ノ人ニ向クテ酷薄

デアルトカ云フ様ナコトハ、言フベキ必要ハナインデアル、唯我ヒハ岐阜ノ

人タルト或ハ愛知ノ人タルト、或ハ他府縣ノ人タルトヲ問ハズ、此議場ニ

列セラル、諸君ハ、虛心平氣デ政府ガ憲法六十四條第二項ニ依ツテ斯ル承諾

ヲ求メラレタルハ適當デアルカ、ナイカト云フコトヲ考ヘレバソレデ宜シイ

ノデアルト私ハ思ヒマス、然ルニ昨日内閣總理大臣松方伯爵ハ此席ニ臨マレ

マシテ言ハレマシテゴザリマスガ、人情ト云フモノハ酷イト思ッテモ時ガ過

ルト云フト薄クナルモノデアルト、何ンダカ此言ヲ人情ト云フモノニ借リテ、

サウシテ此議會ノ人ヒガ之ニ不承諾ヲ與ヘタナラバ、岐阜愛知ノ人ヒニ向ク

テ薄情デアル、不人情デアルト云フトが如キノ語氣ヲ以テ之ヲ辯明サレ

ゴザリマス、此言ハ決シテ許スコトハ出來ナイト思フ、總理大臣ハ詞ヲ人情

ニ借リテサウシテ此溝場ヲ瞞著スルモノデアル、議會ノ辯論ヲ忌避スルモノデ

アル、己レガ憲法ノ解説ヲ誤ツテ其事柄ヲ此人情が薄イト云フ言ニ借リテ覆

ハントスルモノデアルト私ハ斷言致サネバナリマセヌ、ソコデ此問題ハ

マタ憲法ノ解説デゴザリマス、此憲法上ノ解説ニ附イテ六十四條ノ二項ニ

當ルベキモノデナイト云フコトハ、昨日以來溝場諸君ガ段々御論ジニナツタ

所デ、今更私ノ練返ス必要ハ殆ドナイ様デアル、ソレガ故ニ此憲法ノ六十四

條ヲ再びコトハ朗讀スルコトハ爲ナイ、又之ニ聯關シタル六十九條ヲ朗讀スルコトモ爲サナイ、又會計法ノ七條ヲ茲ニ朗讀スルト云フコトモ致シマセヌ、併ナガラ此二ツノ條項ト此會計法トヲ諸君ガ虛心平氣デ御讀ミ下サレタナラバ、是ガ自ラ關聯シタルモノデアル、即チ六十九條ノ豫備費ハ六十四條ノ財源ニ設ケタルモノデアルト云フコトハ、ドウシテモ御考ヘニナルベキ旨テアラウト思フ、ナゼナラバ憲法六十四條ノ二項ニハ、後日帝國議會ノ承諾ヲ求ムルトアル、而シテ會計法ノ七條ニハ何ト書イテアルカト申シマスルト云フコトノ、所謂細密ナル解釋ヲ與ヘタルモノデアルト考ヘル、ソレガ故ニ此憲法ノ六十四條ノ二項ノ後日帝國議會ノ承諾ヲ求ムルト云フコト、後度經過後承諾ヲ求ムルト云フ時ハ指示シテナインデアル、然ルニ會計法ノ七條ニ至リテ、年度經過後ト書キマシタノハ、此後日同ジデアルカ否ヤト云フコトヲ、私ハ政府委員ニ向ッテ先日特別審查委員會デ質問致シマシタ、處ガ政府委員ハ之ニ向ッテ同様ナリト云フコトヲ答ヘタル、同様ナリト言ハナケレバナラヌ筈デアル、若シ政府委員ガ之ヲ違ツタモノデアルト言ヒマシタナラバ、政府ガ憲法六十四條ノ二項ニ依ッテ此豫備費ヲ支出シタト云フコトハ、違憲ノ處置ニ相成ルデゴザリマセウ、既ニ豫備費ヲ此六十四條ノ二項デ政府ガ支出シタモノデアルトスル以上ハ、是ハ同様ナリト云フ答ヲスルノハ當然ノ話デアル、然ラバ此後日トアル年度經過後トアルタメニ、之ガ同様デナイ違ツタモノデアルト云フコトヲ以テ、此我ニノ解釋ヲ辯難スルト云フコトハ決シテ出來ヌモノデアルト小生ハ考ヘルノデアル、而シテ六十四條ノ二項ニハ勅令ヲ以テ此支出ヲ爲シ得ルト云フ規定ハナイノデゴザイマス、諸君御讀ミニナリマシタナラバ、ナイコトハ明カデゴザイマセウ、六十四條ノ二項ニ勅令ヲ以テ之ガ處分ヲ爲スト云フコトヲ以テ、此我ニノ解出スルノデアルカラ、勅令ヲ以テ此金ヲ支出スルナドト云フコトハ重イコトニセヌデモ、サツサト出シテ差支ナイト云フ譯デアルカラ、此事ヲ書カナカッタ、而シテ憲法デ以テ勅令ヲ發スルノ場合ハ、ドノ邊ノ箇條デアルカト云フト、憲法ノ第八條、ソレカラ九條ノ此命令ヲ發スルト云フコト、ソレカラ七十條ニ參リマシテ、此勅令ヲ發シテ財政ノ處分ヲ爲スト云フコト、此箇條外勅令ヲ發スルト云フコトハナイノデゴザイマス、而シテ此憲法ノ第八條ノ勅令ヲ發シマスルト云フコトハ、ドンナ勅令ヲ發スルモノデアルト云フニ、重モニ法律上ニ關係ヲ致シタモノデアル、憲法ノ七十條ノ方ノ勅令ハ何デアルカト申シマスルト、勿論財政上ニ關係ヲ致シタ所ノモノデアル、憲法較ベマスレバ少シク輕イモノト云ハナケレバナリマセス、若シ財政ト云フモノヲ勅令ヲ發スルコトヲ許シタノハ、此八條ト七十條トノ外ニハ決シテ私ハ見ナイト思ヒマス、ソコデ八條ノ方ハ法律ニ關係スルコトデアル、七十條ハ此財政ニ關係スルコトアル、法律固ヨリ重カラザルニアラザルモ、此財政ニ

ラナイト云フコトニナリマセウ、故ニ此一時法律ヲ出スト云フコトヨリ、財政ノ方ハ極メテ重イモノデアルト言ハナケレバナリマセヌ、ソレガ故ニ八條ノ場合ニ於テハ閉會中ハ臨時會ヲ開クコトヲ要セズシテ、天皇ハ其大權ニ依ッテ勅令ヲ發シテ法律ニ代ルベキ勅令ヲ出スコトガ出來ルノデアル、併ナガラ七十條ノ場合ニナリマスルト、財政ノ事デ極メテ大切デアリマルスカラ、勅令デ財政ノ處分ヲ爲スニハ臨時會ヲ開ケル場合ナラバ、必ズ臨時會ヲ開カナケレバナラヌ、愈々、臨時會モ何モ開クコトノ出來ヌト云フ場合、併ナガラ一方ニハ國家ノ急務デアルト云フコトノ意味ニ相成ルデアラウト思ヒマニ當リマシテ、此七十條ヲ以テ勅令ヲ發スルト云フコトヲ許シタノデゴザイマスカラ、是ハ極メテ此七十條ト云フモノハ重ク見ナケレバナラナイ、即チ財政ノ處分ハ重イモノデアルト云フコトノ意味ニ相成ルデアラウト思ヒマス、斯ク解釋ヲ致シマシタナラバ、此憲法ノ中テ以テ勅令ヲ發シテ財政上ノ處分ヲ爲スコトノ出來ルノハ、七十條ノ他ニドコニモナイト云フコトニ成リマセウ、ドコニモナイト云フコトニ致シマスレバ、政府ハ六十四條ノ一項ノ協贊權ヲ重ンジテ、六十四條ノ二項ノ規定ニ依ッテ、此豫備費カラ金ヲ出スト云フコトノ外ハ、帝國議會ノ協贊ヲ求ムルカ、然ラザレバ此七十條ニ依ルト云フ二ツノ他ニ途カナインデアリマス、其他ニ決シテ途ガナイ、然ルニ政府ハ六十四條ノ二項ニ依ッテ此規定ノナイ勅令ヲ發シテ、財政上ノ處分ヲ爲スト言フコトハ、私ハ是ハ憲法上不合法ノ處置ナリト言ハズシテ何ヲカ不合法ノ處置ト云フカト私ハ考ヘル、若シ政府ノ解釋ノ如ク六十四條ノ二項ヲ以テ財政ガ許ス限り支出ガ出來ルモノト致シマスレバ、諸君如何デゴザイマセウカ、此六十四條ノ二項ハ極メテ廣イ意味ニ相成ルデゴザイマセウ、先日渡邊君ノ説明サレタ如ク、政府ニ財源ガナイト云フ如キ時ニハ成程出來ナイデゴザイマセウ、ケレドモ財源ノアル限りハ幾ラデモ六十四條ノ二項ニ依ッテ支出ガ出來ル、帝國議會ノ協贊ヲ待タズ支出カ出來ルト云フコトニ相成デアリマセウ、斯様ニ成ツタナラバ六十四條ノ豫備費ヲ置クト云フ必要ガナイ、豫備費ナドハ置カナイデモ宜シイ、六十四條ノ二項ニ依ッテドシく財源ノアル限りハ出シテ行ツテ宜シイ、何モ面倒ナ憲法ヲ置イテ六十九條デヤカマシク豫備費ヲ置クニ及バナイト考ヘル、若シ渡邊君ガ言フガ如クニ一步ヲ譲ツテ、六十九條ノ豫備費ハ唯財政ノ鞏固ヲ保ツタメニ六十四條ノ二項ノタメデナク、別ニ一派獨立ニ設ケタモノト假ニ許シテヤリマシテモ、斯ク解釋致シマシタ時ニ、憲法七十條ハ私ハ不要ニ屬スルデアラウト思フ、ナゼナレバ諸君記憶セラレヨ此勅令ヲ發セラレタ時ハ、如何ナ場合デゴザイマシタカ、此勅令ヲ政府ガ發シタ時ハ、所謂帝國議會ハ解散ニ成ツタ場合デゴザイマセウ、政府ガ岐阜愛知ノ土木補助ニ應ゼントスルモ、帝國議會ノ解散ニ成ツテ之ヲ開クコトガ出來ナカッタノデアル、斯ル場合デゴザイマシタ、然ルニ尙ホ政府ハ此土木補助費ヲモ、帝國議會ヲ開クコトノ出來ナイ場合デアルニモ拘ハラズ、憲法六十四條ノ二項ニ依ッテ支出スルコトヲ得ルモノナリト致シマスレバ、後日如何ナル場合デモ憲法七十條ノ力ヲ藉ラズト、サツサト此六十四條ノ二項ヲ以テ何等ノ費用モ支出スルコトガ出來マセウ、支出シ得ルト云フコトニ相成ルデゴザイマセウ、果シテ然ラバ憲法七十條ハ空文ニ屬スルノデアル、必要ノナイ條項ヲ置イタト云フコトニ相成ルデアリマセウ、憲法起草者ハ決シテ此欽定憲法ノ草案ヲ起スト云フニ當ツテ、斯ル徒法空文ヲ

憲法ニ掲ルト云フヤウナコトハ爲サナイ、左様ナ不注意ノコトハ決シテナイト考ヘル、若シ七十條ノ必要ノ條項ヲ茲ニ掲ゲテアルモノデアルト致シマスレバ、六十四條ノ一項ハ右ノ如ク廣イ意味ニ解釋スルノハ、是ハ政府ノ誤シテ已ムナクバ此帝國議會ノ開クコトノ出來ナイト云フ場合ニハ、此七十條ニ依ル外仕方ガナイト申シマシタガ、私ハ如何ニモ左様デアルト思フ、成程情形ニ因ルト云フ文字ガゴザイマス、ケレドモ此七十條ヤ決シテ戰爭ノ時ト云フ様ナ解釋ニハ行カナイノアル、所謂帝國議會ヲ開クコト能ハザルノ場合、昨年カラ當春ニ掛ケテノ如キ帝國議會ガ解散ニナッテ、之ヲ召集シヤウト思フテモ召集スルコトノ出來ナイ場合デゴザリマシタナラバ、此七十條ヲ適用スルニ當ツテ何ノ不可カアラン、政府ガ若シ此七十條ニ依シテ要求ヲ致シマシタナラバ、六十四條ノ二項ヲ無限ノ意味ニ解釋シテ、要求ヲ致スト云フコトヨリモ、極メテ適切デアルタト確信シテ動カナイ所ノモノデアル、デ憲法上ノ解釋カラ申シマスレバ、本員ハ斯ノ如キ解釋ヲスル、又事實上ニ就イテ聊諸君ニ申上ゲマスレバ、先刻河島委員長ヨリモ報告致シマシタ通、此福岡富山ニハ如何ニモ精確ナル所ノ調ガ出來テ、概算目論見ト施行目論見ト他日比較致シマシタ所ガ一向差ハナイ、即チ此地方議會ノ議決ヲ經テ政府ニ要求シ、政府之ニ應ジタモノデゴザイマスルカラ、其間ニ少シモ濫出ノ端緒ト云フモノハ見エナインデゴザイマス、併ナガラ此岐阜愛知ノ問題ニ至リマスルト、諸君如何デゴザイマスルカ、岐阜愛知ノ問題ニ至リマスルト云フト、此政府ガ最初三百何十万圓ト云フ金ヲ支出致シマシタル所ノ基本ト致シタ、ノ前ニ其證據ヲ提出致シマスレバ、即チ是デゴザイマスルガ、之ヲ一々朗讀スルコトハ私省キマスルガ、爰ニ諸君ノ御耳ニ達スルタメニ一二郡ノ例ヲ舉ゲテ見マスルナラバ、岐阜市デ以テ施行目論見ト、ソレカラ概算目論見トノ間ニ差ガ生ジテ、増シマシタコトハ二万七千五百圓餘デアル、厚見郡外二郡ニ於テマンシテハ此施行目論見ト、概算目論見ト施行目論見トノ間ニ十一万七千餘圓ノ差ヲ生ジテ居リマス、又羽栗郡中島郡是ニ於キマシテハ、概算目論見ト施行目論見トノ間ニ七万五千餘圓ノ差ヲ生ジテ居リマス、各郡役所ヲ尋ねマシテモ、大抵斯ノ如キ割合デ以テ此施行目論見ト概算目論見トノ間ニ差ヲ生ゼザルハナシ、悉ク差ヲ生ジテ居リマス、是ハ各郡分ケデ成ルベクハ我ニハ町村分ケニ就イテ此實地工事ノ概算ノ高ト、ソレカラ施行シタ後ノ其成績トヲ比較致シタイト思ヒマシテ政府委員ヘ審査ヲ特別委員會デ以テ其要求ヲ致シマシタガ、政府委員ハ各村ノ分ノ比較表ヲ作ッテ答ヘルコトガ出來ナイ、據ナク郡デ分ケタト云フコトデ此答ヲ致シタノデゴザイマス、郡分ケテ見テモ既ニ斯ノ如ク實地ト政府ガ金ヲ支出シタトキト、概算トノ間ニ相違ヲ生ジテ居リマス、況ヤ之ヲ各村ニ割リマシタナラバ、各村悉ク斯様ナ狀況デアラウト云フコトハ、本員ガ豫メ各郡ノ表ニ依ッテ推察スルコトガ出來ルノデゴザイマス、シテ見マスルト云フト、政府ハ此初メ此金ヲ支出スルニ當ツテ、調べガ杜撰デアルタ、杜撰ノ調べニ依シテ金ヲ出シタノデアルト云フコトハ、之ニ依シテ推斷ヲ下シマシテモ、私ハ略、

分リマスルト思ヒマスルデ、斯ノ如ク政府ノ此工事ニ對シマシテ金ヲ支出シタノハ、實際ニ於テハ誠ニ明カナラヌコトガアル、ソレガ故ニ過日來齋藤君ノ起シタ質問ノ如キ議論モ起リマス譯デゴザイマセウ、ソニデ政府ガ齋藤君ガ起シタ質問ニ對シテ、又審查特別委員會ニ於テ我ミノ起シタ所ノ質問ニ對シテ、如何ナル感シヲ與ヘタカト申シマスレバ、先キニモ豫算委員長ノ河島君ノ申シタ通、政府ハ殆ド其質問ニ遭フテ疑ヲ爲シ、今迄爲シタル答辯此議長ニ向ツテ通知ヲ致シマシテゴザイマスルカ、議長ニ向ツテ通知ヲ致シマシタル所ノ言葉ヲ聞キマスルト云フト、ドウモ政府モ之ニ就イテハ多少疑ガアル、ソレガ故ニ實地官吏ヲ派出シテ、尙ホ再應調査ヲシテソノ上デ報告スル積リデアルト云フコトヲ、此議場ニ向ツテ演説スル考デアルト云フコトヲ通知致シマシタデゴザイマス、而シテ其事ノ起リヲ尋ネテ見マスレバ、如何デアルカト申シマスルニ、副島内務大臣獨リデハナイ、後藤遞信大臣モ立會ノ上デ此事ヲ議長ニ向ツテ明言サレタコトデゴザイマス、松方總理大臣モ會フ答デアツタガ、今日ハ差支ガアツテ會ハレナイト云フコトガ言葉ノ中ニアツタト云フコトデゴザイマス、然レバ政府ハ我ニ議會ノ質問ニ遭フテ此問題ハ殆ド疑ハシイ、今迄行フテ來タ所ノコトハ事實ニ於テ多少疑ハシイ所ガアルカラ、是ハモウ一過調べナケレバナラナイ、頑固ニ唯前ノ非ヲ遂ゲルト云フ譯ニハ往クマイト云フ考ヲ、政府ノ脇隨ノ中ニ起シタト云フコトハ、事實ニ由ジテ明カナルコトデゴザイマセウ、然ルニ此事ガ一旦通知ガアツタニ拘ハリマセズ變化致シマシテ、此議場ニハ副島内務大臣ハ演説ヲセナカッタ、而シテ白根内務次官ノ先日來ノ答辯ヲ此議場ヲ推シ通シテ、今日承諾ヲ求ムト云フ譯デアリマスノデゴザリマス、我ニハドチラニ向ツテ判斷ヲ「スカ、シテハ政府ガ今迄ヤツタ非ヲ遂グルト云フコトヲ無理ニヤル方ヲ判斷シテ之ヲ正シイト承諾スルカ、副島内務大臣其外内閣ノ諸君ガ一旦疑ヲ起シテ議會ノ質問ニ遭ツテ見テ、殆ト疑ハシイ點ガアルカラ、尙ホ調べネバナラヌト云フ考ヲ起シテ、議長迄通知シタト云フ御疑アルト云フ方に向クテ我ミガ此議案ハ不承諾ヲ與ヘルカ、是ハ餘程考ヘモノデアルデアラウ、我ミハ事實ノ明カナルモノニアツテモ、尙ホ質問ヲ致シテ爾、疑ガナイト云フ場合ニアツテコソ、始メテ認可スペキモノデアル、況ヤ政府ノ内閣カ自ラ疑ツテ白根内務次官ノ今日迄ノ答辯デ推シ通スコトハ善クナイシ、モウ一步進ンデ考ヘテ見ナケレバナラナイト云フ疑ヲ起シマシタト云フ事實ガアルモノト致シマシタナラバ、我ミハ之ニ向ツテ疑ノアル様ナ議案ニ承諾ヲ與ヘルコトハ出來ナイトスルト云フノガ、當然ノ義務デハナイカト私ハ考ヘルノデゴザイマス、ソレデゴザイマスルカラ、小生ハ此憲法ノ解釋ノ上カラモ又事實ノ上カラモ、是ハ決シテ承諾ヲ與ベキモノデナイト信ジマシテ、滿場諸君ノ同意ヲ請ヒマスハ憲法ニ適テ居ルト云ヒ、一方ハ憲法ニ適テ居ラヌト云フ議論デゴザリ

此議長ニ向むかシテ通知ヲ致シマシテゴザイマスルカ、議長ニ向むかシテ通知ヲ致シマシタル所ノ言葉ヲ聞キマスルト云フト、ドウモ政府モ之ニ就イテハ多少疑ガアル、ソレガ故ニ實地官吏ヲ派出シテ、尙ホ再應調査ヲシテソノ上デ報告スル積リデアルト云フコトヲ、此議場ニ向むかシテ演説スル考デアルト云フコトヲ通知致シマシタデゴザイマス、而シテ其事ノ起リヲ尋ねテ見マスレバ、如何デアルカト申シマスルニ、副島内務大臣獨リデハナイ、後藤遞信大臣モ立會ノ上デ此事ヲ議長ニ向むかシテ明言サレタコトデゴザイマス、松方總理大臣モ會フ答デアツタガ、今日ハ差支ガアツテ會ハレナイト云フコトガ言葉ノ中ニアツタト云フコトデゴザイマス、然レバ政府ハ我ニ議會ノ質問ニ遭フテ此問題ハ殆ド疑ハシイ、今迄行フテ來タ所ノコトハ事實ニ於テ多少疑ハシイ所ガアルカラ、是ハモウ一過調べナケレバナラナイ、頑固ニ唯前ノ非ヲ遂ゲルト云フ譯ニハ往クマイト云フ考ヲ、政府ノ脇隨ノ中ニ起シタト云フコトハ、事實ニ由テ明カナルコトデゴザイマセウ、然ルニ此事ガ一旦通知ガアツタニ拘ハリマセズ變化致シマシテ、此議場ニハ副島内務大臣ハ演説ヲセナカッタ、而シテ白根内務次官ノ先日來ノ答辯ヲ此議場ヲ推シ通シテ、今日承諾ヲ求ムルト云フ譯デアリマスノデゴザリマス、我ニハドチラニ向むかシテ判斷ヲ下スカ、我ニハ政府ガ今迄ヤツタ非ヲ遂グルト云フコトヲ無理ニヤル方ヲ判斷シテ之ヲ正シイト承諾スルカ、副島内務大臣其外内閣ノ諸君ガ一旦疑ヲ起シテ議會ノ質問ニ遭テ見テ、殆ト疑ハシイ點ガアルカラ、尙ホ調べネバナラヌト云フ考ヲ起シテ、議長迄通知シタト云フ御疑アルト云フ方ニ向むかシテ我ニガ此議案ハ不承諾ヲ與ヘルカ、是ハ餘程考ヘモノデアルデアラウ、我ニハ事實ノ明カルモノニアツテモ、尙ホ質問ヲ致シテ彌々疑ガナイト云フ場合ニアツテコソ、始メテ認可スペキモノデアル、況ヤ政府ノ内閣カ自ラ疑ツテ白根内務次官ノ今日迄ノ答辯デ推シ通スコトハ善クナイシ、モウ一步進ンデ考ヘテ見ナケレバナラナイト云フ疑ヲ起シマシタト云フ事實ガアルモノト致シマシタレデゴザイマスルカラ、小生ハ此憲法ノ解釋ノ上カラモ又事實ノ上カラモ、是ハ決シテ承諾ヲ與ベキモノデナイト信ジマシテ、満場諸君ノ同意ヲ請ヒマス

マス、段々御説モゴザリマシタガ先づ格別變ツタコトハナイデコザリマス、私モ固ヨリ此憲法ノ解釋ニ就キマシテハ、格別耳新シイ名説モ何モナイノデゴザリマスガ、併ナガラ此憲法ノ解釋ニ就キマシテ、少シ變ツタ考モ持ツテ居リマスカラ、最早既ニ此問題ノ大體ノ事ハ既ニ昨日決シタト云フテモ宜イ位デゴザリマスガ、聊其意見ヲ諸君ニ申上ゲテ御判断ヲ請ヒマスソコデ此本案ニ關シマシテ特別審査委員會ニ於テ之ヲ承諾スベカラザルモノト決定シマシタ、其大趣意ハ詰ル所憲法六十四條第二項ハ憲法六十九條ノ豫備金ノ範圍内ニ止マルモノデアル、ソレデ縱令如何ナル場合ト雖モ此六十九條ノ範圍外ニ於テハ、六十四條ノ第一項ヲ應用スベカラザルモノデアルト云フコトニ止マルデゴザリマス、ソレデ私ニ於テモ成程憲法六十四條ノ一項ト、ソレカラ六十九條トハ互ニ相關聯シテ居ル、全ク別物デ縁モユカリモナイモノデアルト云フ考ハ固ヨリナイ、必ズ關聯シテ居ルニ相違ナイト認メマス、然レドモ此委員會ノ決議ニナリマシタガ如ク、六十四條ノ第一項ハ六十九條ニ必ズシモ限ル、其他ニハ一切之ヲ應用スル場合ガナナイト申サレルニ於テハ、實際ニ於テハ甚ダ差支ガ生ズル場合ガアラウト考ヘル、又斯ノ如ク第届ニ此憲法ヲ義解スベキモノデハナイト私ハ考ヘル、ソコデ今其一例ヲ舉ゲテ申シマセウナラバ、諸君モ御承知ノ如クニ明治二十五年度ノ豫算ハ不成立ト云フモノニナリマシタ、議會ノ解散ニ依ツテ不成立ニナリマシタ不成立ニナリマシタニ就キマシテハ、前年度ノ豫算ヲ施行サレタデゴザリマス、ソコデ此前年度ノ豫算ヲ施行サレルニ附キマシテハ、憲法ノ第六十七條ニ基イテ政府ノ義務ニ屬スル費用ト云フモノガ、前年度ニ依ツテハ足ラナイト云フコトガ起ツテ参リマス、ソレハドウ云フ箇條デアルカト申シマスレバ、即チ此公債ノ償還トカ、或ハ警察費連帶支辨金トカ、日本鐵道會社ノ利益補充金トカ申ス類デ、即チ此政府ト人民若クハ其他ノ何トノ契約上カラ起り、或ハ契約上ノ命令カラ起ル性質ノモノ、即チ政府ノ義務費ト稱スルモノデゴザリマス、義務費ト稱スルモノハ申上ゲズトモ分ツタコトデゴザリマスガ、諸リ其性質ガ契約ノ性質ヲ含ンデ居リマスカラ、第三者ト云フモノガ出來ル、其第三者ハ此金額ハ必ズ請求シ受取ルベキ權利ヲ有シテ居ルモノデアル、ソコデゴザリマスカラ、總令政府ニハ如何様ナ都合ガアラウトモ、此義務費ニ屬スルモノハドウシテモ拂ハヌケレバナラヌ、ソコデ此義務費ニ屬スルモノハ私ガ概算ヲ致シテ見ル所デハ、先づ二十四年度ニ比シテ二十五年度ノ增加ハ大凡三百万圓内外ダラウト考ヘル、前年度ノ豫算ニ依ツテ拂フト云フト、三百万圓内外ノ金ハ足ラナイ、是ハ義務費、次ニハ法律ノ施行ニ係ルタメノ經費デゴザリマス、法律費ト唱フルモノデゴザリマス、此法律費ト申スモノモ、前年度ノ豫算ト對照致シマスルト、二十五年度ハ大凡百万圓前後矢張足ラナクナルヤウニ考ヘル、此兩項ノ金額ハ合セルト四百万内外ノ金ガ足ラヌ、此金ハ何レモ法律ハ施行シナケレバナラヌ、法律ノアル限りハ政府ハ如何様ナ都合ガアラウトモ、法律費ト止メナイ以上ハヤラヌケレバナラヌ義務費、右様ニ支出シナケレバナラヌトシテ見タ日ニハ、ドノ方法ニ依ツテ之ヲ支出シマセウ、ドウシテモ是ハ憲法上第一條カラ仕舞マデ詮索シマシテモ、ドノ條項ニモ依ルモノガナイ、獨リ六十四條ノ第二項ニ依ルヨリ外ナイモノト私ハ考ヘル、六十條ノ第二項ニ依ツテ後日帝國議會ノ承諾ヲ求ムルト云フコトノ外仕方ガナイト考ヘル、果シテ此費用ガ六十四條ノ第二項ニ依ラヌケレバナラヌモノト

シタナラバ、此場合ニ於テハ業ニ既ニ六十九條ニ彼ノ豫備金ノ範圍外デシナケレバドウシテモ治マラヌコトニナリマス、豫備金ハ斯様ナモノニ設ケタノデハナイ、必ズ豫備金以外デ之ヲ支出セザルヲ得マセヌ、斯ウ云フ一ノ例ヲ見出シタデゴザリマスガ、此例カラ推シテ見マシテモ今回ノ震災ノ費用ノ支出ハ、六十四條ノ第二項ニ依ツテ、強チ差支ハ私ハナイト考ヘル、ソレカト勿論私ハ強チ右ノ一例ヲ以テ(河島醇君正金ガト呼ブ)此例ガアルカラ宜ト云フノデハナイ、決シテ實際ニ於テ差支ガナイ、又議會ガ決シテ政費ノ濫費ヲ生ズルトカ何トカスル、恐レハ少シモナイ、十分此議會ニ權利ガアルコトヲ信ジテ居ルカラ差支ガナナイト云フノデアル、唯此例ヲ決シテ六十四條ノ二項ノ如ク、六十九條ニ限ツテハ差支ガ現ニ起ルト云フタメニ申上ゲタ丈ノ話固ヨリ是ハ先刻モ申上ゲタ通、六十九條ト六十四條ノ二項トハ、必ズ相連關係シテ居ルニ相違ナイト申上ゲマシタガ、ソレニ就キマシテハ政府ノ委員ハ是ハ全ク別物デアル、少シモ縁ノナイモノト答辯サレテ居リマスガ、是ハ甚ダ其意ヲ得ナイ、唯是迄河島君初メ其他反對ノ諸君ガ申サレタヤウニ如何ニモ譯ノ分ラヌ話、ドンナコトガアツテモ虛心平氣ニ見タナラバ、別ノ物デナイコトヲ見ルコトが出來ラレル、斯ノ如クドウモ曖昧模糊タル牽強附會ノ說ニ私決シテ贊成ハシナイ、若シ之ガ別ノモノトズレバ裁制ノナイ、或ハ諸君ノ恐れ、如キ後日弊害ガ生ジナナイトモ言ヘナイ、併シ私ハ餘リソレモ恐レナイ、モ議會ハ總テ裁判シテ行クノダ、其裁判スル權力ヲ持ツテ居ル、決シテ恐ル、ニ足ラヌ、ソレヲ恐ル、議會ナラ、議會ハ無勢力デアル、ソコデ此六十四條ノ第二項ニ依ツテ彼ノ六十九條ノ範圍外ニ支出スペキモノハ何デアルカ、又其モノハ、是ハ一體十分分リ切ツタ話デ、議會ノ議ニ掛ケズトモ出サナケレバ六十九條ノ範圍外ニ於テ支出スルトキニハ如何ナル性質ガ必要デアルカ、又如何ナル裁制ガ必要デアルカト申シマスレバ、即チ右申述マシタ如クニ豫算不成立ノ場合ニ於テ、政府ノ義務費ニ屬シ、或ハ法律ノ施行費ニ屬スル如キモノハ、是ハ一體十分分リ切ツタ話デ、議會ノ議ニ掛ケズトモ出サナケレバナラヌ、十分ニ實際裁制ガアルカラ恐ル、ルニ足ラヌ、チャント分ツタ話、實ニ初メニ法律ヲ設ケ、政府ガ其契約ヲナストキニハ、何レモ議會ノ協賛ヲ經テ居ルモノデアル、其時ニ議會ノ協賛ヲ經テ居ルト言ツテ宜イ、十分其裁制が出來ル、其次ニハ即チ震災費ノ如キモノノデアル、此所ニ少シ辯明ヲシテナラヌ、斯ノ如キ性質ノモノガ何處ニ必要デアルカト申シマスレバ、即チ彼ノ政府ノ義務ニ屬シテ、約束カラ起ル義務トカ何トカ云フ、サウ云フモノデハナイ、其事柄ハ如何ニモ重大ノ事件デ、國家人民ノ幸福ニナル關係ヲ持ツコトデアル、ソレカラ又道理上カラ申シテモ、政治上カラ申置カナケレバナラヌ、斯ノ如キ性質ノモノガ何處ニ必要デアルカト申シマスレバ、即チ彼ノ政府ノ義務ニ屬シテ、約束カラ起ル義務トカ何トカ云フ、サウ云フモノデハナイ、其事柄ハ如何ニモ重大ノ事件デ、國家人民ノ幸福ニナル關係ヲ持ツコトデアル、ソレカラ又道理上カラ申シテモ、政治上カラ申シテモ、ドウシテモ國家ハ其義務ヲ負ハナケレバナラヌト云フ性質ガ第一ニ必要デアル、此性質ガナカツタナラバ六十四條第二項デ支出スルコトハ出來マセヌ、是ハ極ク事ノ根源デアル、其次ニ必要ノモノハ何デアルカト申シマスレバ、臨時支出ヲ爲スニハ緊急ノ必要ト云フコトガ矢張是モナケレバナラヌ、若シ緊急必要ガナナラバ、必ズ豫メ豫算ヲ以テ議會ノ協賛ヲ經ナケレバナラヌ、即チ今回ノ震災ノコトヲ申シテアリマスレバ、之ヲ——議會ヲ招集シテ議會ノ議ニ付スルト云フ違ガナイ、如何ニモ危殆ヲ生ジアブナイ、其違ガナイカラ已ムヲ得ズ臨時支出ヲナス、即チ緊急必要ト云フコトノ性質ガナケレバナラヌモノト考ヘル、デ此ニツノ要件ヲ具ヘテ居ラナケレバ、政府ハ即チ不合法ノ處置ヲ爲シタモノデアル、後日ニ至ツテモ若シ豫備金以外ノ

即チ剩餘杯デ支出ヲシテ議會ノ承諾ヲ求メ、其承諾ヲ求メタトキニ今申スニ  
ノ要件ガナカツタナラバ、無論拒絶シテ宜シイ、無論不承諾デ宜シイ、無論  
否決ヲシテモ宜シイ、諸君ハ段々昨日以來之ヲ一ト度承諾シマシタラバ、政  
府ハ勝手ニ財源ノアラン限りハ如何程デモ金ヲ使ツテ議會ハ其使タニ從ツ  
テ何日デモ、唯々諾々承諾ヲ與ヘナケレバナラスト云フハ途方モナイ大間違  
ナ話デアル、斯ノ如キ明瞭ナ理由ハドウシテモ斯ウシテモ必要ニ相違ガナ  
イ、此二ノ要件ヲ具ヘテ居ラヌト、直チニ拒絶シ、直チニ否決シテ、政府ハ  
ソレニ對シテ十分其責ニ任せシムル、十分議會ハ其權力ヲ有シテ居ル、マダ  
ソレニテモ恐ロシイナラバ、前申上ケル如ク議會ハ無勢力デアル、ドウシテ  
モ憲法位——憲法位ト云フテハ甚ダ恐入ルコトデアルガ、憲法ノ條文ニ依ツテ  
政府ノ壓制亂暴ヲ止ムルコトガ出來マセウカ、是ハ決シテサウ云フコトハ出  
來マセヌ、後日承諾ヲ與ヘナイ、如何ニモ不相當ノ處置デアル、政府自ラ其責  
ニ任ズ可シト、口バカリデハナイ、口デ言フテモ眞實聽カナイデハ何モナラ  
ン、ソシナ議會ハ決シテゴザリマセヌ、如何ニモ政府ハ出スベカラザルモノヲ  
出シタノデアル、不條理ノコトヲシタ云フ事實ガアルナラバ、十分ニ政府ヲ  
シテ其責ニ任せシムルコトガ出來ルンデアル、豫メ協賛ヲ得ルト云フコト  
ト、後日承諾ヲ求ムルト云フコト、ハ、ソシナニ苛イ相違ノアルモノデハナ  
イ、(簡單タタト呼ブ者アリ)ソレデ私ハ今回ノ何ハ右ノ二要件ヲ具ヘテ居ル  
モノト認スマスカラ、憲法ニ違反シタモノデハナイ、又後日ヲ恐ル、ト云フ  
議會トカ云フ此地方議會杯ノ議決ヲ經、十分ナル調査ヲシテ出シタ正確ナル  
コトハ毫モナイト信任致シマス、ソレカラ又委員會ノ御報告ニ依リマスト、此  
岐阜愛知兩縣ノ震災費概算自論見ニ依リマシテ、補助費三百二十餘万圓ヲ支  
出シタ、ケレドモ其概算自論見ト云フモノハ決シテ彼ノ町村會トカ、或ハ地方  
モノト認スマスカラ、此ノ如キ不取調ノコトヲ以テ支出シタ以上ハ、縱令  
大變ナ相違ガアッテ、設計モ大變變シテ居レバ、又金額モ大變ニ相違シテ居  
スルシ、先刻河島君モサウ云フ御演説デゴザリマシタガ、成程其調査ハ非常  
ナル不行届デアル、大變ナル不都合デアレバ、内閣大臣モ其責ヲ免レマスマ  
イ、又此震災事件ガ政府ニ要求ヲスル前ニ、此ノ如キ尋常ノ手續ヲ履シテ、  
詳細ナル調査ヲ遂ゲテ出スコトガ出來タノニ、出サヌナラバ如何ニモ地方官  
モ固ヨリ不行届、不居至極デアル、ソレヲ許ス政府モ甚ダドウモ相濟マヌ譯  
デアッテ、固ヨリ其責ヲ免カレナイガ、諸君此事件ハドウデゴザリマセウ、  
即チ彼ノ天下ニ名高キ天災デ、人心ヲ刺激シタル其震災ヨリ起シタルコトデゴ  
ザリマセウ、御承知ノ如クニ實ニ非常ナル震災デ、ナカ  
親ク其狀況ヲ見テ察シナクテハナラヌ、其有様ヲ想像シタナラバ、非常ナル  
震災デ唯コンナ土木ジャトカ、何シジャトカ云フコトバカリナイ、其他色  
様ノ震災ニ因ツテ起ル所ノ様ノ世話ガアル、様ノ手數ガアッテ、非  
常ナル煩雜ノ時デアル、加之ナラズ此土木ノ一事ニ依ツテ見マシテモ、堤防ノ  
破壊ト云フモノハ數十里ニ及ビ、又諸方ニ色ノ破壊ヲ生シ、其工事ノ箇  
處ハ數百箇所ニ及シテ居ル、誠ニ廣大且錯雜ナモノデアル、此ノ如キ廣大錯  
雜ナル工事ガアリ、又此工事ハ實ニ緊急ヲ要スル場合デ、ドウシテモ此融雪

出水、即チ雪融ケノ前ニ大半ハ仕遂グテ仕舞ハナケレバナラスト云フコト  
ハ、極々免カレナイコトデアル、中ミ急ガネバナラヌ、其急ガナケレバナラ  
ヌ中ニ、廣大錯雜ナル工事ヲ爲スニ、盡ク尋常ノ手續キ尋常ノ調ヲ爲シテ、  
町村會モ議決ヲスル、ソレカラ又縣會モ議決シテ縣會モ調べ直サセ、而シテ  
又政府ガ實地ニ就イテ調ベテ色ミノ手續ヲ遺ルト云フ様ナコトヲシタナ  
ラバ、如何程敏腕ヲ以テモ四月ヤ五月ノ日子ヲ要スル、ドウデゴザリマセ  
ウ、彼土木費ノ支出ニ爲ツタノハ、即チ明治二十五年一月デゴザリマシタ  
ガ、アノ時節ニ當ツテ試ニ諸君ニ問ヒマセウ、岐阜愛知兩縣ノ揖斐トカ木曾  
トカ長良トカ此ノ如キ有名ナル大川ガアル、ソレニ又無數ノ小河ガアル、其  
底ヨリモ低イ野デアル、一朝一度堤ガ決シタナラバ、兩縣數十百里ノ沃野ハ悉  
ク水底ニ陥シテ、非常ノ損害ヲ及ボシ、非常ノ人命ヲ傷ヒ、非常ノ財產ヲ一  
調ベデナイ、今之ヲ彼ノ施行目論見ト云フモノニ比較シテ見レバ、其間ニ  
岐阜愛知兩縣ノ震災費概算自論見ニ依リマシテ、補助費三百二十餘万圓ヲ支  
出シタ、ケレドモ其概算自論見ト云フモノハ決シテ彼ノ町村會トカ、或ハ地方  
議會トカ云フ此地方議會杯ノ議決ヲ經、十分ナル調査ヲシテ出シタ正確ナル  
コトハ毫モナイト信任致シマス、ソレカラ又委員會ノ御報告ニ依リマスト、此  
大變ナ相違ガアッテ、設計モ大變變シテ居レバ、又金額モ大變ニ相違シテ居  
スルシ、先刻河島君モサウ云フ御演説デゴザリマシタガ、成程其調査ハ非常  
ナル不行届デアル、大變ナル不都合デアレバ、内閣大臣モ其責ヲ免レマスマ  
イ、又此震災事件ガ政府ニ要求ヲスル前ニ、此ノ如キ尋常ノ手續ヲ履シテ、  
詳細ナル調査ヲ遂ゲテ出スコトガ出來タノニ、出サヌナラバ如何ニモ地方官  
モ固ヨリ不行届、不居至極デアル、ソレヲ許ス政府モ甚ダドウモ相濟マヌ譯  
デアッテ、固ヨリ其責ヲ免カレナイガ、諸君此事件ハドウデゴザリマセウ、  
即チ彼ノ天下ニ名高キ天災デ、人心ヲ刺激シタル其震災ヨリ起シタルコトデゴ  
ザリマセウ、御承知ノ如クニ實ニ非常ナル震災デ、ナカ  
親ク其狀況ヲ見テ察シナクテハナラヌ、其有様ヲ想像シタナラバ、非常ナル  
震災デ唯コンナ土木ジャトカ、何シジャトカ云フコトバカリナイ、其他色  
様ノ震災ニ因ツテ起ル所ノ様ノ世話ガアル、様ノ手數ガアッテ、非  
常ナル煩雜ノ時デアル、加之ナラズ此土木ノ一事ニ依ツテ見マシテモ、堤防ノ  
破壊ト云フモノハ數十里ニ及ビ、又諸方ニ色ノ破壊ヲ生シ、其工事ノ箇  
處ハ數百箇所ニ及シテ居ル、誠ニ廣大且錯雜ナモノデアル、此ノ如キ廣大錯  
雜ナル工事ガアリ、又此工事ハ實ニ緊急ヲ要スル場合デ、ドウシテモ此融雪  
ノデ、是ハ諸君ニ只管御再考ヲ願フ所ゴザイマス、マダ大分アリマスケレ

ドモ先づ其邊デ……事實ニ於キマシテモ、私ハ其當時ノ状勢カラ見レバ、何ニ云フノハ、誠ニ譯ノ分ラヌ話デアルト思ヒマス、勿論此政府ニ費用ヲ請求スル時ニ當ツテ、若モ万一二モ地方官ニ於テ偽リノ調書ヲ作ッテ政府ニ請求シテ、瞞著シテ金ヲ取出シタカ、其金ヲ不正不義ノコトニ使ツタトカ、職務ヲ怠慢シテ他ニ非常ナル損害ヲ及ボシタトキハ、是ハ無論ニ許スペカラザルコトデアル、是ハ十分實際ニ調べテ若シ斯ノ如キコトガアツタナラバ、政府ハ宜シク其罪ヲ糾スガ宜シイ、其罪ヲ糾シテ十分ニ正義ノアル所ヲ示スガ宜シイ、又自ラ其威信ヲ保ツガ宜シイ、ケレドモ此事ハ今日此案ヲ可決スルヤ否ヤ、承諾ヲ與ヘザルヤ否ヤト云フコトニハ關係ヲ及ボサヌ、即チ地方官ノ處分ノ行届カヌコトニアツテ、内閣大臣ヲ責メルコトハナイ、ソレヲ調べルニハ十分ニ御調べニナルガ宜シイ、私共ハ第一ニ贊成スル、ドウカサウ云フ積リデアリマスカラ、昨日ハ漸ク十八バカリノ多數デゴザイマシタガ、ハ、ドウ云フ譯デゴザイマス

○立川雲平君(二百六十七番) 六十四條ト六十九條ト牽連ガアルト云フノ

(此時討論終結ト呼ブ者アリ贊成々々ノ聲起ル)

(齊藤珪次君演壇ニ登ル)

○齊藤珪次君(二百七十三番) 討論終結ノ前ニ發言ノ權ヲ得テ居ル、(此時又虛言ヲ聽クノカト呼ブ者アリ國庫ノ金ヲ唯取ラントスル——奸賊ハサウデアラウ、……元來此本問題ニ就キマシテハ兔角公平ノ考ヲ持ツ所ノ人間が少ナイノデアル、彼ノ行政官デアルトカ、或ハ新聞社員ノ如キ天下ノ耳目ヲ以て任ズルモノデスラ、人民ヲシテ煽動セシムルノ語氣ヲ以テ本問題ヲ通過セシメント企テ、居ル、即チ前加藤君ガ言ハレタルガ如ク、内閣大臣ノ演説ノ如キモ、若シ本議院ガ之ヲ否決スレバ、アノ金ヲ取り還シテ仕舞フ如キ語氣ヲ以テ人民ニ訴ヘ、又彼ノ日々新聞ノ如キ東京新聞ノ如キ腐敗極マル新聞ハ、若シ之ヲ否決スレバ今迄爲シテ居タル工事ヲ半途ニシテ休廢シナケレバナラヌ、實ニ溜ラヌカラ之ヲ否決サレテハナラヌト云フテ、彼ノ愛知岐阜ノ人民ヲ煽動シテ之ヲ通過サセント企テ、居ル、又或一方ニハ解散風ナドガ吹イテ之ヲ賛成スル所ノ人モアルノデアル、元來此事ニ就キテハ前論者モ言フ如ク、副島内務大臣ハ公平ナル眼ヲ以テ彼ノ被告人タル知事ノ答辯ヲ議場ニ報告スルコトハ宜シクナイ、故ニ實際ニ調查致シテ之ヲ報告セント致サレタモノデアル、是公平デアル、彼ノ知事ハ何人デアル、我ニ議會カラスレバ被告ノ地位ニ立ツテ居ルモノデアル、其者ノ一方ノ言ヲ以テ此議會ニ報告スルト云フノハ、政府ハ誠ニ其責任ヲ重ンジナイモノデアル、サレバコツ政府ノ代理者タル所ノ彼ノ白根政府委員ハ、其演説ノ始メニ於テ齊藤君ノ演説ハ痛ク政府ヲ攻撃セラレタ、ケレドモ政府ハ斯様ナコトハ意ニ介サナイ、又本官モ之ヲ記憶スルコトヲ欲シナイト言ハレタガ、此言タル立法部ヲ輕蔑スルノ甚ダシキモノデアツテ、苟モ立法部ノ質問ニナツタル以上ハ、其事ハ鄭重ニ鄭重ヲ加ヘテ調査シナケレバナラヌ、ソレヲ彼ノ被告人タル知事ノ一言ヲ以テ之ガ答ヲ爲スガ故ニ、彼ノ白根委員ハ全ク議場ニ向ツテ虚言ヲ吐イタ所ノ證據ガアル、彼ノ中村君ハ先年政府委員ハ一枚ノ舌ヲ使フト言ハレタガ、即チ

白根政府委員ハ舌ヲ一枚ニ使ツテ虚言ヲ吐イテ居ル、又證據ヲ見給へ、此救濟費ノ仕拂ノ明細書ハ政府ガ委員會ニ向ツテ出シタ所ノ調デアル、其調ニ依レハ救濟費ナルモノハ五月十六日迄ニ仕拂ツタ所ノモノガ九万七千幾ラデ、現ニ二千八百八十七圓二十四錢四厘ト云フモノガ五月十六日迄ニ残ツテ居ル金ニアル、斯ノ如キ調デ政府ハ委員會ニ出シテ居ル、然ルニ政府委員白根次官堂ト此議場デ何ト言ツタ、先月二十七日ニ於テ白根政府委員ハ三月三十日迄ニ四万四千二十四圓二十錢ヲ仕拂ツテ、残リ五万五千九百七十五圓九十錢ト云フモノガ四月九日ニ仕拂ツタ、ソレ故ニ文モ餘リガナイト云フコトヲ仕ルニハ十分ニ御調べニナルガ宜シイ、私共ハ第一ニ贊成スル、ドウカサウ云フ積リデアリマスカラ、昨日ハ漸ク十八バカリノ多數デゴザイマシタガ、ハ、ドウ云フ譯デゴザイマス

○立川雲平君(二百六十七番) 六十四條ト六十九條ト牽連ガアルト云フノ

(此時討論終結ト呼ブ者アリ贊成々々ノ聲起ル)

(齊藤珪次君演壇ニ登ル)

○齊藤珪次君(二百七十三番) 討論終結ノ前ニ發言ノ權ヲ得テ居ル、(此時又虛言ヲ聽クノカト呼ブ者アリ國庫ノ金ヲ唯取ラントスル——奸賊ハサウデアラウ、……元來此本問題ニ就キマシテハ兔角公平ノ考ヲ持ツ所ノ人間が少ナイノデアル、彼ノ行政官デアルトカ、或ハ新聞社員ノ如キ天下ノ耳目ヲ以テ任ズルモノデスラ、人民ヲシテ煽動セシムルノ語氣ヲ以テ本問題ヲ通過セシメント企テ、居ル、即チ前加藤君ガ言ハレタルガ如ク、内閣大臣ノ演説ノ如キモ、若シ本議院ガ之ヲ否決スレバ、アノ金ヲ取り還シテ仕舞フ如キ語氣ヲ以テ人民ニ訴ヘ、又彼ノ日々新聞ノ如キ東京新聞ノ如キ腐敗極マル新聞ハ、若シ之ヲ否決スレバ今迄爲シテ居タル工事ヲ半途ニシテ休廢シナケレバナラヌ、實ニ溜ラヌカラ之ヲ否決サレテハナラヌト云フテ、彼ノ愛知岐阜ノ人民ヲ煽動シテ之ヲ通過サセント企テ、居ル、又或一方ニハ解散風ナドガ吹イテ之ヲ賛成スル所ノ人モアルノデアル、元來此事ニ就キテハ前論者モ言フ如ク、副島内務大臣ハ公平ナル眼ヲ以テ彼ノ被告人タル知事ノ答辯ヲ議場ニ報告スルコトハ宜シクナイ、故ニ實際ニ調査致シテ之ヲ報告セント致サレタモノデアル、是公平デアル、彼ノ知事ハ何人デアル、我ニ議會カラスレバ被告ノ地位ニ立ツテ居ルモノデアル、其者ノ一方ノ言ヲ以テ此議會ニ報告スルト云フノハ、政府ハ誠ニ其責任ヲ重ンジナイモノデアル、サレバコツ政府ノ代理者タル所ノ彼ノ白根政府委員ハ、其演説ノ始メニ於テ齊藤君ノ演説ハ痛ク政府ヲ攻撃セラレタ、ケレドモ政府ハ斯様ナコトハ意ニ介サナイ、又本官モ之ヲ記憶スルコトヲ欲シナイト言ハレタガ、此言タル立法部ヲ輕蔑スルノ甚ダシキモノデアツテ、苟モ立法部ノ質問ニナツタル以上ハ、其事ハ鄭重ニ鄭重ヲ加ヘテ調査シナケレバナラヌ、ソレヲ彼ノ被告人タル知事ノ一言ヲ以テ之ガ答ヲ爲スガ故ニ、彼ノ白根委員ハ全ク議場ニ向ツテ虚言ヲ吐イタ所ノ證據ガアル、彼ノ中村君ハ先年政府委員ハ一枚ノ舌ヲ使フト言ハレタガ、即チ

白根政府委員ハ舌ヲ一枚ニ使ツテ虚言ヲ吐イテ居ル、又證據ヲ見給へ、此救濟費ノ仕拂ノ明細書ハ政府ガ委員會ニ向ツテ出シタ所ノ調デアル、其調ニ依レハ救濟費ナルモノハ五月十六日迄ニ仕拂ツタ所ノモノガ九万七千幾ラデ、現ニ二千八百八十七圓二十四錢四厘ト云フモノガ五月十六日迄ニ残ツテ居ル金ニアル、斯ノ如キ調デ政府ハ委員會ニ出シテ居ル、然ルニ政府委員白根次官堂ト此議場デ何ト言ツタ、先月二十七日ニ於テ白根政府委員ハ三月三十日迄ニ四万四千二十四圓二十錢ヲ仕拂ツテ、残リ五万五千九百七十五圓九十錢ト云フモノガ四月九日ニ仕拂ツタ、ソレ故ニ文モ餘リガナイト云フコトヲ仕ルニハ十分ニ御調べニナルガ宜シイ、私共ハ第一ニ贊成スル、ドウカサウ云フ積リデアリマスカラ、昨日ハ漸ク十八バカリノ多數デゴザイマシタガ、ハ、ドウ云フ譯デゴザイマス

○立川雲平君(二百六十七番) 六十四條ト六十九條ト牽連ガアルト云フノ

(此時討論終結ト呼ブ者アリ贊成々々ノ聲起ル)

(齊藤珪次君演壇ニ登ル)

○齊藤珪次君(二百七十三番) 討論終結ノ前ニ發言ノ權ヲ得テ居ル、(此時又虛言ヲ聽クノカト呼ブ者アリ國庫ノ金ヲ唯取ラントスル——奸賊ハサウデアラウ、……元來此本問題ニ就キマシテハ兔角公平ノ考ヲ持ツ所ノ人間が少ナイノデアル、彼ノ行政官デアルトカ、或ハ新聞社員ノ如キ天下ノ耳目ヲ以テ任ズルモノデスラ、人民ヲシテ煽動セシムルノ語氣ヲ以テ本問題ヲ通過セシメント企テ、居ル、即チ前加藤君ガ言ハレタルガ如ク、内閣大臣ノ演説ノ如キモ、若シ本議院ガ之ヲ否決スレバ、アノ金ヲ取り還シテ仕舞フ如キ語氣ヲ以テ人民ニ訴ヘ、又彼ノ日々新聞ノ如キ東京新聞ノ如キ腐敗極マル新聞ハ、若シ之ヲ否決スレバ今迄爲シテ居タル工事ヲ半途ニシテ休廢シナケレバナラヌ、實ニ溜ラヌカラ之ヲ否決サレテハナラヌト云フテ、彼ノ愛知岐阜ノ人民ヲ煽動シテ之ヲ通過サセント企テ、居ル、又或一方ニハ解散風ナドガ吹イテ之ヲ賛成スル所ノ人モアルノデアル、元來此事ニ就キテハ前論者モ言フ如ク、副島内務大臣ハ公平ナル眼ヲ以テ彼ノ被告人タル知事ノ答辯ヲ議場ニ報告スルコトハ宜シクナイ、故ニ實際ニ調査致シテ之ヲ報告セント致サレタモノデアル、是公平デアル、彼ノ知事ハ何人デアル、我ニ議會カラスレバ被告ノ地位ニ立ツテ居ルモノデアル、其者ノ一方ノ言ヲ以テ此議會ニ報告スルト云フノハ、政府ハ誠ニ其責任ヲ重ンジナイモノデアル、サレバコツ政府ノ代理者タル所ノ彼ノ白根政府委員ハ、其演説ノ始メニ於テ齊藤君ノ演説ハ痛ク政府ヲ攻撃セラレタ、ケレドモ政府ハ斯様ナコトハ意ニ介サナイ、又本官モ之ヲ記憶スルコトヲ欲シナイト言ハレタガ、此言タル立法部ヲ輕蔑スルノ甚ダシキモノデアツテ、苟モ立法部ノ質問ニナツタル以上ハ、其事ハ鄭重ニ鄭重ヲ加ヘテ調査シナケレバナラヌ、ソレヲ彼ノ被告人タル知事ノ一言ヲ以テ之ガ答ヲ爲スガ故ニ、彼ノ白根委員ハ全ク議場ニ向ツテ虚言ヲ吐イタ所ノ證據ガアル、彼ノ中村君ハ先年政府委員ハ一枚ノ舌ヲ使フト言ハレタガ、即チ

ノガ杜撰ナル仕様帳ヲ以テ議會ヲ欺イテ此大金ヲ支出シタト云フコトデアルト申ス所以デアル、是ニ由ツテ事實上斯ノ如キコトハ許サヌコトデアル、金ハ取戻サソデモ宜シイケレドモ、其承諾ヲ與フベカラザルコトデアルト信ズル所以デアル、ソレカラ尙ホ戻ツテ又白根政府委員ニ申シマスガ、銀行ノ利子ノ如キコトハ決シテナイ、ソンナコトハナイト言ハレタガ、銀行ノ利子云々ノコトハ、私ハ實地本人ヨリ聽イタコトデ、我ヒガ縣知事ニ逢ツタ時ニ、縣知事ハ之ヲ答ヘタノデアル、其事ヲ後トテ常置委員カラ聽カレタ時、取消シタケレドモ、ソレハ實際其時言フタコトヲ責任ヲ以テ答ヘタノデ、佐久間國三郎ト云フ縣會副議長ガ答ヘタ話デ、是ガ定期預ハナサヌト言フガ、定期デアルカナイカト云フコトニ就イテ白根政府委員ハヒラヽシタ證文見タ様ナモノヲ出シマシタガ、ソレデハ分リマセヌ、私ノ質問シタノハ五月九日デ、ソレカラ答辯シタノハ五月ノ末デアルカラ、其間ニ縣廳ト而シテ預ツタ銀行ト證書ノ書換モ何モ出來ル、斯様ナコトハシタケレバ何デモ出來ル話ダ、ソレヨリモウ少シ進ンデ實際人ヲ出シテ調ベル程ノ勇氣ガアツタナラバ宜シイガ、ソレヲ終始傍観シテ被告人タル知事ノ上申書ヲ金科玉條トシテ之ヲ以テ答ヘテモ、銀行ト縣廳ハ慣レ合フテ此證書ヲ變更シタモノデアルト私ニ邪推ヲ致サレテモ答辯ハナイト思フノデアル、(成ル丈簡單ニ願ヒラ其先ハ知ラヌト言フ、然ラバ銀行ニ預ケテハナイカト云フニ、ソンナコトマスト呼ブ者アリ)先ヅ斯ノ如キコトガ我ニノ意ニ落チヌコトデアル、ノミナラズ白根政府委員ハ五月九日ニ救濟費ハ拂ツテ貧民ニ渡シタト言ハレタガ、ソレガ故ニ昨日然ラバ貧民ニ残ラズ渡ツタカト云フニ、郡役所ニ行シタカラ其先ハ知ラヌト言フ、然ラバ銀行ニ預ケテハナイカト云フニ、ソンナコトハ知ラヌト言フガ、誠ニ立法部ト行政部トハコンナモノデアルカ、誠ニアツケナイ意思ヲ以テ逃ゲテ仕舞ハレタ、政府ハ五月十六日ニ貧民ニ渡シタト云フケレドモ、未ダ此金ハ貧民ニ渡ツテ居ラヌ證據ガアル、岐阜縣人民ガ私ニ向ツテ懇願書ヲ出シテ來タ者カアル、暫ク之ヲ聽イテ頂キタイ昨年十月二十八日大震災ニテ當町七百六十餘戸ノ處五百餘戸全潰シ其餘半潰ニシテ修繕ヲナシテ住居シ居ル者ハ僅カ二十餘戸ニ過キス然ルニ天皇ノ厚キ御仁恤ヲ以テ政府ノ救濟費ヲ御裁可アラセラレ御下賜金ノ配當ヲ被ムリ震災ノ艱難ヲ凌キ漸ク小屋掛ケヨナシ本日迄夢中ノ生活ヲナシ來リ未タ困民ハ住家ノ設計不相立嚴寒ノ凌キハ一時災後ノ勇氣ニテ凌キ來リ候ヘ共今日ニテハ氣力衰ヘ不潔ノ小屋且狹隘ニシテ炎暑凌キ方ニ苦心仕居リ候然ルニ隣村へ救濟費下附ノ事實承リ候ニ付別記ノ如ク本月一日役場町村長アラセラレ御下賜金ノ配當ヲ被代理者城忠愛氏ニ就キ相尋候處意外ノ答ニテ驚愕仕候依テ翌三日再ヒ赤貧者ヘ配當ノ儀願出候ヘ共今一應郡長ノ指揮無之テハ割渡シ不行届段強テ答辯仕候ニ付不得止衆議院ヘ御願申上候間該金早速貧民ヘ配當相成リ貧民者カ救濟ノ厚キ感情ヲ貫徹仕様御取計ヒ奉願上候二十五年六月四日岐阜縣厚見郡東加納町

**岐阜縣厚見郡東加納町  
字天神町**

宮部玉三郎

卷之三

衆議院議員齋藤珪次殿

衆議院議事速記錄第二十一號

明治二十五年六月七日

愛知岐阜富山福井

四縣下土木費補助トシテ明治二十四年度豫算外支出ノ件 四八二

イ、君等ハ同意ヲシテ解散ヲ喰ヌ様ニシテ居レバ宜シ、ソレデ役場ニ來テ居ルカ居ラヌカト問フタフ、ソレハ來テ居ルカ居ラヌカ答ガ出來マ、ソレハ妙ナ答デアルト云ツテ詰問セラレテ、トウノ實ハ來テ居ルガ「此割付金ハ卽チ七百四十八圓七十錢五厘ト云フモノハ、彼ノ郡役所ヨリ十六銀行ヘ預ケ證ニテ下附アリ此金ハ郡長ヨリ外ノ事ニ仕拂フヘキモノニアラス負擔者并ニ養生能ハサル困窮者ニ支拂フ事但一般部下人民ニ割付ケル金ニ非ラス然レトモ殘餘金返納ニ及ハス」堀ト云フ人ガ確カダト云フ證據ヲ認メテ見留ヲ捺サレタモノヲ私ニ送ツテ來タモノデアル、諸君ガ嘘ト云フナラ嘘デモ宜シ、併ナガラ諸君ガ熱心ニ病人迄モ馬車ニ載セテ通過サセ様ト云フ貧民ヲ憫レムト云フナラ、斯ウ云フニ金ヲ貰ツテ居ラス者ニ贊成シテ早ク下グル様ニシタイ、ドウカ此議案バカリ通過シテモ其金ガ貧民ニ渡ツテ居ラスデハ、諸君ノ役分ハ立チマセヌゾ、諸君ハ彼ノ大野君ノ言ヲ借りテ言ヘバ、大事ナル議案ヲバ通過セシメザルト云フハ、現内閣ヲ倒シテ取ツテ代ハラント云フ諸君ニ似合ハストカ云フ様ナ、妙ニ捨ネクタコトヲ言フガ、諸君ノ信用スル政府ヲ萬々歳ニ傳ヘントスレバ天下萬民ガ疑フ起ス、此救濟費ハ漫々トシテ居テ解散風ニ吹カレテ通過シテ、天下輿論ノ在ル人民ニ怨マレテ、唯愛岐二縣ノ人ニ可愛ガラレタバカリデハ、此明治政府ハ長クハ續キマセヌ、（喝采）是カラモウ一ツ言ハナケレバナラナイ、大野君ハ言ハレタガ、私ノ調査が不行居ト云フガ、私ノ調査モ不行居デゴザイマセウガ、人ノ非ヲ言フニハ大野君自ラ其非ヲ直シテ聞達ノナイヤウニシナケレバナラナイ、而カモ大野君ハ岐阜縣選出議員デ土地ヅ子デアレバ、其言フ所ハ皆人ガ信用スルノデアル、其信用スル人が嘘ヲ吐イテハ、私が嘘ヲ吐クヨリモモット外聞ガ惡ルイカラ、少シク注意ヲシテ貴ヒタイ、諸君、大野君ハ私ノ岐阜縣へ行ツタノハ四月九日デアルト揚言サレタガ、私ハ四月七日ニ行ツタノデアル、大野君ノ信向スル縣知事ハ我ニノ巡迴ニ巡查ヲ付ケテ居タカラ、大野君ニ疾クニ内通ガアッタ告アル、ドウシテ七日ト九日ト間違タカ、ソレ等ハ些細ナコトデアル、大野君ハ土地ヅ子デアル、サウシテ縣會ノ常置委員デアル、夫ノ震災ノ時分ニハ晝夜ヲ分タズ奔走サレタ、ソレハ競爭ノタメデアルカ、何シデアルカ保証ハシナイガ、工事ノ模様ノ如キハ一々知テ居ル告アル、然ルニ私ノ辯駁ニ對シテ馬島ノ門扉ハ新築ダト言ハレテ、其組合ノ人ハ大ニ怒ツテ茲ニ寫眞マデモ持テ來テ話サレタト云フ、大野君ハ岐阜縣各務郡ノ人デアルカラ、岐阜縣ノコトハ委シイト思ツタラ誠ニ委シクナイ、小生ガ少シク教エテ差上ゲタイ、私ガ言フタル所ノ馬島ノ石造開門ト云フノハ、全ク新設ナモノデゴザイマスル、アナタノ言フ寫眞ヲ持ツテ來タノハ足近ノ開門デアツテカラニ、私ガ之ヲ新設ト言ツタト云フノハ少シク質問ノ理由書ヲ見テ戴キタイ、質問ノ理由書ニ其ハ昨年地方費ヲ以テ煉瓦ニ改造シ震災ニ罹ツテ復舊シテ居ルト云フゴトガ書イテアルノデアル、唯私ハ一年ト昨年ト間違テ居タケレドモ、大野君ハ岐阜縣デアツテ居ナガラニシテ、馬島ト足近ヲ御存ジナク、而カモ之ガ怨ミデ——早く答辯ヲシナイノハ怨ミデアルト云フナラ切ナモノデアル、寧ロ岐阜縣知事ヲ怨ミ給ヘ、政府ハ答辯ノ材料ガナオカラ、

○縣知事ノ送ルノヲ待テ居ツタノデアル、故ニ政府ヲ怨ムヨリハ縣知事ヲ怨ムノガ至當デアル、又一步進ンデ決シテ君ノ敬愛スル縣知事ヲ怨ムベカラズ、自ラ怨ミ給ヘ、君ハ常置委員デアル、岐阜縣ニ於テ此震災ノ費用ヲ議スル權利ノ有ル者デアル、然ルニ一月二十七日ニ二千幾圓ノ金ヲ議セラレタ外、アト五十餘万圓ト云フモノハ二月三十二日マテ知事ノ專斷デ使ハレタ、苟クモ常置委員デ居テ其金ニ喙ヲ容レナカツノハ、自分ノ自業自得ト言ハナケレバナラナイ、斯ノ如クニ岐阜縣ノ知事ガ縣會ニ掛ケズ、常置委員ノ議ニ掛ケズシテ、此使用ヲ爲シテ居ル、故ニ此巨細ノ不都合ナルコトノ如キハ、第二ノ登壇者タル工藤君ガ述ベルデゴザイマセウガ、兎ニ角斯ノ如キ經過ヲ以テ人ニ向ツテ質問ヲ致シテ、天下ニ斯ノ如キ穢ラハシキ風説ヲ無クサント致シタモノデアル、然ルニ之ニ對シテ何ゾ圖ラン、人民ヲ煽動シタト云フ其煽動シタト云フコトハ、前申シタル如ク、アレヲ否決サレテハ岐阜縣人民ハ金ヲ取返サレテ仕舞フト云フコトヲ以テ、或ル一部ノ人ハ自ラノ非ヲ蔽ハシガタメニ、公ケノ金ヲ以テ上京シ、或ハ集會等ヲ催シテ居ルト云フコトサヘ世間ノ風説ニ上ルニ至ツテハ、實ニ岐阜縣ノタメニ惜ムコトデアル、ドウカ此場ニ居ラル、岐阜縣ノ諸君、殊ニ大野君ノタメニ惜ムコトデアル、ドウカ此場ニ居ラル、岐阜縣ノ諸君、殊ニ大野君ノ如キハ岐阜縣ニ於テ名望ノアル人デアルガ故ニ、非ハ非トシ、是ハ是トシ、唯縣知事ヲ保護スルノミガ職分デモゴザイマスマイカラ、正邪能ク分ケテ輿論ニ訴ヘテ、此處ヲ通過サセルナラ宜イガ、私ハ此事ノ否決ニナランコトヲ望ムノデアル

○齋藤良輔君(五十三番) 討論終結ノ動議ヲ出シマス

○議長(星亨君) (賛成々々ノ聲起ル) 討論終結ニ賛成ノ方ハ起立ナス、テ下サイ

○岩崎萬次郎君(百九十四番) 今ノ此閉鎖ノ際ニ……  
(此時島田三郎君議長席ニ至リ議長ト私語ス)

○議長(星亨君) 多數ト認メマス、依ツテ討論ハ終結致シマシタ、矢張是ハ決ヲ採リマス、討論終結ニ賛成ノ方ハ起立ナス、テ下サイ

○議長(星亨君) 命令ノ出ナシ中ニ……  
昨日ノ例モゴザイマスカラ、記名投票ニ致シマセウ

○岩崎萬次郎君(百九十四番) 今ノ此閉鎖ノ際ニ……  
(此時島田三郎君議長席ニ至リ議長ト私語ス)

○島田三郎君(百五十一番) 尚ホ申シマスガ、議長ノ命令デナク締メタノミナラズ、議員ノ這入ラウトシタ者ヲ——千葉禎太郎君ノ這入ラウトシタモヲ、慥ニ突キ返シタ守備ガアリマスカラ處分ヲ願ロマス、後來一體ノ議院ノ締リニ於テ、平生斯ノ如キ事ノアル一端ト思ロマス

○議長(星亨君) 議長ハ命令ヲシナイダカラ、閉鎖ヲシタ者ハ過チデアル、其バ、二十日間位ハ掛ツテ考ヘテ斯ノ如キ杜撰ナコトハ先づ御廢シニナツタ方ガ宜イ、ノミナラズ大野君ハ齋藤ノ答辯ノタメニ大ニ疑惑ヲ生ジテ政府ヲ怨ムト言ツタガ、大野君ハ決シテ政府ヲ怨ムベカラズ、政府ハ諸君ノタメニ親切ナモノデアル、寧ロ岐阜縣知事ヲ怨ミ給ヘ、政府ハ答辯ノ材料ガナオカラ、

○早川龍介君(三十七番) 中ニ居ル人ヲ出ルコトヲ止メル様ニ、閉鎖ヲスルノガ當リ前デアルノニ、外ニ居ルノヲ入レナイト云フノハ……

○議長(星亨君) 何ニシテモ閉鎖ヲ命ジナイ中ニ、シタノデスカラ……  
○島田三郎君(百五十一番) 守備ガ自カラシタノカ、他ニ命ズル者ガアツタ

カ、御取調ヲ願ヒマズ  
○議長(星亨君) ソレハ宜シイカラ、明ケタニ閉鎖ヲ命ジナイ中ニ閉鎖ヲシタト云フコトハ、議長ハ即チソレ丈ノ處分ヲスルコトガ出来ルダカラ、誰デアルト云フ丈ハ追テ諸君が言フテ來テ吳レナケレバ困ル  
〔宜シイ宜シイト呼ブ者アリ〕

○議長(星亨君) 是ヨリ閉鎖シマス、……是ヨリ投票ニ掛リマスガ、昨日ノ例ニ依ツテ即チ承諾ヲ與ヘル者ハ白、承諾ヲ與ヘナイ者ハ青ト云フコトニナリマスカラ、左様御心得下サイ是ヨリ氏名點呼ニ取掛リマス

○議長(星亨君) 是ヨリ開票致シマス

(町田書記官投票ノ數ヲ計算ス)

(書記官投票ノ數ヲ計算ス)

○議長(星亨君) 反投票ノ結果ヲ報道シマス

出席員

二百八十三名

可トスル者

百四十八

否トスル者

百三十五

○議長(星亨君) 承諾ヲ與ヘルコトニ極リマシタ(拍手起ル)

(栗谷品三君吏黨萬歳ト呼び笑聲起ル)

○議長(星亨君) 第一私設鐵道買收法案(政府提出)

第一讀會ノ續

○議長(星亨君) ワレデ本日ノ議事日程第二ニ移リマス

(佐藤里治君演壇ニ登ル)

○佐藤里治君(百四十八番) 此買收法案ハ豫テ公債法案ノ折ニ、委員會ノ意見アルヲ報告シテ居リマシテ、其折ニ是ハ否決ト云フコトヲ申シテ置キマシタ、其理由ハ其折ニ詳シク申上ケタ筈デゴザイマスカラ、此處ニ重複ノコトハ申上ゲマセヌ、ソレカラ又自然ニ公債法ノ修正ガ確定シマシタニ就イテハ、自然ノ結果トシテ此事ハ否決シナケレバナラヌデゴザイマス、ソレデ矢張是ハ討論ヲ用井ズ採決セラルヤウ便法ヲ願ヒマス

(贊成々々採決々々ト呼ブ者多シ)  
○議長(星亨君) ワレナラバ決ヲ採リマス、即チ本日ノ日程第一私設鐵道買收案ハ二讀會ヲ開クヤ否ヤト云フコトノ決ヲ採リマス、二讀會ヲ開クト云フニ賛成ノ方ハ起立ナス<sup>ト</sup>テ下サイ

起立者 無シ  
○議長(星亨君) 尚ホモウ一遍言ヒマスガ、二讀會ヲ開クト云フコトニ賛成ノ方ハ起立ナス<sup>ト</sup>テ下サイ

起立者 無シ  
○議長(星亨君) サウスルト一人モ立タヌデゴザイマス、二讀會ヲ開カヌコトニ定マリマシタ(滿場一致ト呼ブ者アリ)

第三明治二十五年度豫算追加案(貴族院固付)  
○議長(星亨君) 是ヨリ本日ノ議事日程第三ニ移リマス、朗讀ヲ……今朗讀ヲ致サセマスノハ、貴族院デ修正シテ參ッタ、其部分丈ヲ朗讀致シマス  
(町田書記官朗讀)

第一款 軍艦製造費 金三千八百十一圓  
衆議院議事速記録第二十一號 明治二十五年六月七日 私設鐵道買收法案 第一讀會ノ續 豫算追加案 第一讀會ノ續

○曾禰荒助君(百二番) 本問題ハ餘程急ヲ要スルモノデゴザイマスル、併シタル此問題ヲ決スルニ於キマシテハ、容易ナラヌ考ヲ費サンナラヌト思ヒマス、其容易ナラヌ考ト申シマスルハ、但シ憲法ノ問題ニ關ハリマス、其憲法ノ問題ト申シマスルハ他ニアラズ、豫算ハ已ニ衆議院ニ先キニ送付セラレテアルコトニ依ツテ、其衆議院ノ案ガ修正案ガ原案タルベキヤ否ヤ、是ハ一モ示シタ所ノモノガナイト云フ人モアルシ、アルト云フ人モアラウト考ヘル、此邊ハ熟考シテ憲法ノ明示スル所ヲ能ク考ヘナクテハ、咄嗟ニハ或ハ誤ルコトナキヲ保シ難イ、之ガ先ヅ第一ノ六ヶ敷コトデアル、第二ニハ修正ヲ爲スニ當ッテ、我憲法ハ兩院共ニ修正ノ權ガアツテ、サウシテ政府提出ノ原案ニナキコト迄十分修正トシテ出シテ加ヘテ宜シイカ惡イカト云フ所ヲ研究セネバナラナイ(御尤ト呼ブ者アリ)斯ノ如キ大問題ニ至リ、併セテ兩院ノ大ニ交渉ノ所ニ大關係ヲ及ボス所ノ問題ナレバ、宜シク一日若クハ一日、本員ノ考ヘル所デハ、明後日ノ議事日程迄此會ヲ延期セラレテ、諸君ノ考慮ヲ煩ハシ、善後ノ策モ併セテ講シテ、之ヲ議決セシコトヲ希望致シマス

(贊成々々ト呼ブ者多シ)  
○佐々田懋君(百九十一番) 本員ハ此先決問題トシ、先キニ書記官長ノ手許ヘ出シテ置キマシタ、議事日程ノ變更ノ動議ト云フモノハ定規ノ贊成者ヲ得テ出シテアル、ワレデ併ナガラ唯今曾禰君ヨリ其說ガ出マシタカラ、別ニ此處ニ議論ヲスル必要ハナイデアル、兎ニ角先キニ變更ノ動議ヲ出シタモノハ、即チ先決問題トシテ第一ニ議決セラレルコトニセラレシケレバ困リマス

○議長(星亨君) 今發議ヲ求メタカラ發議ヲ許シタノデアル、ワレデ發議ヲ許シタ人ガ偶々アナタト一緒ノ論者デアツタ、何ノ發議デアルカラ分リマセヌカラ、ワレデ先決問題ハ佐々田君ノ何ノ出テ居ル所ハ、本日ノ議事日程ヲ延期スルト云フ動議デアリマスガ、外ハ分リマセヌガ、今百二番ノ動議ト同ジヤウニナツテ、明後日ノ議事日程ニ載セルト云フコトニナリマスカ

○佐々田懋君(百九十二番) 本員ノ提出致シタノハ兎ニ角本日ノ議事日程ヲ變更シヤウ、即チ延期ヲシヤウト云フノデ、明後日若クハ明日ト豫メ制限ヲ附ケルニ及バヌ、是ハ議長ノ權内デヤラル、ガ宜シイ、即チ本日一日ノ間考慮ヲ致シマスレバ、切迫シタル今日ニ當ツテ會期ノ切迫シタル今日ニ方ツテ、二日モ三日モ延期スルニ及バヌト云フ考デアリマス、本員ハ明日デモ宜シ、即チ明日ト致シタイ

○加藤平四郎君(二百三十二番) 百二番或ハ百九十二番ト同感デゴザイマス、今日是ガ報告ヨリ先ニ議事日程ニ出シテアルト云フハ、餘り輕卒デゴザリマス、他ノ即時ニシテ差支ナイ問題トスルモ……況ヤ此問題ノ如キハ議權ニ關係ヲ持ツ大問題デゴザリマス、殊ニ小ナルコトデアルケレドモ、百二番ノ述ヘラル、如ク、餘程考ヘテ見ナケレバ容易ニ決セラレヌ問題ト思フ、明日ニスルトカ明後日ニスルトカト云フコトハ、成ルベク百九十二番ト百二番リマス、日ニスルトカ明後日ニスルトカト云フコトハ、成ルベク百九十二番ト百二番リマス、他ノ即時ニシテ差支ナイ問題トスルモ……況ヤ此問題ノ如キハ議權ノ說ヲ一ツニシタイト思ヒマス、私ノ考デ見マスルニ明日ト云フヨリハ明後日ノ方ガ宣シイカト恩ヒマス、一ツニ別レ、バ……私ハ百二番ニ同意致シマスリマスカ

○議長(星亨君) 唯今ノハ先決問題トシテ議ニ付セラレテ居リマス

第一款 海軍省所管 第一讀會ノ續

軍艦製造費 金三千八百十一圓

四八五

○小西甚之助君(二百八十八番) ソレデハ此先決問題ニ反對ノ意見ヲ……  
(討論ヲ用ヒズ採決スペシト呼ブ者多シ)

○議長(星亨君) 決ヲ採リマス、ニツニ決ヲ採ル積リデス、日ニ就イテ  
○佐々田懋君(百九十二番) 敢テ明日デナケレバナラヌコトハナイカラ、即チ明後日デモ宜シイ

○議長(星亨君) ソレナラ一ツニ決ヲ採リマス、サウスルト之ヲ先決問題ト認メタノデゴザリマスカラシテ、即チ是ヨリ之ヲ採ッテ明後日ノ議事日程マデ延バスト云フコトニナル、明後日ノ議事日程マデ(異議ナシト呼ブ者アリ)起立ヲ採ランケレバナリマセヌ、アナタ方ハ宜クテモ外ニ異議ガアル、明後日ノ議事日程マデ延バストニ同意ノ諸君ハ起立ナスツテ下サイ

起立者

多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス、明後日ノ議事日程ニ延バストコトニ致シマス、ケレドモ政府提出案デゴザリマスカラ、政府ノ同意ヲ得ル積リデゴザリマス

(栗谷品三君政府ハ同意スペシト呼ブ)

○關直彦君(百十七番) 政府ハ幸ニ出テ居ラレマスカラ、直チニ同意ノ有無ヲ……

○議長(星亨君) 何デス

○關直彦君(百十七番) 政府委員モ其席ニ臨ミマシテ居リマスカラ、同意不<sup>ト</sup>同意ヲ直チニ……

(早川龍介君ソンナコトハ議長ニ任シテ置ケト呼ブ)

○小西甚之助君(二百八十八番) 此件ハ矢張昨日ノ如ク議權ニ關スルコトデゴザリマスカラ、默セント欲シテ黙スル能ハズ、茲ニ建議ヲ致シマス、先程モノデアルガ故ニ、發言ヲ許サナイト云フ、然レドモ是ハ決シテ討論ヲ用ヒ

(スト云フコトハナイ、何トナレバ討論ヲ用ヒナイト云フコトハ、議事日程ノ變更ヲ致シテ、是ヨリカ此物ヲ先キニ議シタイト云フ場合ニ、討論ヲ用ヒズシテ決スルモノデアル、然レドモ唯今ノ緊急動議ナルモノハ、言葉ハ議事日程ノ變更ト云フ言葉ハアタケレドモ、其實ハ決シテ後ナルモノヲ先ニ議スルト云フデナクシテ、議シ掛ッテ居ルモノヲ後日延バスト云フコトデアル、

(無用ト呼ブ者アリ)是ハ決シテ八十二條ニ規定シテアル所ノ討論ヲ用ヒズ決議スルト云フ條項ニ當嵌マラナイ事實デアル、然ルニ討論ヲ用ヒナイ

ト云フ故ヲ以テ、本員ガ此緊急動議ニ對シ反對ノ意見ヲ述ベヤウトスルモノ、阻隔セラル、コトハ甚ダ不當ナル所爲ナリト云ハナケレバナリマセヌ、將來ニ於テハ宜シク議員ノ發議權ト云フモノハ鄭重視セラレンコトヲ、御注意ノタメ鳴呼ガマシイコトデゴザリマスケレドモ……

○議長(星亨君) 宜シウゴザリマス、併ナガラ議長ハ是ハ即チ討論ヲ用ヒナクトモ宜イト云フ見解デゴザリマス、即チ八十二條ニ準ズベキモノト認メテ

居リマス

○小西甚之助(二百八十八番) 準ズベキモノト云フハ、トウ云フ決デアリマス  
○議長(星亨君) 八十二條ニハ議事日程ニ記載シタル事件アルニ拘ラズ、他ノ緊急事件ニ付キ開議ノ動議云々、討論ヲ用ヒズシテ議院ニ詣ヒ議事日程ヲ變更スルコトヲ得トアリマス

○小西甚之助(二百八十八番) 如何ニモ議事日程ヲ變更スルコトガアリマス、ケレドモ他ノ緊急事件ノ議事日程ニ掲ゲ出テアルモノヲ先ニ議スルト云フコトデアル、唯今ノハ先キニ議スルコトデナクシテ後ニ延バスト云フコトデアリマスカラ、大ニ此條ニ反スルモノデアリマスカラ、之ヲ適用スルコトハ出來ナイ

○議長(星亨君) ソレハソレデ宜シイ、即チサウ云フコトハ討論ヲ用ヒズニ終結ハ出來ナイト云フ明文ガナイ以上ハ即チ之ト同ジヤウナ種類ナラバ、討論ヲ用ヒズト宜シトイト云フ論理上ノ結果ガソコニ生ジナケレバナリマセヌ、ソレデアリマスカラシテ、議長ハ此事ニ就イテハ討論ヲ用ヒズシテ宜シト認メマス

○小西甚之助君(二百八十六番) ソレデハドウモ議員ノ發議權ヲ阻隔スルヲ如何ニシマセウ、斯様ナコトハ議長ノ意見ヲ以テ討論ヲ用ヒナイト云フ……出來ナイト思ヒマス

○議長(星亨君) 是ヨリ第四ノ議事日程ニ移リマス、第三ノ議事日程ハ今政府ニ同意ヲ求メ中デアリマス、同ジク政府案デゴザリマスカラシテ、第四ノ議事日程ニ移ツテ宜シトイト考ヘテ居リマス

#### 第四 郵便聯合國郵便切手類保護法案(政府提出貴族院回付)

##### 第一讀會

##### 〔町田書記官議案ヲ朗讀ス〕

##### 郵便聯合國郵便切手類保護法

第一條 郵便聯合條約國政府ノ發行スル郵便切手封皮端書又ハ帶紙ヲ偽造變造シ又ハ其ノ情ヲ知テ之ヲ使用シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁シテ決スルモノデアル、已ニ貼用シタル郵便聯合條約國政府發行ノ郵便切手ヲ再ヒ貼用シタル者ハ一圓以上十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二條 第一條ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第三條 第一條ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罰ノ刑ニ處スル者ハ六月以上一年以下ノ監視ニ附ス

##### 附則

第五條 此ノ法律ハ明治二十五年七月一日ヨリ施行ス

○魚住逸治君(十五番) 此郵便聯合國法案デゴザリマスガ別段質問モゴザリクトモ宜イト云フ見解デゴザリマス、即チ八十二條ニ準ズベキモノト認メテマセムシ又政府委員ノ御辯明モナイヤウデゴザイマスカラ是ハ九名ノ委員ヲ

議長カラ御指名アラムコトヲ希望致シマス(賛成タクノ聲起ル)

○議長(星亨子君) 決ヲ採リマセウ、即チ本案ニ就キマシテハ九名ノ委員ヲ議長カラ指名シロト云フ動議ガ出テ居マスカラ、之ニ賛成ノ方ハ起立(異議ナシ異議ナレト呼ブ者アリ)

起立者

多數

○議長(星亨子君) 多數ト認メマス、是ヨリ次ノ議事日程ニ移リマス

○井上角五郎君(七十六番) 是ハ長イヤウデゴザリマスカラ、朝讀ハ省イテ戴キタ

○議長(星亨子君) 宜シウゴザリマス、第四第五ハ終リマシタカラ、第六ニ移リマス、一寸諸君ニ報道ヲ致シマスガ、豫算案ノコトニ就イテ政府ハ議事日程ヲ變更スルコトヲ承諾シタサウデス、左様御心得ヲ——尙ホ是ハ議事日程六ト七トヲ同ジク會議ニ掛ケ様ト思ヒマス

(宜シイト呼ブ者アリ)

### 第六 海上衝突豫防法案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

#### 第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタゞ記載ス)

海上衝突豫防法

總則

本法ハ海洋ト海洋接續ノ場所トヲ問ハス凡ソ航洋船ノ運航シ得ヘキ水上ニ於ケル船舶ニ適用ス

本法ニ於テハ「中汽船ト雖モ帆ヲ以テ運轉シ汽力ヲ用ヒ「井」サルトキハ帆船ト看做シ汽力ヲ用フ」「ウ」ルトキハ帆ヲ用フ「ウ」ルト用ヒサルトノ別ナク汽船ト看做スヘシ

本法中汽船トハ凡ソ機關ノ作用ニ因テ運轉スル船舶ヲ謂フ

本法中船舶航行中トハ碇泊若クハ繫留又ハ坐礁膠沙ニアラ「非」サル場合ヲ謂フ

船燈

本法中船燈ニ關シテ見得トハ晴天ノ暗夜ニ於テ認メ得ルヲ謂フ

第一條 船燈ニ關スル規定ハ天氣ノ如何ニ關セス日沒ヨリ日出マテ必ス遵守スヘシ此ノ時間中ハ本法ニ定メタル船燈ノ外之ニ紛レ易キ燈ヲ掲クヘカラス

第二條 汽船ハ航行中必ス左ノ燈ヲ掲クヘシ

一 前檣若クハ其ノ前面ニ於テ又ハ前檣ヲ具ヘサルトキハ本船ノ前

方ニ於テ船體上二十尺ヨリ低カラサル所ニ若シ船幅二十尺ヲ超ユ

シ然レトモ船體上四十尺以上ノ所ニ掲クルヲ要セス此ノ燈ハ常

ニ不同ナキ光ヲ發シテ鍼盤ノ二十點間ヲ照スヘク製造シ其ノ燈ハ常ニ

光ヲ左右舷外へ十點間ツヘ即チ船ノ正首ヨリ各舷正横後ノ二點迄「マテ」及フヘキ様裝置シ且ツ少クモ五海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノヲ用フ「ウ」ヘシ

二 右舷ニ綠燈ヲ掲クヘシ此ノ燈ハ常ニ不同ナキ光ヲ發シテ鍼盤ノ十點間ヲ照スヘク製造シ其ノ射光ヲ船ノ正首ヨリ右舷正横後ノ二點迄「マテ」及フヘキ様裝置シ且ツ少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノヲ用フ「ウ」ヘシ

三 左舷ニ紅燈ヲ掲クヘシ此ノ燈ハ常ニ不同ナキ光ヲ發シテ鍼盤ノ十點間ヲ照スヘク製造シ其ノ射光ヲ船ノ正首ヨリ左舷正横後ノ二點迄「マテ」及フヘキ様裝置シ且ツ少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノヲ用フ「ウ」ヘシ

四 本條第二號項「第三號項」ノ舷燈ニハ其ノ燈ヨリ前ニ少クモ三尺突出シタル隔板ヲ其ノ燈ノ内側ニ裝置シ右舷ノ綠光ハ左舷ニアル船ヨリ、「左舷ノ紅光ハ右舷ニアル船ヨリ見得サル様ニ爲スヘシ

五 汽船航行中ハ本條第一號項ニ規定シタル白燈ノ外ニ同種ノ白燈一箇ヲ増掲スルヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ其ノ兩燈ヲ龍骨線上前後ニ隔テ其ノ前燈ヲ後燈ヨリ少クモ十五尺下方ニ掲ケ其ノ前後ノ距離ハ上下ノ距離ヨリモ多キヲ要ス

第三條 汽船他船ヲ引キテ航行スルトキハ兩舷燈ヲ掲クルノ外ニ白燈二個ヲ上下ニ少クモ六尺ヲ隔テ連掲スヘシ此ノ白燈ハ第二條第一號項ノ白燈ト同一ノ構造ニシテ且ツ同一ノ場所ニ掲クルヲ要ス然レトモ二艘以上ヲ引キテ航行スルトキハ其ノ引キタル船ノ船尾ト最後ニ引カル、船ノ船尾トノ距離六百尺以上ノ場合ニ於テハ右二個ノ白燈ヨリ上方若クハ下方六尺ノ所ニ尙ホ同種ノ白燈一個ヲ増掲スヘシ

本條ノ引船ハ引カル、船舶ノ操舵目標トシテ烟突若クハ後檣ノ後面ヘ小形ノ白燈一個ヲ掲クルヲ得但シ此ノ白燈ハ本船正横ヨリ前面ニ見得サル様ニ爲スヲ要ス

第四條 事變ノ爲メ運轉自由ヲ得サル船舶ハ夜間ニアリテハ第二條第一號項ニ規定シタル白燈ト同一ノ高サニ於テ最モ見得易キ所ニ(汽船ナレハ其ノ白燈ノ代リニ)二個ノ紅燈ヲ上下ニ少クモ六尺ヲ隔テ連掲スヘシ此ノ紅燈ハ周回少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノタルヲス又畫間ニアリテハ最モ見得易キ所ニ直徑二尺ノ黒球若クハ黒色ノ形象ニ二個ヲ上下ニ少クモ六尺ヲ隔テ連掲スヘシ海底電信線ノ布設又ハ引揚ニ從事スル船舶ハ夜間ニアリテハ第二條第一號項ニ規定シタル白燈ノ位置ニ於テ(汽船ナレハ其ノ白燈ノ代リニ)三個ノ燈ヲ垂直上下ニ少クモ六尺ヲ隔テ連掲スヘシ但シ此ノ燈三個ノ内上下ノ二個ハ紅色中央ノ一個ハ白色ニシテ周回少クモ二

海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノタルヲ要ス又晝間ニアリテハ最セ見得易キ所ニ直徑二尺以上ノ形象三個ヲ垂直「上下」ニ少クモ六尺ツヽヲ隔テ連揚シ其「ノ」上下ノ二個ハ紅色球形ヲ用ヒ「井」中央ノ一個ハ白色堅菱形ヲ用フ「ウ」ヘシ

本條ノ船舶全ク運行セサルトキハ舷燈ヲ掲クヘカラス然レトモ運行スルトキハ必ス之ヲ掲クヘシ

本條規定ノ燈及ヒ形象ハ逕轉自由ヲ得スシテ他船ノ航路ヲ避クル能ハサルノ信號ト認ムヘシ

本條ノ信號ハ難船信號ト混同スヘカラス難船信號ハ第三十一條ニ於テ之ヲ規定ス

第五條 航行中ノ帆船及ヒ他船ニ引カレテ運行スル船舶ハ第二條「第二」號「項」「第三」號「項」ノ舷燈ノミヲ掲クヘシ決シテ同條「第一」號「項」ノ白燈ヲ掲クヘカラス

第六條 小形船航行中天氣ノ模様ニヨ「因」リ綠紅ノ二舷燈ヲ掲ケ置キ難キトキハ何時ニテモ使用シ得ヘキ様點火シテ之ヲ手近カニ備ヘ置キ他船ノ我船ニ近寄リ來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄リ行クトキハ衝突ヲ防クニ充分

分ナル時間ヲ見定メテ其「ノ」舷燈ヲ他船ヨリ最モ見得易キ様各舷ニ表示スヘシ但シ此「ノ」時綠光ハ左舷ヨリ「紅光ハ右舷ヨリ見得ス且ツ成ルヘク各舷正横後ノ二點ヨリ後方へ見得サル様ニ爲スヲ要ス

此「ノ」綠紅ノ各燈ヲ間違ロナク容易ニ取扱フ爲メ綠燈ハ綠色、紅燈ハ紅色ニテ外面ヲ塗リ且ツ適當ノ隔板ヲ備ヘ置クヘシ

第七條 總積量四十噸未満ノ汽船及ヒ櫓櫂若クハ帆ヲ以テ運轉スル二十噸未滿ノ船航行中ハ必スシモ第一條「第一」號「項」「第二」號「項」「第三」號「項」ニ規定シタル燈ヲ掲クルヲ要セス然レトモ若シ之ヲ掲ケサルトキハ必ス左ノ規定ニ據依ルヘシ

### 一 四十噸未満ノ汽船

甲 船ノ前部又ハ烟突若クハ其「ノ」前面ニ於テ舷線上九尺ヨリ低カ

ラス且ツ最モ見得易キ所ニ第二條「第一」號「項」ニ規定シタル構造裝置ニシテ

造裝置ニシテ少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一個ヲ掲クヘシ

乙 第二條「第二」號「項」「第三」號「項」ニ規定シタル構造裝置ニシテ

少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ綠紅ノ二舷燈ヲ掲クルカ又ハ

船ノ正首ヨリ各舷正横後ノ二點迄「マテ」右舷ハ綠色左舷ハ紅色

ノ射光ヲ及スヘク製造シタル兩色燈一個ヲ掲クヘシ但シ此「ノ」

燈ハ白燈ヨリ少クモ三尺下方ニ掲クルヲ要ス

二 汽艇ハ本條「第一」號「項」甲ノ白燈ヲ舷線上九尺ノ所ヨリ下方ニ掲クルヲ得然レトモ其「ノ」白燈ハ乙ノ兩色燈ヨリ高キヲ要ス

三 櫓櫂若クハ帆ヲ以テ運轉スル二十噸未満ノ船ハ一面ハ綠色一面ハ

紅色ノ玻璃ヲ用ヒ「井」タル燈籠一個ヲ手近カニ備ヘ置キ他船ノ我船ニ近寄リ來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄リ行クトキハ衝突ヲ防クニ充分ナル時間ヲ見定メテ之ヲ表スヘシ此「ノ」時綠光ハ左舷ヨリ紅光ハ右舷ヨリ見得サル様ニ爲スヲ要ス

本條ノ諸船ハ第四條「第一」項及第十一條末項ニ規定シタル「ノ」燈ヲ掲クルニ及ハス

水先船其「ノ」水先區ニ於テ營業ヲ爲ストキハ他船ニ要スル燈ヲ掲クヘカラス單ニ周回ヨリ見得ヘキ白燈一個ヲ檣頭ニ掲ケ且ツ十五分時ヲ超エサル間隙ヲ以テ閃火一個又ハ數個ヲ發スヘシ

水先船ニハ右ノ外綠紅ノ二舷燈ヲ用意シ置キ他船ノ我船ニ近寄リ來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄リ行クトキハ我船ノ進行スル方向ヲ示ス爲メ一時之ヲ表示スヘシ但シ此「ノ」時綠光ハ左舷ヨリ紅光ハ右舷ヨリ見得サル様ニ爲スヲ要ス

水先人ヲ要スル船舶ヘ横「直」符ヶスヘキ水先船ハ白燈ヲ檣頭ニ掲クル代リニ隨時之ヲ表示シ又舷燈ヲ兩舷ニ掲クル代リニ一面ハ綠色「、」一面ハ紅色ノ玻璃ヲ用ヒ「井」タル燈籠一個ヲ手近カニ備ヘ置キ前項ニ從テ之ヲ使用スルヲ得

水先船其「ノ」水先區ニ於テ營業ヲ爲サルトキハ其「ノ」積量ニ應シテ他船ト同一ノ燈ヲ掲クヘシ

第九條 凡ソ漁船其「ノ」業ニ從事スルトキハ本條「各項」ノ規定ニ據依ルヘシ但シ航行中ノモノ又ハ本條ニ規定ナキモノハ其積量ニ應シテ他船ト同一ノ燈ヲ掲クヘシ

一 流刺網ヲ用ヒ「井」テ漁業ニ從事スル船ハ最モ見得易キ所ニ於テ二個ノ白燈ヲ龍骨線上前後ニ五尺乃至十尺ヲ隔テ其「ノ」前燈ヲ後燈ヨリモ六尺乃至十尺下方ニ掲クヘシ此「ノ」燈ハ周回少クモ三海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノタルヲ要ス

甲 汽船ハ第二條「第一」號「項」ニ規定シタル白燈ノ位置ニ三色ノ燈籠一個ヲ掲ケ尙ホ其「ノ」下方六尺乃至十二尺ノ所ニ白燈一個ヲ増掲スヘシ此三色燈ハ船ノ正首ヨリ左右各二點迄「マテ」ハ右舷ハ綠色「、」左舷ハ紅色其レヨリ正横後ノ二點迄「マテ」ハ右舷ハ綠色「、」左舷ハ紅色ノ射光ヲ及ホシ又增掲ノ白燈ハ常ニ不同ナク亮明ノ光ヲ發シテ周回ヲ照スヘキモノタルヲ要ス

乙 總積量七噸以上ノ帆船ハ常ニ不同ナク亮明ノ光ヲ發シテ周回ヲ照スヘキ白燈一個ヲ掲クル外尙ホ少クモ三十秒時間發火スヘキ紅光焰管ヲ備ヘ置キ他船ノ我船ニ近寄リ來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄リ行クトキハ衝突ヲ防クニ充分ナル時間ヲ見定メテ之ヲ

本號「項」乙ニ記載シタ「ス」ル諸船地中海ニアリテハ紅光焰管ノ代リニ他ノ閃火ヲ用フ「ウ」ルヲ得  
本號「項」甲乙ニ記載シタ「ス」ル諸燈ハ少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノタルヲ要ス

## 丙

總積量七噸未満ノ帆船ハ必「ス」シモ本條「第二」號「項」乙ニ記載シタ「ス」ル白燈ヲ掲クルヲ要セス然レトモ之ヲ掲ケサル場合ニ於テハ白色亮明ノ光ヲ發スル燈籠一個ヲ手近カニ備ヘ置キ他船ノ我船ニ近寄リ來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄リ行クトキハ衝突ヲ防クニ充分ナル時間ヲ見定メテ其燈ヲ最モ見得易キ所ニ表示シ且ツ本條「第二」號「項」乙ニ規定シタル紅光焰管ヲ發シ或ハ其「ノ」焰管ノ代リニ他ノ閃火ヲ發スヘシ

## 三

延繩曳繩ヲ用ヒテ「釣」漁業ニ從事スル船碇泊若クハ停留セサルトキハ流「刺」網ヲ用ヒ「井」タル漁船ト同一ノ燈ヲ掲クヘシ漁船ハ本條ニ規定シタル燈火ヲ表示スルノ外何時ニテモ閃火ヲ發スルヲ得但シ繩網其「ノ」他術網ノ類ヲ以テ漁業ニ從事スル船ノ閃火ハ船尾ニ於テ之ヲ發スヘシ然レトモ漁具ヲ船尾ニ繫キタル場合ニ於テハ船首ニ於テ發スルヲ得漁船碇泊スルトキハ周回少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一個ヲ表示スヘシ

## 七

霧中降雪其「ノ」他暴雨中流「刺」網、繩網、術網ノ類其「ノ」他延繩曳繩ヲ用ヒ其「釣」業ニ從事スル漁船ニシテ總積量二十噸以下ナルトキハ汽船ナレハ汽笛又ハ汽角帆船ナレハ霧中號角ヲ用ヒ一分ヨリ多カラサル時間毎ニ一聲ヲ發シ之レニ續ヒ「キ」テ號鐘ヲ鳴「ラ」スヘシ

## 八

流「刺」網、繩網又ハ延繩曳繩ヲ用ヒテ「釣」漁業ニ從事ス帆船運航中晝間ニアリテハ最モ見得易キ所ニ籃又ハ其「ノ」他ノ信號ヲ掲ケ近寄ル他船ニ其「ノ」漁船ナルコトヲ表示スヘシ  
本條「諸項」ノ漁船ハ第四條「第一」項及第十一項末項ニ規定シタル「ノ」燈ヲ掲クルニ及ハス  
第十條 他船ニ追越サレンムトスル船舶ハ他船ニ向テ船尾ヨリ白燈ヲ表示シ又ハ閃火ヲ發スヘシ  
本條ニ從テ表示スヘキ白燈ハ豫メ船尾ニ掲ケ置クヲ得然レトモ此「ノ」燈ハ少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノニシテ常ニ不同ナキ亮明ノ光ヲ發シ鍼盤ノ十二點間ヲ照スヘク製造シ船ノ正後ヨリ左右ヘ六點間宛射光

ノ及フヘキ様隔板ヲ裝置シ成ルヘク舷燈ト同一ノ高サニ掲クヘシ  
第十一條 長サ百五十尺未満ノ船舶碇泊中ハ前方ノ最モ見得易クシテ船體上ヨリ二十尺ヲ超エサル所ニ白燈一個ヲ掲クヘシ此「ノ」燈ハ常ニ不同ナキ亮明ノ光ヲ發シ周囲少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノタルヲ要ス

## 四

以上四十尺以下ノ所ニ前項ノ白燈一個ヲ掲ケ且ツ船尾若クハ其「ノ」最寄ニ於テ前方ノ燈ヨリ少クモ十五尺下方ニ同種ノ白燈一個ヲ掲クヘシ本條船舶ノ長サハ本船籍證書面ノ長サニ據依ルヘシ  
船路若クハ其「ノ」最寄ニ於テ乘揚ケタル船舶ハ本條白燈ノ外尙ホ第四條「第一」項ニ規定シタル紅燈二個ヲ掲クヘシ

第十二條 各船他船ノ注意ヲ喚起スル爲必要ナリトスルキハ本法ニ規定シタル船燈ノ外尙ホ閃火ヲ發シ或ハ難船信号ト混同セサル爆裂信号ヲ發スルヲ得

第十三條 本法船燈ノ規定ハ二艘以上ノ軍艦又ハ軍艦ニ護送セラル、船舶ニ増掲スル列位燈及信號燈ニ關シ各國政府ニ於テ特ニ制定シタル規則ノ施行ヲ妨ケス又船舶所有主ニ於テ其「ノ」國政府ノ許可ヲ受ケ登簿公告ノ手續ヲ經テ私用スル識別信號ノ使用ヲ妨ケス

第十四條 汽船晝間ニ帆ノミヲ以テ運轉スルモ其「ノ」烟突ヲ引下ケサルトキハ前方ノ最モ見得易キ所ニ直徑二尺ノ黒珠若クハ黒色形象一個ヲ掲クヘシ

## 霧中信号

第十五條 航行中ノ船舶ニ關シ本條ニ規定シタル信號ヲ爲スニハ左ノ信號器ヲ用フ「ウ」ヘシ

## 汽船ハ汽笛若クハ汽角

本條中長聲トハ四秒乃至六秒時間ノ發聲ヲ謂フ

汽船ハ汽力其「ノ」他之ニ代用スヘキモノニ因リ發聲スル適當ノ汽笛若クハ汽角ヲ音響ノ妨害物ナキ所ニ裝置シ且ツ號鐘及機關ノ作用ニ因リ發聲スル適當ノ霧中號角ヲ備フヘシ  
霧中降雪其「ノ」他暴雨中ハ晝夜ノ別ナク左ノ各號「項」ニ規定シタル信號ヲ爲スヘシ

一 汽船航行中ハ二分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ長聲ヲ一發スヘシ  
二 帆船航行中運轉ヲ止メテ速力ヲ有タルトキハ二分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ長聲ヲ二發スヘシ但シ其「ノ」二發ノ間隙ハ大約一秒時タルヲ要ス

三 帆船航行中ハ一分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ右舷開ナレハ一聲ヲ發シ左舷開ナレハ二聲ヲ連發シ船ノ正横後ニ風ヲ受ケタルトキ

ハ三聲ヲ連發スヘシ

船舶碇泊中ハ一分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ大約五秒時間劇シ  
ク號鐘ヲ鳴ラスヘシ

船舶普通ノ碇泊場外又ハ航行中ノ船舶ニ障礙ヲ及ホス處アル場所  
ニ碇泊シタルトキハ汽船ナレハ汽笛若クハ汽角ヲ用ヒ「井」一分時

ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ長聲ヲ二發シ直ニ號鐘ヲ鳴ラスヘシ又  
帆船ナレハ霧中號角ヲ用ヒ「井」一分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ  
二聲ヲ發シ直ニ號鐘ヲ鳴ラスヘシ

他船ヲ引キテ運航スル船舶ハ本條「第一號項」及「第三號項」ニ  
規定シタル信號ノ代リニ二分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ三聲ヲ  
連發シ即チ長聲ヲ一發シタル後直ニ短聲ヲ二發スヘシ又他船ニ引

カレテ運航スル船舶モ此ノ信號ヲ爲スハ妨ナシト雖モ他ノ信號  
ヲ爲スヘカラズ

航路ニ餘地アリテ他船ノ航過スルニ障礙ナキコトヲ他船ニ通知セ  
ントスル汽船ハ短長短ノ三聲ヲ連發スルヲ得但シ其ノ三聲ノ間  
隙ハ大約一秒時タルヲ要ス

海底電信線ノ布設若クハ引揚ニ從事スル船舶近寄り來ル他船ノ霧  
中信號ヲ聞キタルトキハ三長聲ヲ連發シテ之レニ應スヘシ

船舶航行中運轉自由ヲ得スシモ本條「前數項」ニ規定シタル信號ヲ爲  
スヲ要セス然レトモ其ノ信號ヲ爲サルトキハ一分時ヨリ多カラサル

サルカ又ハ本法ニ遵テ運轉シ能ハサルトキニ際シ近寄り來ル他船  
ノ霧中信號ヲ聞キタルトキハ四短聲ヲ連發シテ之ニ應スヘシ

總積量二十噸未満ノ帆船ハ必スシモ本條「前數項」ニ規定シタル信號ヲ爲  
スヲ要セス然レトモ其ノ信號ヲ爲サルトキハ一分時ヨリ多カラサル

間隙ヲ以テ適宜他ノ音響信號ヲ爲スヘシ

霧中速力 方

第十六條 霧中降雪其ノ他暴雨中ハ各船現時ノ状況ニ注意シ適度ノ速力

ヲ以テ進行スヘシ

汽船其正横ヨリ前面ニ方リテ他船ノ霧中信號ヲ聞キ其ノ所在ヲ定メ得  
サルトキハ成ルヘク機關ノ運轉ヲ止メ全ク衝突ノ虞ナキニ至ル迄其ノ  
運航ニ注意スヘシ

霧中速力 方

衝突ノ危険ハ其ノ現況ニヨリ我船ニ近寄リ來ル他船ノ方位ヲ看守シテ  
之ヲ豫知スルヲ得若シ其ノ方位慥ニ變更スルヲ認メサルトキハ危險ア  
ルモノト知ルヘシ

ノ如ク他船ノ航路ヲ避クヘシ

一杯ニ開カサル船ハ一杯ニ開キタル船ノ航路ヲ避クヘシ  
二 左舷ニ一杯ニ開キタル船ハ右舷ニ一杯ニ開キタル船ノ航路ヲ避ク

一杯ニ開カサル二艘ノ船、風ヲ受ケル舷同シカラサルトキハ左  
舷ニ風ヲ受ケタル船ヨリ他船ノ航路ヲ避クヘシ

一杯ニ開カサル二艘ノ船、「風ヲ受ケル舷同シキトキハ風上ノ船  
ヨリ風下ノ船ノ航路ヲ避クヘシ

船尾ヨリ風ヲ受ケタル船ハ他船ノ航路ヲ避クヘシ

トキハ兩船トモ鍼路ヲ右舷ニ轉シ互ニ他船ノ左舷ノ方ニ替ハシヲ行ク  
過

トキハ兩船トモ鍼路ヲ右舷ニ轉シ互ニ他船ノ左舷ノ方ニ替ハシヲ行ク  
過

トキハ兩船トモ鍼路ヲ右舷ニ轉シ互ニ他船ノ左舷ノ方ニ替ハシヲ行ク  
過

トキニハ適用スヘカラズ

本條ヲ適應用スヘキ場合ハ兩船共ニ正シク真向又ハ幾ント真向ニ行逢  
ヒタルトキ即チ晝間ニアリテハ我船ノ檣ト他船ノ檣ト一直線又ハ幾ント  
一直線ニ見ルトキ夜間ニアリテハ互ニ他船ノ兩舷燈ヲ見ルトキニ限ル  
ヘシ

本條ハ晝間他船ノ我鍼路ヲ横切リテ我船ノ前面ニ見ルトキ又ハ夜間我  
船ノ紅燈他船ノ紅燈ニ對シ或ハ我船ノ綠燈他船ノ綠燈ニ對スルトキ又ハ  
我船ノ前面ニ綠燈ヲ見シテ紅燈ヲ見或ハ紅燈ヲ見シテ綠燈ヲ見ルト  
キ又ハ綠紅ノ兩燈ヲ我船ノ前面ヨリ他ノ位置ニ見ルトキハ適用スヘカラ  
ス

第十九條 二艘ノ汽船互ニ航路ヲ横切リ衝突ノ虞アルトキハ他船ヲ右舷ニ  
見ル船ヨリ他船ノ航路ヲ避クヘシ

第二十條 帆船ト汽船ト互ニ近寄リ衝突ノ虞アルトキハ汽船ヨリ帆船ノ航  
路ヲ避クヘシ

第二十一條 本法航方ニ據依リ一船ノ内一船ヨリ他船ノ航路ヲ避クルト  
キハ他船ニ於テ其ノ鍼路及ヒ速力ヲ保ツヘシ

第二十二條 本法航方ニ據依リ他船ノ航路ヲ避クヘキ船ハ成ルヘク他船  
ノ前面ヲ横切ルヘカラズ

第二十三條 本法航方ニ據依リ他船ノ航路ヲ避クヘキ汽船ハ他船ニ近寄  
リタルトキ時宜ニ應シテ速力ヲ緩メ若クハ運轉ヲ止メ又ハ後退スヘシ

總テ他船ノ兩舷正横後ノ二點以外即チ夜間ニアリテ舷燈ヲ見難キ位置ヨ  
リ其ノ船ヲ追越サンストスル船舶ハ之ヲ追越船トナ「爲」シ其ノ後兩船  
ノ位置ニ變更ヲ來スモ其追越船ヲ以テ本法ノ航路横切船トナ「爲」サス故  
ニ其ノ船ハ他船ヲ全ク追越シ了ル迄マテ他船ノ航路ヲ避クヘキモノ  
トス



リマスカラ、一讀シテ明瞭ナルモノデアル、今一ツハ始メテ出シタル議案ニ  
アラズシテ、昨年モ此通リノ議案ヲ出シテ、過半數ノ議會ノ賛成ヲ得タ、今年  
モ亦ソレ丈ノ賛成ヲ得テ居ル、誠ニ一見シテ疑義ノ存セザル議案デゴザリマ  
スカラ、吳モ委員ニ付スルノ手數ヲ用ヒズシテ、直チニ決議ヲ望ミマス、  
斯様ナル譯デゴザリマスカラ、先日ノ説明ノ大意ト並ニ今日盡シタル説明ニ  
依クテ説明者ノ希望ヲ容レテ、幸ニ一次會二次會三次會ト云フモノヲ、今日  
ニ決議セラレンコトヲ望ミマス譯デゴザリマス

○天埜伊左衛門君(二十七番) 一寸御尋ヲ要シマス、此法案ノ文章ヲ見マス  
ト市部會郡部會ヲ置キタル郡ニ於テハト云フコトガゴザリマスガ、唯今ノ說  
明ニ依クテ見マスレバ、此文字ノ通りニ今現在ニ市部會郡部會ヲ置イタ府縣  
ニ於テ、此法案ヲ適用スル、斯ウ云フ考デゴザリマスカ

○島田三郎君(百五十一番) 左様、其通り

○天埜伊左衛門君(二十七番) 而シテ他ノ各縣ニハ是ハ用ヒヌノデスカ  
○島田三郎君(百五十一番) 未ダ事實ノ上ニ於テ各縣ニ適用スヘキコトガ成  
立テ居ラムト思フ

○天埜伊左衛門君(二十七番) 若モ適用スペキ所ガアツタナラバ、之ニ修正  
ヲ加ヘナケレバ、置クコトハ出來ナイノデアリマスガ、此文章ノノ上カラ私  
サウ解シ兼ネルノデアリマス

○島田三郎君(百五十一番) 文章ニ書イテアル通ノ意味デ、全體是ハ急ヲ要  
スル追加ノ一項デゴザイマス、府縣制ニ就イテハ全般ノ改正モ出テ居ルコト  
デゴザイマスカラ、全般ニ就イテノ施行案ハ成立ツト思ヒマス、此成立ツテ  
居ルモノ、急ニ應ズル積リデゴザイマス

○天埜伊左衛門君(二十七番) 一例ヲ舉クレバ、今成立ツテ居ル所ノ縣ニ、  
之ヲ用井ルト爲ルト、從前アル所ノ會議ト分別スルノデアルカ、但ハ此法案  
ヲ實施シタル後ニ於テ新ニ組織シタ會議ニ於テ、市郡ノ經濟ノ分別ヲ要スル  
ノデアルカ

○島田三郎君(百五十一番) フレハ府縣制ガ新ニ出テ府縣制ノ下ニ成立ツタ  
モノデアリマスカラ、新ノ會議デゴザイマス

○天埜伊左衛門君(二十七番) 其御辯明ニ依ルト、現ニ分別シテアルモノモ  
之ヲ布クト同時ニ、一旦ハ行政經濟ノ有様ヲ爲シテ、而シテ新ニ組織シタ會  
議ニ於テ、ソレヲ分ルト云フコトニ承知シテ宜シウゴザイマスカ

○島田三郎君(百五十一番) 實地ニ於テハ變化ハ起ラナイト思ヒマス、法律  
ノ議長(星亨君) 二十七番

(天埜伊左衛門君演壇ニ登ル)

○天埜伊左衛門君(二十七番) 諸君、私ハ此處へ登ル丈ノ長イコトハ申シマ  
セヌノデゴザイマスカラ、御聽取リノ宜イヤラニテヨイト簡單ニ此處デ御清  
聽ヲ煩ハシマス、唯今ノ問題ニ就イテ提出者ハ極ク簡單ノコトデモアリ、文

章モ短イカラ、利害ノアル所ハ能ク分クテ居ルト云フ意ヲ以テ、是ハ直チニ  
一次會二次會ヲ通過ラシタイト云フ希望ヲ達ベラレマシタガ、成程此問題ニ  
就イテハ極ク簡單ノヤウニモ思ハレマスガ、併シ之ヲ實施スル所ノ地方ニ對  
シテハ、隨分大ナル關係ヲ有シテ居リマス次第デゴザイマシテ、既ニ此理由  
書ニ依クテ見マスレバ、明治十四年以來市郡ノ經濟ヲ分クタル各縣ハ各市郡  
ムノデゴザイマス、併ナガラ提出者ハ過日申述ベマシタ如ク、悉ク市郡經濟  
ノ宣シキヲ得テ、圓滑ニ其縣ハ進歩シツ、アルト云フ譯デハナインデス、デ  
此理由書ノ中ニ三縣ヲ擧ゲテ其他諸縣ト云フ文字ガゴザンスケレドモ、僅ニ  
市郡ノ經濟ヲ分別シテ、現在アル縣ハ四縣デアルンデス、廣島兵庫神奈川愛  
知其中愛知ノ如キ此經濟ノ分別ノタメニ、其當時ニ至シテハ別ニ市郡ノ上ニ  
軋轢等ハナカツタシテアリマスガ、行政者ガ不當ノ處置ヲ爲シタルヨリ、一  
方ハ之ヲ寄貸トシ、一方ハソレニ反シテ遂ニ市郡ノ調和ヲ失ヒ、數年間縣會  
ニ於テ無事ニ閉場ヲ告ケタコトハナインデアリマス、斯ノ如ク一ノモノヲ分  
テハ、自ラ互ニ相牽制スルト云フコトハ勢ノ免レザル所デゴザイマスカラ、  
良キ慣習ノ附キタル縣ニ於テハ、遽ニ法律ヲ以テ破ルト云フコトハ、提出者  
ノ申述ル通宜シクアリマセヌガ、以上述べマスガ如ク、不良ノ慣習ノ附キタ  
ル縣ハ、尙ホ又押ヘテ此法案ヲ實施スルト云フ如キ場合デハ、遂ニ其縣ノ發  
達進歩ヲ圖ルコトガ出來ナイ次第ニナルンデス、ソレ故ニ私ハ諸君ニ希望ス  
ルシデス、既ニ此法案ト同性質ノ法案ガ、私共外七名カラ提出ニナツテ居ル  
次第デアリマスレバ、願クハ之ヲ特別委員ニ付シテ我ミノ提出シタル法案ト  
共ニ十分ノ審査ヲ遂ゲテ、尙ホ本會ニ報道セラレタイト云フ希望デアルンデ  
ゴザイマス、(贊成々々ト呼ブ者アリ)而シテ特別委員ハ九名ニシテ矢張全院  
ヲ通シテ選ムコトニ致シタイト思ヒマス、ドウカ御賛成アランコトヲ希望致  
シマス

(平山靖彦君演壇ニ登ル)

○議長(星亨君) 二百四十三番

○平山靖彦君(二百四十三番) 諸君、私ハ此法案ニ對シマシテハ熱心ナル贊  
成者ノ一人デゴザイマス、此法案ノ修正ノ理由ハ、先日以來島田君ガ縷々陳  
辯ニナリマシタカラ今多言ハ須井マセヌケレトモガ、尙ホ天埜君ノ反對ノ  
御說モ出マシテゴザイマスカラ、簡単ニ一言ヲ致シテ置キマス、御承知ノ通

(二四)

郡トハ別々ニ對立シテ、各別ノ經濟ヲ爲シテ居リマシタ、郡ノ全體ニハ御承知ノ郡奉行、或ハ代官ト云フモノヲ置キマシテ、郡治ヲ爲シテ居ル、又市ニ就キマシテハ町奉行ト云フモノヲ置イテ、司法行政ノ警察カラ民事ノ裁判ニ至ル迄、悉ク町奉行ト云フ者ノ權内ニ在ツテ、市政ヲ爲シテ來テ居リマス、畢竟是ハ古來カラ風俗ナリ、人情ナリ、又營業ナリ、總テ生計ノ有様ヲ郡ト全ク異ニ致シテ居リマシテ、從ツテ其利害得失ノ趣ヲ同フセザルガタメニ、此制ヲ異ニシタルモノト心得マス、然ルニ明治十一年此府縣會規則ヲ發布セラレマシテ、郡市ノ經濟ト云フモノヲ混合シテ、彼是ノ分別ナク共通シマシタガタメニ、市ハ大ニ其不便不利ヲ感ジテ、屢々其實況ヲ其筋ニ開申シマシテゴザイマス、其末到底は經濟ハ分離シナケレバナラムト云フコトガ、政府モ氣ガ付キマシテ、去ル明治十四年ニ至リマシテ、區郡部會規則ヲ定メテ、爾來今日ニ至ル迄郡ト對立シテ居ルノデゴザイマス、然ルニ府縣制ヲ見マスルノニ、今又之ヲ共通セシメントスルノ組織ゴザイマス、是ハ何等ノ趣意ゴザイマスカ、實ニ我ハ一向了解ニ苦シニ居リマス、元來法ハ事情ニ適シ、……スレバコソ施政上ノ運用ノ妙ヲ得ラレル筈デアルノニ、事情ニ戻リ事實ニ適セヌト云フコトニナツタ時ニハ、忽チ此人民ハ其弊ニ堪ヘヌ譯デ、所謂法ハ有ルハ無キニ優ルト云フノ嘆ヲ起スニ至ルコト、心得マス、此法律即チ府縣制ヲ定メラレマスニ當リマシテ、斯ノ如キ必要缺クベカラザルノ事情ヲ加ヘザルハ、抑、立法者ガ是ハ注意ガ足リマセナシダノデゴザイマセウカ、殊更ニ或ハ加ヘナシダノデゴザイマセウカ、ソコハ存シマセヌケレドモ、何レニシテモ是ハ法律ノ缺點デ、斷ジテ是ハ不備デアルト言ハナケレバナラスト考ヘマス、若モ此儘ニ法律ヲ修正セズシテ施行シタル曉ニハ、唯今神戸ニ致シテモ廣島ニ致シテモ、御承知ノ彼ノ水道ノ敷設、悪水路ノ改良ノ如キハ、獨リ該市ノタメニ必要ナコトデゴザイマシテ、將來是非之ヲ起サナケレバナラヌ譯デ、其ナラスト云フ事業、假リニモ幾万圓或ハ幾十万圓ノ巨額ナル費用ヲ要スルモノデゴザイマス、然ルニ之ヲ利害同シカラザル所ノ郡ト聯帶共通ノ經濟デドウシテ行フト云フコトハ、決シテ是ハ出來得ベカラザルコトデゴザイマス、現ニ之ヲ舉ゲテ申シマスルト、御承知ノコトデゴザイマセウ、兵庫縣ニハ從來神戸市ニ商業學校ガゴザイマス、其商業學

校ノ經費ハ郡市聯帶地方稅ノ支辨ニ致シテゴザイマス、處ガ毎年此縣會デハ全廢ノ議論ガ餘程八釜シウゴザイマシタ末ニ、昨年通常縣會ニ於テ郡部ニハ關係ガ少ナイカラト言ッテ、遂ニ之ヲ廢シマシテゴザイマス、處ガ此市部會ニ於テハ神戸市ニハ是非是レハ必要デアルカラト言ッテ、遂ニ之ヲ市部ノ經濟ニ移シマシテ、幸ニシテ廢核ニ至リマセナシダデゴザイマス、若シモ之ヲ共通經濟デゴザイマシタナラバ、實際は如何トモ致方ハゴザイマセヌ、斯ノ如キコトデスマラモ事情ヲ異ニシ、利害ヲ同ジフ致シマセヌト、マア斯ノモノデゴザイマス、況ヤ事業ノ大ニシテ巨額ノ費途ヲ要スル彼ノ水道工事ノ如キニ至リマシテハ、彼ノ對岸ノ火事ヲ見ルガ如キ、關係ノナイ郡部ガ

○議長(星亨君) 諸君ニ御諮詢申シマスガ、今迄ノ例ニ依ルト委員說ガ出テモ討論終結ガナケレバ往カナイ様ニナツテ居リマスガ、委員說ガ出タ以上ハ先決問題トシテ其決ヲ取ルガ正當ト考ヘマス、サウスレバ其委員說ガ成立テバ直チニ委員ニ付スル、成立タナケレバ又討論ヲスルコトニシタイ

○魚住逸治君(十五番) 私が通告シテ居リマスガ、委員說ハ餘理考ヘナケレバナラヌト思ヒマスカラ、クダくシク議論ハ致シマセヌガ、通告ノ順序ガ來タナラ、委員說ニ附イテ……

○議長(星亨君) 今諸君ニ御諮詢申シタノガ宜シケレバ、委員說ヲ先キニ取ラナケレバナラナイト思ロマス、今迄ノ例ハサウデヘナイガ、斯ウスルト議

事ノ運セモ大變宜シ、且ツ順序ニ於テモ至當ト考ヘル

(異議ナシ)

異議ナシト呼ブ者アリ」

○太田實君(百四十番) 私ハ矢張本案賛成者ノ一人デアリマス、本案ハ賛成

者ノ記名ヲ見ルト百五十幾人デ、既ニ記名シタ丈デ過半數ニ成ツテ居ル、然

ルニ天埜君カラ反対ヲ述ベラレ、加藤君モ委員ヲ置クコトヲ述ベラレ、斯ノ

如キ法案ハ數万ノ休戚ニ關係スルモノアリマスカラ、急イデ一次會二次會

ト云フ様ニ、サウ急ガズニ……

○議長(星亨君) 委員說ガ出テ委員ヲ置クト云フ說ガ成立ツテ居レバ、即チ

決ヲ取ルヨリ外ナイ、委員說ニ同意ノ方ハ起立

起立者 少數

○議長(星亨君) 少數、依ツテ委員說バ成立チマセヌ

(討論終結ニ賛成々々ト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 討論終結テ宜シウゴザイマスカ

(異議ナシ)

異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) 討論ハ終結致シマシタ

○倉田準五郎君(八十八番) 先刻百五十一番ノ述ベタ如クニ存ジマスガ、本

案ハ簡単ナ案デゴザイマスシ、唯今賛成者モ百四十七名、提出者ヲ併セテ……

○議長(星亨君) 討論終結デアルカラ、決ヲ採リマス、二讀會ヲ開クヤ否ヤ

ノ決ヲ採リマス、二讀會ヲ開クニ同意ノ方ハ起立ナス、テ下サイ

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數、依ツテ二讀會ヲ開クコトニ決シマス

○魚住逸治君(十五番) 本案ハ最前島田君ノ述ベラル、如ク、又太田君ノ演

說サレタ如ク、此案ハ治縣ニ對シテ急務デアルコトハ諸君モ御了知ニナクテ

居ルカラ、二讀會ヲ省略シテ本日確定サレンコトヲ希望致シマス

○議長(星亨君) 二十七番、修正說ガアルナラ、御ヤンナス、テ宜シウゴザ

イマス (贊成々々ノ聲起ル)

○天埜伊左衛門君(二十七番) 私ハ修正說ガアルカラ、出シテ宜シウゴザリ

マスカラ

○議長(星亨君) 二十七番、修正說ガアルナラ、御ヤンナス、テ宜シウゴザ

イマス (二讀會デスカト呼ブ者アリ)

○天埜伊左衛門君(二十七番) 二讀會ヲ開クト云フコトニナッテカラ、修正說

ヲ出シマス

○議長(星亨君) サウスルト三讀會ヲ開クヤ否ヤヲ取ツテ……即チ三讀會ヲ

省略スルト云フ動議ガ出テ居リマスカラ、三讀會ヲ省略スルト云フコトニ同

意ノ方ハ、起立ナス、テ下サイ

起立者 多數

カラドワデス、確定議ト云フコトニ就イテ異議ガアリマセヌカ

(異議ナシ)

異議ナシノ聲起ル)

○議長(星亨君) 確定ノコトニ決シマス、(拍手)是ヨリ本日ノ議事日程第九

ニ移リマス

### 第九 地租條例改正案

### 第一讀會ノ續(特別委員)

○伊東祐賢君(二十二番) 地租條例改正法案ノ審査特別委員會ノ經過及ヒ其結果ヲ報告致シマスル、委員會ハ先月二十七日以來數回開會ヲ致シマシテ、

本月三日ノ會ニ於キマシテ結了ヲ告ゲマシタコトデゴザイマス、其結了ノ當

日即チ本月三日ニ於キマシテ、本案ヲ維持スル者ハ僅ニ一名デゴザイマシ

テ、其他ハ悉ク不同意論者デアリマシテ、遂ニ大數ヲ以テ本案ヲ廢除スルト云フコ

ト云フコトニ決定ヲ致シマシタル理由ハ、既ニ諸君ノ御手許ニモ配付ニナツテ居リマ

スル通り、歲出入ノ上ニ其餘地ガアリマセヌ故ノ理由デアリマシタコトデゴザイ

マス、其餘地ノナイト認メマスルモノハ、二十四年度ノ歲入歲出ノ豫算ヲ標

準ト致シマシタコトデアリマス、二十四年度ノ豫算ニ於キマシテ歲入ノ歲出ヲ超

過スルコトハ六百四十五万圓餘ニアリマシタ、其中百萬圓ト申スモノハ越後

鐵道デアリマスル、是ハ自ラ財源ノ別ニ組入レマシタモノデアリマシテ取除

ケト致シマス、尙ホ又百萬圓ト云フモノハ豫備費二百万圓ノ中カラ百萬圓ヲ

減ジタルモノデアリマス、歲出總計七千七百萬圓ノ中ニ對シマシテ豫備費

百萬圓ト云フモノハ、何分釣合ヲ得マセヌコトデアリマスルテ、將來此豫備費

ヲ百萬圓ニ致シテ置クト云フコトハ、逆モ出來難イコト、考ヘマス、サウ致シ

マスルト差引四百四十五万圓ノ先づ歲入ヨリシテ歲出ガ減額スル割合ニナッ

テ居リマス、尤モ二十六年度ノ豫算ハ未定ノコトデゴザイマス、故ニ豫メ見据

ハ立チマセヌケレドモ、先づ今日ノ場合二十四年度ノ歲入歲出ノ豫算ヲ以テ

目安ニ致シマシタコトデアリマスル、然ルニ此田畠地租五厘減シト致シマス

レバ、其歲入ヲ減ズルコト六百八十五万九千八百五十六圓六十錢トナリマ

ス、又之ヲ三厘減シニ致シマスルトキニハ、四百十一萬五千九百十三圓九十

六錢ニ相成リマスルコトデゴザイマス、處テ二十四年度ノ豫算ノ所カラ標準

ト致シマスルト、其減ズルモノ四百四十五万圓ヲ以テ、此輕減ニ充シルト云フ

コトハ甚ダ爲シ得難イコトデアリマスル、加之ナラズ地價特別修正ト云フコ

トモ出テ居リマスル、又今後ノ運命如何ハ存ジマセヌガ、監獄費國庫支辨

ト云フコトモアリマス、ソレコレ通算致シマスレバ、何レトモ一千九十万圓

餘ノ金ガ要ルコトニナツテ居リマスルコトデ、斯ル次第デゴザイマスレバ、

民力休養ト云フコトハ固ヨリ希望スル所デアリマスルケレドモ、前段申述

ト如ク、國庫經濟ノ上ニ於キマシテ到底爲シ得ラレザルコト故ニ、萬已ムヲ

得ズ本案ヲ廢除スルコトニ立至リマシタ次第デゴザイマス、然ラバ他ニ財源

ヲ求ムルコトモアルマイカト種々審査ヲ致シテ見マシタケレドモ、別段是トテモ求ムベキ財源ハ見出シマセス、或ハ所得税ヲ現今三百圓ト云フコトヲ百五十圓或ハ百圓ト致シテ見タ所ガ、現今ノ所得税ガ僅ニ百万圓餘ニ過ギヌ所ヘ、幾分カ低度ノ所ヘ持込ミマシタ所ガ、何レトモ四五十萬圓ニ過ギナイコト、考ヘマス、又政費節減ノ上ニ於キマシテモ、國防ノ擴張或ハ事業ノ發達モ致サネバナラヌコトデ、サウ容易ニ減シ得ラル、モノデ、アルマイト考ヘマスカラ、委員會ニ於キマシテハ、遺憾ナガラ本案ヲ廢除スルノ止ムヲ得ザルニ出マシタコトゴザイマス

○岩城隆常君(八番) 唯今委員長ノ演説ニナリマシタコトハ、要スル所ハ此地租減輕ハ一國ノ經濟ノ許サムル所ト認ムルカラシテ、之ヲ不可トスルト云フ御趣意デアリマスガ、併シ是ハ經濟ノ許サヌ所ハ致方モナイデゴザイマスガ、大體地租ノ減輕ヲスルト云フコトハ、即チ致シタイ譯デアルケレドモ、ドウモ經濟上仕方ガナイカラシテ、之ヲ不可トスルト云フ意見デアリマスルカ、即チ此減輕ノコトハ實ニ民力休養ノ點カラ言ヘバ、セネバナラヌ譯デアルケレドモ、如何センドウモ經濟ガイカヌカラト云フ全體ノ意味デゴザイマスカ

○伊東祐賢君(二十二番) 全ク八番ノ御問ノ通デアリマス

○正木安左衛門君(二十一番) 私モ一寸質問致シマス、成程此減租ノコトハ宜イコトデアルガ、財源ガ足ラナイ——斯ウ云フヤウニ承リマシタガ、併ナガラ今委員長ノ御辯明デ考ヘマスルト、二十四年度ノ金ハ是ミ、尙ホ二十四年度以前ノ剩餘金ト云フモノガアルデアラウト存ジマス、ソレ等ハ別物ニシテゴザイマスカ……

○伊東祐賢君(二十三番) 剩餘金ノ所モ取調べテ見マシタガ、如何ニセ二十三年度以降年々剩餘金ハ出來テ居リマスルガ、併ナガラ是ハ經常ノ歲入トハ見ラレマセヌコトデ、全ク取除ケタコトゴザイマス

○加藤勝彌君(百四十八番) 今委員長ノ御報道ヲ聞キマスルト、其要旨ハ財源ガナイニ依テ應ズルコトガ出來ナオト云フコトゴザイマスガ、先キニ委員會ノ會議中ハ或ハ財源ガナカツタカモ知レナイ、如何トナレバ特別地價修正ト云フモノ、運命ガ全ク極ラナカツタ然ルニ今日ハ遂ニ貴族院ニ於テ勘定、何時モ此地租問題ニ關係ヲシテ參リマス、先ツ先キニ之ニ關係ノナイト云フコト、殘リ金ノ勘定ヲ先キニ申シマス、此殘リ金ノ勘定ハ諸新聞ニモ出テ居リマスデ、荒増ハ御承知デゴザリマセウ、則チ明治二十一年二年三年ト此年度ノ殘餘金此殘餘金デ、先ニ承諾ニナリマシタ所ノ震災地ノモノヲ引キマスルト、(此時問題外ト呼ブ者アリ)問題外デナリ、現在残リマシタノガドノ位アルカト云フト、七十四万幾ラシカナインデス、是ニハ此中ニハ引クベキ筈ノモノデアルトカナイトカ、議論ノアルモノガアリマシテ、則チ十九万七千幾フト云フモノガ其中ニ引去ツタモノデゴザイマス、是ガ二十一年二年三年ノ殘餘金デゴザリマスノデス、此殘餘金中ニ、スッカリ此金ヲ拂ヒ使ツタ金デアルカドウカト云ヒマスルト、未ダ使ヒ拂ハナイノガアルノデゴザリマス、其使ヒ拂ハナイ金ハ、此議場デ議決ニナリマシタ所ノ二十四年度ノ起業ノ軍艦製造費ト云フモノニ對シテ、二十五年六年ニ支出スル金ガ餘テ居ルノデゴザリマス、過日カラ關係ノアル議論、即チ尾崎君ノ議論、井上角五郎君ノ議論、澤山誤解ヲシテ居ル人ガゴザリマス、(誤解セズト呼ブ者アリ)誤解ヲシテ居ラヌト云フコトナラ、此事ハ述べマセヌガ(分ツタト呼ブ者アリ)諸君ガ御承知ナラ、既ニ此殘餘金ト地租問題ノ關係ノナイト云フコトハ私ハソ

條例改正案ガ後迴ハシニナツタモノダカラ、代金ガナイト云フ話デアリマスガ、ソレハ大ナル間違デアラウト思フ……

○議長(星章君) 質問デハナイ、ソレハアナタノ一個ノ御考デスカラ  
○大垣兵次君(二百七十八番) ソレデハ委員長ガ御調ベニナツタ所丈ヲ……  
イ事デアル、即チ私ハ質問デナイト認メマス

(田中源太郎君演壇ニ登ル)

○田中源太郎君(二百九十二番) 私ハ此地租條例改正案ニ反対ヲ致シマスモノデゴザリマス、(此時短カク願ヒマスト呼ブ者アリ)チット長クナリマス、ナ今短カクト云フ御説ガ段々ゴザリマスデ、先キニ長クト云フコトヲ申シテ置キマス、長ク言ハナケレバナラヌ問題デゴザリマスカラ、長ク言ヒマス、ナゼナラバ此地租條例改正ノ問題ハ第一期ノ帝國議會ニ登リマシテ、多數ノ贊成ヲ得テ可決シタモノデゴザリマス、第二期ノ議會デモ亦此問題ガ出マシテ之モ可決シマシタコトゴザリマス、然ルニ今回ニ至リマシテ之ヲ私共ガ否決スルト云フ意見ヲ採ルモノデゴザリマス、此問題ト云フモノハ實ニ御承知ノ如ク、此日本ノ稅源ノ中デ地租ト云フモノガ一番根源稅ニナツテ居ルノデゴザリマス、ソレデ此問題ハ議スルノハ一時限リノモノデナクシテ、將來國家ノ財政上ニ大關係ヲ及ボスモノデゴザリマスカラ、諸君ハ固ヨリ國家ノ財政上ヲ能ク御承知デハゴザリマセウガ、私ノ取調べマシタ所丈ヲ述ベテ、サウシテ之ニ反対スルト云フコトノ趣意ヲ述ベヤウト思ヒマス、少シク長クナリマス、デゴザリマス、先ツ此地租問題ニ對シテ第一ニ先日來諸般ノ支出ノ方ノ議案ニ對シマシテ、何時モ引例ニ出マシタノハ、二十一年以來ノ殘リ金ノ勘定、何時モ此地租問題ニ關係ヲシテ參リマス、先ツ先キニ之ニ關係ノナイト云フコト、殘リ金ノ勘定ヲ先キニ申シマス、此殘リ金ノ勘定ハ諸新聞ニモ出テ居リマスデ、荒増ハ御承知デゴザリマセウ、則チ明治二十一年二年三年ト此年度ノ殘餘金此殘餘金デ、先ニ承諾ニナリマシタ所ノ震災地ノモノヲ引キマスルト、(此時問題外ト呼ブ者アリ)問題外デナリ、現在残リマシタノガドノ位アルカト云フト、七十四万幾ラシカナインデス、是ニハ此中ニハ引クベキ筈ノモノデアルトカナイトカ、議論ノアルモノガアリマシテ、則チ十九万七千幾フト云フモノガ其中ニ引去ツタモノデゴザイマス、是ガ二十一年二年三年ノ殘餘金デゴザリマスノデス、此殘餘金中ニ、スッカリ此金ヲ拂ヒ使ツタ金デアルカドウカト云ヒマスルト、未ダ使ヒ拂ハナイノガアルノデゴザリマス、其使ヒ拂ハナイ金ハ、此議場デ議決ニナリマシタ所ノ二十四年度ノ起業ノ軍艦製造費ト云フモノニ對シテ、二十五年六年ニ支出スル金ガ餘テ居ルノデゴザリマス、過日カラ關係ノアル議論、即チ尾崎君ノ議論、井上角五郎君ノ議論、澤山誤解ヲシテ居ル人ガゴザリマス、(誤解セズト呼ブ者アリ)誤解ヲシテ居ラヌト云フコトナラ、此事ハ述べマセヌガ(分ツタト呼ブ者アリ)諸君ガ御承知ナラ、既ニ此殘餘金ト地租問題ノ關係ノナイト云フコトハ私ハソ

レデハ述べマセヌ、此現在日本ノ此財政ヲ維持シテ行キマスノニ、一番地租ガ根源稅トナツテ居ル、其根源稅ハ高イト云フ其高イト云フコトハ、ドウシテ高イト云フト、他ノ諸稅ニ比較シテ高イト云フコト、ソレカラ地稅ノ特ニ各國ニ比較シテ高イト云フコト、此二ツガ高イト云フコトニナツテ居リマス成程此他ノ諸稅ニ比較シテ、地稅が高イコトハ固ヨリ高ウゴザリマス、ソレカラ地稅ノ特ニ各國ニ比較致シマシテモ、日本ノ地稅ノ如ク高クハゴザリマセヌ、併ナカシウゴザイマス、又國費ガ左程ニ入レスデモ宜イト云フ折柄ナレバ、ソレデモ宜シウゴザリマセウガ、今日ハサウ云フ時デハゴザリマスマイト思ヒマス、其先ニ委員長ガ御報告ニナリマシタ財源ノナイト云フノハ、即チ私ガ現在ノ國庫ノ經濟將來ニ希望シテ居ル所ノ經濟ノ概略ヲ述べヤウト思ヒマス、現在年々今日ノ所デ、國庫ニ輸入シ入レラベキ年々ノ金額ハドノ位入レラルカト云フト、諸君モ御承知ノ通七千九百万圓カラ八千万圓ト云フノガ收入ノ總高デゴザイマス、其内デ昨年初期ノ議會カラ一期ノ議會ニ於テ査定案ナルモノガ出來マシテゴザイマスガ、現在決シテ居リマス所ハ、先ヅ二十四年度ニ決シマシタ所デ、此決シマシタ所デ六百五十万圓カラ八千万圓ト云フノガ收入コトニ、其額ノ上デハナツテ居リマスガ、其實四百四五十万圓シカ引イタ割合ニナツテ居リマセヌ、此細カイコトヲ述べマスト長クナリマスカラ、其七千九百万圓ニ對スル大體ノ私ノ見込ノ割付ヲ申シマス、今日ナリ尙ホ將來ニ對シテ七千八百万圓ノ中デ三百万圓ト云フモノハ帝室費デ、是ハ少しモ増減ノ出來ナイ分アルト云フコトデゴザイマス、ソレカラ二千万圓ト云フモノハ年々國債ノ償却ニスルト云フコトハ既ニ此議會ノ第一期ノ時ニ、此國債償却法案ト云フモノハ殆ド是認シタモノニ爲シテ居リマス、故ニ此二千万圓ト云フモノハ必ズ國庫ノ歲入中デ引イテ來ナケレバナラヌ、ソレカラ現在ノ陸軍省ノ割合ハ尙ホ一期ノ時ニ諸君ガ是認ナリマシタ陸軍省中ノ近衛兵ヲ補充スルト云フ事柄、要塞砲兵ヲ置クト云フ事柄ノ是認ナリマシタ分ヲ合セマシテ、年々大低要ラウト云フノガ千二百五十三万圓バカリ、是ガ陸軍省ノ費用ニ大低年々要ル食糧ノ高低ハゴザリマシタラ、餘程達ヒモアリマセウガ、今日ノ有様デ以テ見マスルト、一千二百万圓以上三百萬圓ハ必ズ年々陸軍省ノ費用トシテ出サナケレバナラヌト思ヒマス、ソレカラ海軍省ノ費用デアリマス、過日尾崎君ハ全體ノ支出ノ一割一分一厘海軍省ニ出シテ居ルト云フコトヲ述べラレマシタガ、サウハアリマセヌ、現在ノ所今日ノ儘デ、是ニ軍艦ヲ澤山殖ヤシテ常備艦ヲ捨ヘルト云フコトニセヌデモ、目下ノ儘デ殆ド五百六十萬圓ヨリ七十萬圓ノ費用ト云フモノガ海軍省ニ仕拂ハナケレバナラヌジャラウト思ヒマス、万一之ヲ少シク擴張致シマシテ常備艦ヲ増スト云フコトニナリマシタナラバ、必ズ此額デハ濟ミマセヌ、是ハ現在ノ額デゴザイマス、ソレデ此

衆議院ノ過日軍艦ニ對スル御議論中ニ種々有リマンタコトヲ聞キマスト、多クハ海軍擴張ト云フ議論ニ傾イテ居ルヤウデゴザイマス、是カラ推シテ見マス、是ガ今日ノ有様デ、即チ二十四年ノ決議、二十五年度ノ要求額、ソレカラ此査定案其他ノ分ヲ斟酌致シマシテ、文部ノ諸學校ニ八十万圓ノ金ト云フモノハ、格別増減ヲスルコトが出來ズシテ、入レナケレバナラヌジヤラウト思ヒマス、ソレカラ今日ノ目下ノ國有トナツテ居ル、即チ國家ノ財產カラ上ル所ノ林區署デゴザリマス、此山林ニ對スルノ費用今日ニシテ山林ニ十分金ヲ入レテヤツテ居ルカト云フト、未ダ林道ノ方法环ハ一向就イテ居リマス、僅ニ此擴張シカケツ、居ルト云フ位ナ林務ノ有様デアリマス、然ルニ現在ノ儘デヤリマシテモ、林區署ニ使ヒ拂フ所ノ費用ト云フモノハ、凡ソ六万圓ト云フモノガ要ルノデゴザイマス、此林區署ニ使ヒ拂ヒマスル費用ハ六十萬圓デゴザイマスガ、目下官林カラ如何程上ガルカト云フニ、九十五万圓餘上ガツテ居リマスノデゴザイマス、是ハ一方ヲ減ジマスレバ、必ズ一方ノ收入ガ減ズルト云フコトニナツテ來マスカラ、是ハドウシテモ林區署ノ費用ト云フモノハ入レナケレバナラヌモノジヤラウト思ヒマス、ソレカラ遞信省ノ事業費デゴザイマス、遞信省ノ事業ト云フモノハ、宛モ一ノ商賣ヲシテ居ルモノデアルデ、日本ノ今日迄ヤリ來リマシタ、諸省ノ事業ノ中デ、遞信省ノ事業位蹠カズニ真正ニ行シタモノハ——其中ニ多少仕損ナイハアッタカモ知レマセヌガ、遞信省ノ事業ニ就イテ格別大キナ違ヒト云フモノハナインデアリマス、斯クシマスルト是ガ大抵諸君ノ政費節減、——輕減ト云フ方ノ部類ノ中ニ這入ラナイ金デアリマス、是支竝ベマスト、此四千九百七十九萬圓ハ格別年々增減シ得ラレナイ金ガアルノデゴザイマス、サウシマスルト收入ノ額デ格別ノエラウコトノ出來得ナイ金ヲ是支引キマス、增減シ得ラレヌ金ハ如何程カト云フト、二千九百万圓餘ニ成ル、此二千九百万圓ノ中デ之ヲ諸省ニ分配——先づ二十四年度ノ決議、二十五年度ノ要求トヲ比較致シマシテ、各諸省ニ割付ケマシタ、私ノ割付ケマシタノハ、七十萬圓ヲ外務省及在外公館ニ割付ケテ見マシタ、ソレカラ四百八十八圓ヲ三府四十三縣ヲ主トシテ割付ケマシタ、ソレカラ九十萬圓ト云フモノヲ諸方ノ集治監ニ割付テ見マシタ、百十万圓ヲ北海道廳其他北海道ノ諸學校ニ要ル費用ト致シマシタ、（モウソシナコトハ宜シイカラ細カナコトハ述ベナクテモ要ルコトハ要ル引クモノハ引クトシテ宜シウゴザイマスカラト呼ブ者アリ）聽ク御方ハアナタ丈デアリマセヌ、ソレデ百十四万圓ヲ内務省ノ所管ノ諸費ニ充テマシタ、（皆豫算案ニ出テ持シテ居リマスト呼ブ者アリ）全體ヲ……ソレデハ略シマセウ、（此時

ヤルベシモウ少シヤルベシト呼ブ者アリ)是等ノモノヲ割り付ケマスルト、  
經常臨時ニシテ經常費ニ年々充テマスルモノガ、凡ソ一千九百餘万圓ト云フ  
モノニナリマス、此先キニ残リマスルト云フ今千九百万ト申シタ内、多少増  
減伸縮ガ年々アルモノデゴザイマス、サウシマスルト、殘リ金ハドノ位残ル  
カト云フト九百六十万圓残リマス、九百六十万圓残リマシテ少シモ年々臨  
時ノコトヲ致シマセヌケレバ明治三十八年マデニ繼續費ヲ年々仕拂ヒマシテ  
モ六七百万ノ金ハ残リマスノデ、今日ノ臨時費ニ出シマシタ金ノ外、是ヨリ  
何ニモシマセナカツタナラバ、財源ガナイトハ申サレナイノデ、併ナガラ  
此國家ノ明治初年カラ今日マデ國費ニ對スルノ進ミ方、ソレカラ人ノ生計ノ  
進ミ方、ソレカラ國家ノ國務ノ進ミ方ト云フモノヲ取テ見マスルト、年々  
臨時費ガ僅ノ金ヨリナイト云フコトハ出來ナインノデ、既ニ諸君ガ先キニ決議  
ニナリマシテ建議致シマシタ、治水費ノ如キ、以前カラ計畫シマシテ政府ガ  
三百万圓ト云フノ豫定ヲ致シマシタ、木曾川工事ヲ起シマシタ、彼レ丈ノ工事  
ニスラ年々二十餘万石、彼レヲ了リマシテ效果ヲ奏シマシタナラバ二十餘万  
ノ生產ノ達ヒガアル、日本ノ川ハ治メザルベカラサルコトハ、既ニ此第二期ニ  
於テモ諸君ガ滿場一致ヲ以テ建議致シマシタ位、獨リ十二大川十四大川丈デ  
ハゴザイマセヌ、又年々國ニ害ヲ爲シテ居ル諸大川ガ澤山アル、治水費ノ如キ  
必ス愈、調査ガ了リマシタナラバ、年々五十万デモ六十万デモ出シタイ位デゴ  
ザイマス、斯ノ如キ事業ハ隨分澤山、ゴザイマスルノデ、之ヲ今アルカラト云フ  
テ直チニ是ニ取シテ仕舞フコトハ出來ナイ、既ニ委員會デ議決致シマスル時  
分ニハ夫ノ地租特別修正ト云フモノガ衆議院ヲ通りマシタ儘デ、先キニ加藤  
君ノ御尋ノ如クモウ一通報告ヲ仕直サヌカト云フ位デアツタガ、今日ハ貴族  
院デ否決致シタト云フコトデゴザイマス、縦令特別地價修正ガ否決致シマシ  
テモデゴザイマス、此僅ニ八九百万圓残シテ居リマス金ヲ、ドウ云フ傾キ  
デカ監獄費ヲ國庫デ持ツト云フ三百万圓以上要リマス  
(此時モウ止メ給ヘト呼ブ者アリ)地價特別修正法案ガ貴族院デ否決致シマシ  
テモ、此地租ノ輕減ト云フコトハ容易ニスヘカラサルコト、何故ニスベカラサ  
ルコト、云フト、衆議院ガ開ケマシテ段々年ヲ追ヒマシテ日本ニ伸縮スル稅  
源ト云フモノガ出來得マシタナラバ、一年ハ減ラシテ置イテ翌年又政費ノ都  
合デ斯ノ如クシヤウト云フコトヲ決シ得ラレル、マダ今日確定ノ稅ヲ一時取  
除ランマスト、國費ノ伸縮ガアツタトキハ國債ヲ起シカ伸縮ノ稅源ト云フ  
モノガナイ、今日伸縮ノ出來ル稅源ト云フモノハ所得稅ガ少シアリマス、ケ  
レドモ百六万圓カ八万圓ノコトデゴザイマス、如何程物ノ盛衰ニ依シテ伸縮  
シマシタ所ガ知レタモノデゴザイマス、地租ハ元ト物品稅デアリマシタモノ  
デアリマスルカラ、物品ノ上カラ往キマシテ代價ガ高低スルニ從シテ、ソレテ  
伸縮スルナラバマダ幾分カ餘裕ガゴザイマスルガ、既ニ金稅トナツタ以上、決  
シノ容易ニ確定稅ヲ動カスコトハ出來ナイデアラウト思ヒマス、ソレデマダ  
此國家ノ財政ニ對スルコトヲ少シ述ベタイト思ヒマシテゴザイマスケレド、

止メイト云フ說ガ多ウゴザイマスデ此邊デ止メテ置キマス  
○長谷川泰君(百七十一番) 一寸質問シタイ、唯今登ツテ居ラレル田中君ニ  
質問致シタウゴザイマス、御許シアランコトヲ希望致シマス、宜シウゴザイ  
進ミ方カ(此時止メ給ヘト呼ブ者アリ)一寸田中君ニ御尋申シタイ(此時止メタ  
カト云フト九百六十万圓残リマシテ少シモ年々臨  
時ノコトヲ致シマセヌケレバ明治三十八年マデニ繼續費ヲ年々仕拂ヒマシテ  
モ六七百万ノ金ハ残リマスノデ、今日ノ臨時費ニ出シマシタ金ノ外、是ヨリ  
何ニモシマセナカツタナラバ、財源ガナイトハ申サレナイノデ、併ナガラ  
此國家ノ明治初年カラ今日マデ國費ニ對スルノ進ミ方、ソレカラ人ノ生計ノ  
進ミ方、ソレカラ國家ノ國務ノ進ミ方ト云フモノヲ取テ見マスルト、年々  
臨時費ガ僅ノ金ヨリナイト云フコトハ出來ナインノデ、既ニ諸君ガ先キニ決議  
ニナリマシテ建議致シマシタ、治水費ノ如キ、以前カラ計畫シマシテ政府ガ  
三百万圓ト云フノ豫定ヲ致シマシタ、木曾川工事ヲ起シマシタ、彼レ丈ノ工事  
ニスラ年々二十餘万石、彼レヲ了リマシテ效果ヲ奏シマシタナラバ二十餘万  
ノ生產ノ達ヒガアル、日本ノ川ハ治メザルベカラサルコトハ、既ニ此第二期ニ  
於テモ諸君ガ滿場一致ヲ以テ建議致シマシタ位、獨リ十二大川十四大川丈デ  
ハゴザイマセヌ、又年々國ニ害ヲ爲シテ居ル諸大川ガ澤山アル、治水費ノ如キ  
必ス愈、調査ガ了リマシタナラバ、年々五十万デモ六十万デモ出シタイ位デゴ  
ザイマス、斯ノ如キ事業ハ隨分澤山、ゴザイマスルノデ、之ヲ今アルカラト云フ  
テ直チニ是ニ取シテ仕舞フコトハ出來ナイ、既ニ委員會デ議決致シマスル時  
分ニハ夫ノ地租特別修正ト云フモノガ衆議院ヲ通りマシタ儘デ、先キニ加藤  
君ノ御尋ノ如クモウ一通報告ヲ仕直サヌカト云フ位デアツタガ、今日ハ貴族  
院デ否決致シタト云フコトデゴザイマス、縦令特別地價修正ガ否決致シマシ  
テモデゴザイマス、此僅ニ八九百万圓残シテ居リマス金ヲ、ドウ云フ傾キ  
デカ監獄費ヲ國庫デ持ツト云フ三百万圓以上要リマス  
(此時モウ止メ給ヘト呼ブ者アリ)地價特別修正法案ガ貴族院デ否決致シマシ  
テモ、此地租ノ輕減ト云フコトハ容易ニスヘカラサルコト、何故ニスベカラサ  
ルコト、云フト、衆議院ガ開ケマシテ段々年ヲ追ヒマシテ日本ニ伸縮スル稅  
源ト云フモノガ出來得マシタナラバ、一年ハ減ラシテ置イテ翌年又政費ノ都  
合デ斯ノ如クシヤウト云フコトヲ決シ得ラレル、マダ今日確定ノ稅ヲ一時取  
除ランマスト、國費ノ伸縮ガアツタトキハ國債ヲ起シカ伸縮ノ稅源ト云フ  
モノガナイ、今日伸縮ノ出來ル稅源ト云フモノハ所得稅ガ少シアリマス、ケ  
レドモ百六万圓カ八万圓ノコトデゴザイマス、如何程物ノ盛衰ニ依シテ伸縮  
シマシタ所ガ知レタモノデゴザイマス、地租ハ元ト物品稅デアリマシタモノ  
デアリマスルカラ、物品ノ上カラ往キマシテ代價ガ高低スルニ從シテ、ソレテ  
伸縮スルナラバマダ幾分カ餘裕ガゴザイマスルガ、既ニ金稅トナツタ以上、決  
シノ容易ニ確定稅ヲ動カスコトハ出來ナイデアラウト思ヒマス、ソレデマダ  
此國家ノ財政ニ對スルコトヲ少シ述ベタイト思ヒマシテゴザイマスケレド、

止メイト云フ說ガ多ウゴザイマスデ此邊デ止メテ置キマス  
○村山龍平君(二百七十七番) 討論終結ノ動議ヲ起シマス  
(賛成ト呼ビ又ノウト呼ブ者アリ)  
○太田實君(百四十番) 今日ノ議事ハ明日ヘ此儘延サレルガ宜シ  
○窪田畔夫君(百八十六番) 此問題ハ容易ナラザル所ノ問題デゴザイマスカ  
ラ……實ニ此問題ハ數百万圓ノ財源ニ關係スル容易ナラヌ問題デアリマス、  
最早時間モ參リマスデ輕々ニ議スベキモノデハアルマイト考ヘマス  
(此時發言スル者多シ)

○議長(星亨君) 百十八番  
(波多野傳三郎君演壇ニ登ル)  
○議長(星亨君) 是ハ何ニシテモ時間ガ來ナイ内ニ延バスト云フコトハ出來  
ナイ、時間ガ來レバ或ハ延スカモ知レヌ  
(此時發言スル者多シ)  
○議長(星亨君) 今許シタデスカラ、其上デ……  
○齋藤良輔君(五十三番) 少シ聞キタイコトガゴザイマス、餘り大人氣ナイ  
ヤウナコトヲ言ヒマスケレドモ、此問題ト云フモノハ實ニ政府ノ財源ニ關シ  
テ居リマスル(笑聲起ル)國庫ノデス——財源ニ關シテ居ル、然ルニ此政府委  
員ト云フモノハ一人モ出席ガナイ……  
○議長(星亨君) ナイト言タトテ仕方ガナイ  
○齋藤良輔君(五十三番) 政府委員ガ一人モ出席ガナイト云フハ、甚ダ不親  
切ト考ヘル

○波多野傳三郎君(百十八番) 此問題ニ就キマシテハ、百十八番議員ハ提出  
者デアリナガラ、此壇ニ登ツテ口ヲ開クコトノ必要ハナカラウト實ハ考ヘタ  
位ノ問題デアル、何故然ルカト申マスルト云フト、今更申サズトモ諸君ノ能  
ク御記憶ノ如ク、初期ノ議會ニ於テハ殆ド滿場一致ヲ以テ通過シタル議案デ  
アル、二期ニ於テハ不幸ニシテ僅カ會期ノ三分ノ一ト云フヤウナ時ニ解散セ  
ラレタデ、ソレガタメニ通過ヲ致シマセナシダ、ナレドモ二期ノ如キハ會期  
ノ充ツルニ至シタナラバ、蓋シ初期ト同様殆ド滿場一致ヲ以テ可決シタルコ  
トト思フ有様デアリマシタ、斯ウ考ヘマスルト云フト、提出ハシナガラモ此ニ  
登ツテ説明致ス必要ハナカラウト思ヒマシタガ、如何ナル風ノ吹回ハシニ  
ヤ、特別委員ハ之ヲ否決スルト云フ報告ヲセラル、ト云フコトニナツタ、如  
何ナル風ノ吹キ迴ハシカト云フト、誠ニ不思議ナルガ如クデアルガ、其原因ハ  
能ク分テ居ルコトデアル、其原因ハ何デアルカト云フト、此二月十五日ノ

守彦君其通ト呼ブ)此迷ヲ解ケバ、直ニ此反對論ハ破レル、而シテ監獄費國庫名ヲ附ケルモノモ農業者ニアラザレバ、工業者、工業者ニアラザレバ農業者ト云フ種類ノ中ニ加ハルベキモノデアル、然ラバ今日ノ有様ニ於テ農業者果シテ豊デアルカ、商工業者果シテ豊デアルカ、今日マデノ有様ハ如何デアルカ、將來如何ニ成行クベキ傾キヲ持ツテ居ルカト云フト、農業者ハ益々貧シクナリ、商工業者ハ愈々富ムト云フ傾キヲ持ツテ居ルト斷論シナケレバナラヌと思ロマス、斷論シナケレバナラヌト云フト證據ナキガ如クデアルガ、私ハ確ナ證據ガアルト思ヒマス、ソレハ何ニ依ツテ證據立ツルカトナラバ、統計ニ依ツテ證據立ツルガ明ダラウト思フ、利ノアル所ニ赴クハ人心ノ常デアル、是モ農業者ニ利ガアルナラバ、農民ノ割合ハ益々増加スベキデアル、若シモ商工業者ニ利ガ多イナラバ、商工業者ノ數ハ愈々加ハルベキデアル、而シテ今日我日本ノ人口ノ増加ノ割合ニ比較シテ、商工業者ノ人口ノ増加ト農業者ノ人口ノ増加ノ割合ハ如何デアルカト云フト、商工業者ノ人口ノ増加ハ多クシテ、農業者ノ人口ノ増加ハ少ナイト云フコトヲ以テ證據立ツル譯デアル、ソレハ如何ニシテ證據立ツルカト云フト、明治二十二年ノ調べニ依ルト云アト、日本ノ人口ハ四千七百万人デアル、二十一年ハ三千九百六十万デアル、二十年ハ三十九年ニ比シテ十四人ト云フノガ人口增加ノ割合デアル、然ラバ商業者ノ住居スル所ノ都會ノ人口ノ増加、其他農業者ノ住居スル村落ノ人口ノ增加ノ割合如何ニト云フコトデアルナラバ、人心ノ赴ク所利ノアル所ニ赴クト云フコトヨリシテ、論斷スレバ、都會ノ人口增加スルナラバ、即チ商工業者ノ住居スル都會ノ人口ガ增加スルナラバ以テ商工業者ニ利ガアル故ニ、此人口增加ノ割合ハ村落ニ住居スル所ノ農業者ノ人口ノ割合ヨリカ多イト云フトヲ認ムルコトガ出來ルト思ヒマス

○議長(星亨君) 諸君、五六分延ハシマス、今六時デアリマスガ、五六分延ヘマス

○波多野傳三郎君(百十八番) 人口一万人以上ノ市街ニ就イテ(簡単ニヤルヘシト呼ブ者アリ)二十一年ノ數ハ如何テアルカト云フニ、百二十四ニ登ツテ居ツテ、其前二十年ハ百二十二シカナイ、其前ノ十九年ハ如何デアルカト云フト、百十七シカナイ、斯様ニ市街ト云フモノ、數カラ言ツテモ、年々加ツテ居ル、而シテ人口ノ増加ノ割合ハ如何デアルカト云フト、一万以上ノ即チ都會ニ住マツテ居ル人口ハ十九年ハ四百五十万、二十年ハ四百九十万、二十一年ハ五百十六万デアル、之ヲ全國ニ比例ヲ立テルト、二十年ハ十九年ニ

比シテ八十八人ノ增加デアル、二十一年ハ二十年ニ比シテ五十五人ノ增加デアル、斯様ナル増加ヲシテ居ルノデアル、此事ヲ以テモ工業者ハ農業者ニ比シテ利ノ多イト云フコトハ明デアル、併シナガラ茲ニ又一ノ批難ガアルデアラウ、大農ヲ利スルコトハ出來ルカ、小農ヲ利スルコトハ出來ヌト云フ人ガアリマセウ、果シテ地租ヲ輕減スレバ小農ヲ利サヌカト云フニ、是又統計依ツテ其反対デアル、地租ヲ輕減スレバ小農ヲ利スルト云フコトヲ證據立テルコトガ出來ル（簡單々々ト呼ブ者アリ目黒徳松君討論終結ト呼ブ）其證據ハ（止メ給ヘ止メ給ヘト呼ブ者アリ）如何デアルカト云フト（分ツタ分ツタト呼ブ者アリ）十九年ニハ地租五圓以上ヲ納メタ者ガ百六十五万人アツテ、二十年ニハ百五十八万人——此處ニ一ツノ變化ガゴザリマスガ、統計書ノ精粗ニ依ツテ或ハ變化ガアリ、又其時ノ豊凶ニ依ツテ多少ノ變化ガアルガ、前ノ比例ニ依ツテ二十一年以來ノ統計ヲ引キマスレバ、二十一年ニハ百六十万アツタモノガ、二十二年ニハ百五十四万ニ減ジ、二十三年ニハ百四十八万ニ減ル、斯様ナ有様デアル、是ハ地租五圓以上ヲ納ムル位ノ者ハ之ヲ以テ一家ヲ維持スルコトガ出來ズシテ、漸ク其數ガ減ルト云フコトヲ證據立ルコトガ出來ルト思フ、斯様ニ申シマスルト、日本ノ大農ト小農トノ關係ハ左様デアラウガ、自ラ土地ヲ以テ耕ス者ト、人ノ土地ヲ借リテ耕ス者トノ關係ハ如何デアルカト云フ論ガ起ルカモ知レマセヌガ、此點ニ就イテモ又其通りデア出来ルト思フ、斯様ナ有様デアル、是ハ地主ノ方ヨリ人ノ土地ヲ借りリテ耕ス者ガ多イト云フ比較ニナツテ居ル、之ニ依ツテ小地主ガ多イ、此小民ヲ潤ホスニ足ラヌ、小民ヲ賑ハスニ足ラヌト云フコトノ論ハ之ヲ以テ破ルコトガ出來ル、監獄費國庫支辨ニ金ヲ費サルモ、地租ヲ輕減スルナレバ是デ十分ニ我小民ト云フモノヲ潤ニアルカト云フト、地主ノ方ヨリ人ノ土地ヲ借りリテ耕ヤス者ガ多イト云フ比較ニナツテ居ル、之ニ依ツテ小地主ガ多イ、此小民ヲ潤ホスニ足ラヌ、小民ヲ賑ハスニ足ラヌト云フコトノ論ハ之ヲ以テ破ルコトガ出來ル、監獄費國庫支辨ニアル、若シモ一國ノ中ニ利害ノ關係ヲ異ニシテ居ル者ガ住居シテ居ルト云フコトデアルナラバ、其結果ハ如何ナル結果ヲ生ズルカト言フト、一國ノホスト云フコトハ、我日本百年ノ大計ヲ考ヘル人ハ、實ニセネバナラヌコトデアル、若シテ日本ノ農民ヨリ（簡單々々ト呼ブ者多シ）取ル租稅ニ至ツテハ、租稅ニ通常ナル、生活ニ必要ナル原資ヲ取除クト云フコトハ、此農業ノ一ニ於ハ決シテ爲シ居ラヌ、其他ノ間接ノ稅ハ取除イテ直接ノ稅ニ至ツテハ衣食ニ必要ナルモノハ取除クト云フコトヲスルニ、獨リ農民ニ課スル稅ニ至ツテハ之ヲ爲サヌト云フコトデアル、斯ノ如ク租稅ヲ其儘ニ存シ置クト云フコトナラバ、如何デアラウ他日漸ク農民モ——農民ノ國家ニ對スル關係ハ如何ト云フニ、古ノ如ク「民ハ由ラシムヘシ知ラシム可ラス」ト云フ關係デアルナラベ、イザ知ラズ、一方ニ於テハ小學校ヲ始メ中學大學ト教育ヲ盛シニシテ、此關係ヲ能ク知レト勧メテ居ルナラバ、必ズ我レ獨リ斯ノ如キ關係ニ立ツテ居ルベキ者デナイト云フコトヲ悟ラセルノ基ヲ開イテ居ル、其基ヲ開キツ、一

方ニ於テハ他ノ人ト異ナル重キ負擔ヲ爲スト云フコトヲ命令シテ居ツタナラバ、（簡單々々ノ聲起ル）此利害ノ異ナル所カラシテ、必ズシモ農民ト其他ノ間ニ於テ感情ヲ異ニスルト云フコトガ起ル、其異ニスルト云フ結果ハ、遂ニ如デアラウ、大農ヲ利スルコトハ出來ルカ、小農ヲ利スルコトハ出來ヌト云フ人ガアリマセウ、果シテ地租ヲ輕減スレバ小農ヲ利サヌカト云フニ、是又統計依ツテ其反対デアル、地租ヲ輕減スレバ小農ヲ利スルト云フコトヲ證據立テルコトガ出來ル（簡單々々ト呼ブ者アリ目黒徳松君討論終結ト呼ブ）其證據ハ（止メ給ヘ止メ給ヘト呼ブ者アリ）如何デアルカト云フト（分ツタ分ツタト呼ブ者アリ）十九年ニハ地租五圓以上ヲ納メタ者ガ百六十五万人アツテ、二十年ニハ百五十八万人——此處ニ一ツノ變化ガゴザリマスガ、統計書ノ精粗ニ依ツテ或ハ變化ガアリ、又其時ノ豊凶ニ依ツテ多少ノ變化ガアルガ、前ノ比例ニ依ツテ二十一年以來ノ統計ヲ引キマスレバ、二十一年ニハ百六十万アツタモノガ、二十二年ニハ百五十四万ニ減ジ、二十三年ニハ百四十八万ニ減ル、斯ノ如キ恐ルベキ原素ヲ備ヘテ居ルニ拘ラズ、諸君ガ此地租輕減ト云フコトニ對シテ、十分ナル觀念ヲ持タレザルト云フコトニ至ツテハ驚クベキコトデアルト考ヘル併ナガラ既ニ諸君ガ簡單ト言ハレ十分ト言ハル、ノハ百五十二人ノ變ツタ人ニ變ラセラレタノデアルト認定スルノミナラズ、此理論ガ既ニ分ツタコト、思ヘバ、豊辯ヲ好ム譯デハナイ、茲ニ於テ壇ヲ下ラウト思フ

〔討論終結ト呼ブ者アリ〕

〔討論終結ニ贊成ト呼ブ者アリ〕

〔贊成々々ノ聲起ル〕

○議長（星亨君）今日ハ是ニテ止メマス、明日ノ議事日程ヲ報道シマス

〔水野書記官長朗讀〕

午後一時開議

第一 地租條例改正案

第一 國庫剩餘ノ處分ニ關スル建議案（井上角五郎君外一名提出）

第二 銀行條例改正法律案（原善三郎君外三名提出）

第三 登記法改正法律案

第四 第五 皇漢醫道繼續ノ請願

第六 法律第八十四號改正案（福田久松君外一名提出）第一讀會

第三 議長（星亨君）是ニテ散會致シマス

午後六時八分

第一讀會（前會ノ續）  
第一讀會  
第二讀會

第一讀會（前會ノ續）  
第一讀會  
第二讀會

